

2019年 四季折々 【18】

■ 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り 2019

■ 神戸で 思いつくまま From Kobe 2019

2019. 2. 5.

【四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り 2019】



【神戸で 思いつくまま From Kobe 2019】



by Mutsu Nakanishi

home page 更新時に四季折々の花・風景 そして 好奇心一杯でトライしたことや
その時折々 頭にあることを綴ったメモなどを集めました
和鉄の道・Iron Road

鉄の「まばゆい輝き・閃光」と「黒光り・肌光」

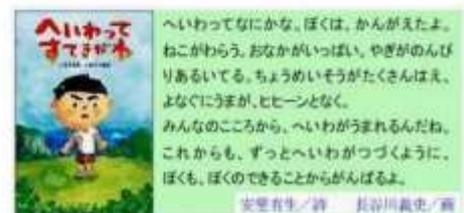
日本には「たたら製鉄」という鉄鉱石や砂鉄の塊から、
「硬くてねばい鋼」を直接作り出す日本古来の製鉄法がある。
ヒットライトが人工鉄を発明した当初の姿を現代まで残し、
現在の製鉄法にも負けない高品質の鋼を作り出す技術に高め、
維持している日本独自の製鉄法である。



日本に「鉄」が伝来して、この「たたら製鉄」が行われるまで、
約 800 年の長きにわたってたたら製鉄法の模索が続き、その技術を
さらに磨き高めながら 1500 年続いてきた日本独自の製鉄技術。
「鉄は国家なり」「鉄は産業の米」と「鉄」の力が強調されるが、
一方で文化を育み、そこに住む人たちの生活を豊かにし、
現在に至る日本を作ってきた。
今、急速な社会変革の中で この製鉄にともなう数々のドラマが忘れ
去られ、日本各地の「たたら製鉄」遺跡もろとも消え去ろうとして
いる。和鉄の道での数多くの人たち・賑わい そして数々のドラ
マが、周りの美しい景色とともにうもれて残っています。
そんな日本で繰り広げられたドラマ そして その痕跡の風景を少し
でも残しておきたいと home page に掲載してきました。



ほぼ毎月更新してきた Home page のトップには
その四季折々 私の好きな花・好奇心いっぱい取り組んだこと・
Country walk の風景などを紹介するとともに その折々 頭にあ
った時代の流れ・技術・社会などへの自分の思いを From Kobe とし
て書き綴って掲載してきました。
home page のトップページは更新ごとに消えてしまうので、
その時々を忘れぬよう残しておきたいと「四季折々・From Kobe」と
して ファイルし、それを毎年一冊の小冊子にまとめています。



神共に居まして
得られるものを 実える「勇氣」
受えられないものを 受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニーパーの祈り より

「まあええか 元氣だして行こう」と
心は「行ったい来た」ですが
好奇心さえあれば…と前向きに
お互い笑顔で 前向き思考 元氣で乗り切って行きましよう

その年四季折々自分勝手なわがままな 1 年間のメモ記録です
が、記憶を思い起こしたり、我が身を振り返えったり。
自分の生きる指針でもあり、また 1 冊積み重ねました。
また、どこかで、皆さまのお役に立て

災害や病気など数多の困難の中に居られる方が大にエールを !!
いつも 思いをはせています。♪
「忘れまい 忘れないで 仲間がいる」
暖かい希望の輪がつながっていることを♪



世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
そのエンジンは「他人を思いやる心」
北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

仲間が頼りですが、
まだまだ元氣、好奇心もある
墨画は言うまい
お互い「前向きに」
今できることを精一杯
from Kobe
by Mutsu Nakanishi



四季折々・Monthly 神戸便り from Kobe 2019

2019年 四季折々・From Kobe : 掲載記事ピックアップ

更新の折々 頭にあることを書き連ねた From Kobe も今年も毎度同じことの繰り返し。
地球温暖化が抜き差しならぬ時代 その自然の災害の猛威が直接我が身にも
そんな激動の中で 身勝手な政治に振り回され続ける定見なき日本 日本はどこへ行くのか…
この一年 書き綴ってきた文章を眺め、一年を振り返ってみると同じことを繰り返し、言い続けてきたようだ。
歳が平成から令和に変わり、大きなパラダイムシフトが世界で起こっている。
そんな中で日本はどこへ行くのか?未だに方向がみえぬ理由のわからぬ社会情勢。
先が見えぬ日本 そんな状況が今も続く一年だったと。
12月 Cop25 あのスウェーデンの 16 歳の若者が世界を相手にあれだけ地球危機を訴えている。
それも世界の首脳たちを前に堂々と。そんな問いかけにどうこたえればよいのか…
新聞の論調もここに来て 急激に変わってきた。
そんなことを感じる中で、**日本社会の読解力低下の記事**が出た。
科学技術立国・ものづくり世界一が もう誰の目にも由来で見え出した今 「**自立して物事を考え理解し判断する力=読解力**」がここ 10年で大きく下落し、トップクラスから遠く離されてしまったと。
3月 小林喜光氏の「**平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか**」の記事に
ビックリして以来の強烈な日本へのパンチである。馬耳東風の日本 これで良いのか…
日本の今を振り返る一助になれば…と。ふれた年寄り風来坊のたわごとです。
下記の文は本年はじめの from Kobe に書き記した言葉である。

◆ 2019年 年のはじめに 心も新たに 年のはじめの思い

日本人の心の故郷 「縄文」・そして太古から国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをさせて
私がよく口にする「縄文帰り」・「日本人の心」、そして この変革の時代に新しい顔を見せる「鉄」

生命をつかさどる元素文明を支える元素として「鉄」がなければ人類は生きてゆけない
溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光「肌光」その輝きの中に燦然と輝く「鉄」と人類の知恵の数々
人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道-知恵が「他人を思いやる心」
かつて日本には「1万年の長きにわたって平和な社会を続けた形跡」があった
日本人の心のふるさとといわれる「縄文」 そのエンジンは「縄文の心-他人を思いやる心」だった
「鉄」と「縄文の心」 激変 の今 時代を生き抜く唯一のエンジンである
現代社会においてはしばしば「なまっちょろい」と呼ばれ、切り捨てられてきた「心」
でも 一旦危機災害に直面した時には 誰しもがその力強さに心打たれる「心」
「鉄」も今 激変する時代の中で、新しい姿を見せ、新しい指針を示し始めた。
「鉄は田舎なり」「鉄」から「豊かな海を育てる優しい鉄」「地球温暖化を軽減するかもしれない鉄」へ



望むと望まざるにかかわらず、躍動の時代から 成熟社会-人口減少の「激変の時代」へ
人類が幾たびも経験してきた絶滅の厳しい淵に立っている。

人類が困難を生き抜いてきた力それは「仲間を大切に思う心の進化」と「集団の協力」
約1万年の長きにわたって永続した日本の縄文はその実証例
幼くして歩けぬ障害をもった少女が、年老いるまで
集落の人たちに見守られ、生活を共にしてきた例が見つかる。
「心優しき縄文人」「日本人の心の故郷」と言われる所以である。

また、「地球は鉄の惑星 もし 鉄が地球にながば、地球の生命体も生命を維持できず、存在しえない。
動物の血液中の鉄・植物の光合成にも鉄が関与し続けている。
山海の動植物の生態系も また「鉄」により、維持されている。

縄文の森を含め、太古の昔から、日本列島の沿岸には豊かな山・森があり、
最近「沿岸の山や森が豊かな海を育てる」「山は海の恋人」耳にするようになったが、
山に含まれている鉄分が森の植物によって、水に溶けこむ鉄となって、川を下り、豊かな海を育てる。
魚貝や海産物の資源の形成・生態系の循環には豊かな山や森の存在が欠かせぬことが明らかになっている。

ここでも「他人を思う心」・「集団の協力」をエンジンにした地方自立循環型経済創生・豊かな海や森の
資源開発が進められている。

鉄の惑星 激変する危機を生き抜くエンジンは「他人を思いやる心」
幸福への岐路にある今 スピード・情報過多の情報社会の流されず、自らをじっくり考えよう。
そこに地球に生きる仲間みんなの共存再生の道がある。
「心優しき縄文人」「分かち合い」の多様性 そして 沖縄には「命こそ宝」の言葉もある。

終活が頭にちらつく我々だからこそその役割もあると信じて今を前向いて
わが道をゆく God Be With You!!

また、本年こそ日本の縄文に 世界遺産の道が開かれますよう 期待を込めて

2019.1.1. Mutsu Nakanishi

一年経っても世界情勢 社会に大きな変化が見られず、特に日本ではひたすら高度成長期の成功体験にとらわれ、高度情報化のうねりの中 競争と効率を追い求める同一均質化の社会を未だに追い求め、多様・多質の柔軟な社会に鍛冶が切れないでいる。

景気は一向に良くなりならず、格差はますます増大する中、老齡化は急速に進み、不安感が漂う社会。そんな中で 美辞麗句の薄っぺらな掛け声に酔いしれ、自分さえ良ければ・・・と。

掛け声とは裏腹の薄っぺらな高度情報社会に はっと気がつく。

日本はこれからどこへゆくのか・・・ そんな思いを書き綴った本年の from Kobe 雑文。

- 1月 [心の故郷「縄文」と「鉄」に思いを馳せて](#)
- 3月 経済同友会代表幹事 小林喜光氏 <インタビュー>記事 転記ご紹介2019.1.30 朝日新聞朝刊 [「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」](#)
- 4月 兵制からたらしい年号「令和」が発表された1日 [高度成長を支えた鉄鋼住金の名が消えた「平成」の総括から「令和」の新時代へ](#)
- 7月 経験したことのない初夏 目まぐるしく変わる気象変化に負けぬよう
- 8月 [2019ひまわり夏 神戸便り](#) 雑感 異常気象をひしひしと感じる今年の夏 参議院選「嘲笑する政治」この夏 一番 私に響いた言葉 朝日新聞 2019.7.7.
- 10月 [朝日新聞 2019. 9.27.朝刊 天声人語・オピニオン&フォーラムより](#)
大きなパラダイムシフトが進行する国際情勢の中で、国民に何も説明せず、みくだす横暴な仲間政治 理念も目標も失いまだに高度成長期の流れにしがみつくと日本 これだよいのだろうか…
なぜ、日本では新しい雇用・ビジネスを生みだす先進事業・企業が生まれぬ。
- 11月 この秋に思うこと 色々 この秋 何度か耳にした情報
効率化・選択と集中 行き過ぎた資本主義は人々を幸福にしない
GAFAs グローバルな巨体企業の存在は富を集中し、富の分配がなされない」
多重・多様化をキーワードに《柔軟な社会作りへ舵を切る》パラダイムシフトの波がおこりはじめた
- 12月 [師走の今 本年を振り返って 心に響いた言葉](#)



新聞の論調も今 急激に変わってきた。

一度耳を傾け、日本の今を振り返る一助になれば・・・と。

また、日本の縄文をもっと知ってほしいと言いつけてきましたが、やっとまたユネスコ世界遺産登録の土俵に。最近 縄文についての記事や解説が新しい視点で語られるようになったのもうれしい。

いろんなことがあった一年 あれもこれもとあたまを駆け巡り、令和元年が暮れてゆく・・・・・・・・・・・・・・・・
早く若ものの時代へ舵を切れ!!との思いです

来年こそ 令和の新しい時代と 誰もが実感できる明るく平和な時代になってほしいと。

2009.12.31. 2019年 四季折々 和鉄の道を振り返って

無知盲目の仲間を募って 数の力でなんでも押し切る刹那の社会 美辞麗句を並べ 中身はそっちのけ
なんでもかんでも 自己責任に転じる。 自分の政策を「・・・ミックス」と自ら声高に言いまわるのは
自己陶醉そのもの。

セーフティネットがずたずたになった国土・地方は疲弊し、ますます格差が広がる刹那日本の情報社会
この秋 30歳40歳の働き盛りの給与水準は10年前の給与水準よりも10%以上低下しているとの
統計が発表されている。その上 消費税は10%に。 一方会社は好景気を謳歌し、高収益・内部留保
をため込んでいる。そして 人手不足が深刻だという。全く不思議な現実。

これは人為的な政策の代物の何物でもない。

片手間の非正規雇用対策ばかりでなく正規雇用の拡大 そして何よりも働く場・新しい雇用を生み出す産業創生
に注力せねば・・・。

でも 新産業創設の研究開発費の投入・分配の見識のなさは目に余る。

もう技術立国は影薄く、大企業は今の事業路線にしがみつき、次の事業がない。

これでは新しい雇用は生まれない。もう 大企業依存・イベント依存から脱却せねば…

湯水のごとく民衆の懐に手を入れて使う国債・消費増税頼みも限界に……………

昔はよかった…との言葉も聞かれるようになった今、もう 破綻寸前と映る

もっと 皆が明るい社会にならないものか…そんなことばかり言ってきた一年だったと映る。

そんな師走の中で発表された OECD が3年ごとに行う世界各国の15歳を対象とした学力総合調査
(読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシーの3分野)で、数学・科学の分野では高い学力を維持しているが
日本の読解力が大幅に低下したと伝えている。「リテラシー」とはなにか…また読解力の問題とは…………
インターネット等で調べると、原義では「読解記述力」を指し、転じて「適切に理解・解釈・分析し、改めて記述・表現す
る」という意味に使われるという。

要は社会全体の活力の源泉 知識は非常に高いレベルであるものの 知恵・判断・確かな行動アプローチが出来
ないといわれ、社会の活力が失われているとの警鐘。

常々 多くの人が指摘する日本社会の課題と現状があからさまに国際的にも指摘された。

国際社会がし認める国力の先行きを示す重要な指標でと言える。

強がりはいうまい。 今日本の現実はこちらなのだ……と。 そう思うと本当にいろんなことが見えてくる。

この一年 日本で起こった数々の問題の根源にこの指摘が当てはまる。

◎ 読解力と「リテラシー (literacy)」とは、

読み書きができる能力や、その分野の応用、活用力、理解力を意味。

「リテラシー」は、単独でその言葉だけを使うことは少なく、「コンピューターリテラシー」や
「メディアリテラシー」「環境リテラシー」といった風に使うという。

◎OECD 調査 読解力の設問

解説を含め2019.12.4. 詳細が示されている東京新聞の記事を紹介する

「ラパヌイ島」と題する設問

ラパヌイ島(イースター島)で調査をしている教授はブログで、

モアイ像が作られた当時にはあった大木が現在は生えていないことに疑問を示す。

木の乱伐が原因とするジャレド・ダイヤモンド氏の著書「文明崩壊」の書評、

ネズミが種を食べたためとする科学者の反論を紹介する記事があわせて示される。

生徒たちはそれら三つの文章を読み、大木が消滅した理由を根拠を挙げて説明することを求められる。

自らの可能性を広げ、社会に参加するために文章を理解して熟考し、考えを表現する力。

それがOECDが提示する読解力だ。……………

三年ごとの調査結果は教育政策に大きな影響を及ぼしてきた。

ゆとり教育転換の一つの契機は、読解力などが低下傾向にあったことだ。

2007年に再開された全国学力テストの出題はPISAを強く意識したものとなっている。

202年度から本格実施される高校の新学習指導要領では国語を「論理国語」「文学国語」などに再編する。文学が片隅に追いやられるのではないかと文学界などから懸念の声が上がっている。

調査では読書についても尋ねており、興味深い分析結果が出ている。

雑誌以外では「読む」グループの方が「読まない」グループよりも得点が高く、

最も得点差が大きいのは小説や物語などのフィクションだった。次いで新聞、漫画となっている。

「論理的」と仕分けされた文章だけが、読解力を育むとは限らないことを示唆しているのではないか。

読解力は、多様な養分を吸収してゆっくり育つ木のような力なのだろう。

読解力育成のため、社会や理科など国語以外の教科でも、文章のまとまりなどを意識した授業改革に取り組み始めた学校もある。調査の順位のためというよりは、子どもたちの未来を広げるために、学校や社会が豊かな養分を含んだ土壌でありたい。

インターネット記事検索でみつけた東京新聞 2019.12.4. 記事より 全文整理

これは今の学校のOX式詰め込みの受験教育の中では最初から設問に詰まって解けないわ……と。

でも 一部の私学では そんな読解力中心の国語授業が行われ、他の授業と連動されているとの話を聞いて、余裕があるなあ。。。と感心したこともある。

天声人語氏は「細かな知識はインターネットで得られるが、知識よりも知恵を出して、事態を突破する力が求められる」というOECD担当者の言葉を紹介している。日本に一番今かけている点との指摘。

知識がいやというほど積み込まれていく日本の今の画一的な教育への痛烈な一発である。

みんながみんな社会全体が同じ方向にむけた発展途上の高度成長と成熟した今の情報社会には当然違いがある。

今の時代 一部の人に情報が限らず 同じ情報を広くみんなが持っている。そこに 多層多重の芽があり、それを封じて 同一を強いられることに息苦しさを感ずるし、異を感じる時代なのである。で

も 日本では今 あまりにも「不思議ななあ」「おもしろいな」などの発想や知識から広がる「知恵」がない。付和雷同 感激・感動ではなく盛り上げの言葉が空虚に響く。

知った知識を少し披露しただけで「それがどうしたの…… ああ めんどくさ」との言葉がすぐに。

知識から知恵・発想への転換が全く無視され、同一同調が一番される日本昨今の情報社会。

なにも子供たちの教育問題だけではない。今の日本の社会全体がそうになっているのだ。

とりわけ、日本を動かしてきた政治・大経営者たちの言動をみれば一目同然……

ほかにも この12月 心に響いた記事がいくつかありましたので、転記。

この秋 重多様な社会への脱皮について、それぞれの個性を意識する多層多重社会の醸成を考える本や新聞記事・番組に数多く出会うことができ、自分にはできなかった反省も込めて。

特にあまりに個性豊かで 仲間・先生・学校での集団生活に溶け込めず、「好きなことを 好きに 好きな時に」とその都度 自分の実学ノートに記してきた7年間の記録をひも解くNHKの番組NHK「ボクの実学ノート 7年間の小さな大冒険」で語られた 生物学者福岡伸一さん著「エリボシカミキリ」の中にある言葉やこの秋読んだ「ソーシャル・マジョリティ研究 コミュニケーション学の共同創造」にも心に響きました。

また、本年は仲間がみんな後期高齢を迎え、老化と向き合う歳に。

老化と闘い、また先に逝ってしまった仲間もいる。この秋は仲間を思い浮かべながらの毎日散歩になったことも数多し。

でも まだまだ好奇心もあり、足も動く。家族仲間もいる。勝手気ままな風来坊 神戸の片隅で 皆に世話になりながら 勝手気ままにと。

本年どうもありがとうございました。 また来年。

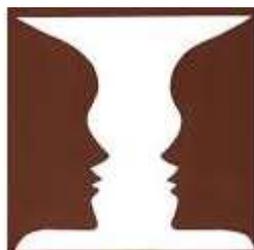
From Kobe Mutsu Nakanishi



<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/1912yoshino.jpg>

- ◆ 金子書房 「ソーシャル・マジョリティ研究 -コミュニケーション学の共同創造-」
 発達障害者の側から ソーシャル・マジョリティ(社会的多数派)のルールやコミュニケーションを研究しました。
 「障害は個人の中にあるのではなく、多数派が作った社会と少数派の身体特性の間に生じる」
 なにかよくわからぬまま発達障害者とかたずけられ、排除される人が多数いる
 その人たちは社会的多数派のルールやコミュニケーションについてゆけないだけである。
 逆に社会多数派があまり意識していないが、社会的多数派のルールやコミュニケーションが多数あることを
 理解し、そんなルールなどを障害者側に立って研究することで理解が深まれば、
 お互いのコミュニケーションを生むことが出来て、より良い関係を生むことが出来る。

だまし絵 真実は一つなのか…… 多数派のおごり by Mutsu Nakanishi



絵の中にだまし絵という世界がある。
 このだまし絵 人のその時々感情・事情によって見え方が違う。
 今 画一的になんでもかんでも AI に任せて判断させようとする。
 知能ロボット万能論が伝えられている。
 でも この知能ロボットにだまし絵を見せて アクションを起こさせたら、どんな反応をするのか???

興味津 AIの判断万能を唱えるのは間違いではないか……

上記したソーシャル・マジョリティ研究の理解にも このだまし絵の理解が欠くことが出来ないと思っている。
そもそも 現世人類が幾多の困難を乗り越え、
生き抜いてきた所以は相手の表情で共感・感応を醸成してきたからに他ならない。

Home page 更新時の top page Monthly page を集めて収録しています 神戸便り【18】

迎春

1月年賀 迎春の便り

1. 迎春
2. 年の初めに 心の故郷「異文」そして「鉄」に思いを寄せて
3. 1月17日 阪神淡路大地震 忘れまい 忘れない ルミナリエの灯とともに
4. 老齢の身には厳しい運動の時代 お互い笑顔で
5. 今月の更新記事





**2月如月 春迎えの便り
福は内 鬼も内**

1. 春迎え「福は内 鬼も内」
2. 神戸の虎・神崎の虎 動画・photo収録
3. 寒い雪の一日 むだまり ぽっこりと
4. シアノバクテリアが作った大気酸素の特異種
5. 雪の夕暮れ 朝石大橋に沈む夕日
6. 今月のhome page 更新記事





弥生3月 春はすぐそこに!!
平成最後の春 節分いって今を元気に

1. どこかで春が生まれてる 平成から新しい時代に向かって
2. 西神戸の春を知る梅屋 合井は梅の花をついばむ「つくみ」に
3. 西神戸の春の味覚 伊川谷 森本さんちのイチゴ
4. 和鉄の道・風来坊・四季折々2018 野村の記事を合本3冊の電子Bookに
5. 今月のhome page 更新記事





**4月 さくらと共に春爛漫
新しい出会いと出発に日々あたら**

野山も里も草木萌え、新生の息吹に春を連れて 寂には新しい門出の若者たちの夢や願いが響く 生命線あふれる うれしい季節に 気分も新たな若者たちに「カー一杯飛び出せ!!」とエールを送る 今でないとの思いも強い春の毎日 好奇心もまだある お互い無理せずを前向いて





1. 7月のはじめに 初夏の賞時記に出会って 6月31日 京の和菓子「水無月」 7月 2日 半喜生
2. 【動画】梅雨時のちもやもやをぶっ飛ばす入道雲 西六甲の山海の青空に流く入道雲展望
3. home pageを安全に閲覧していただくため 暗号化送信対応(SSL化)への移行のお知らせ
4. 和鉄の道トピックス
5. 今月のhome page 更新記事





ひまわり畑 2019.10.1





へいわってなにかな。ぼくは、かんがえたよ。ねこがわらう、おなかがいっぱい、やぎのんびりあるいてる、ちょうめいそらがたくさんはえ、よなくてうまが、セーラーとなく、みんなのこころから、へいわがうまれるんだわ、これからも、ずっとへいわがつづくように、ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

Happy Autumn 2019 秋迎え 10月初秋の便り 2019.10.1.

1. 【動画】2019 西神戸・東灘高田園 秋の風物詩
2. 豆から初秋へ 入道雲から秋雲へ
3. 今月掲載した和鉄の道・Iron Road より
4. Happy Autumn 10月掲載リスト



11月 Happy Autumn【2】 秋桜 2019 秋 まっ盛りに 11月 秋だより 2019.11.5.

1. ラグビーワールドカップの試合にかじりついて
2. 深まり行く秋の風物詩 2019 秋桜
3. かつて関西で盛んだった綿花の栽培 加古川市の志方の郷で綿花畑を初めて見かけました
4. 散歩で見つけた須磨の秋景色
5. 今月掲載した和鉄の道・Iron Road より
6. Happy Autumn【2】秋桜 11月掲載リスト 2019. 10. 1.





12月 2019年終末の便り

1. Merry Christmas!! クリスマス あめでとう
2. 神戸ルミナリエ2019 まばゆい希望の灯がとちりました
3. 時の経つより、淡路島の白浜に渡る兵庫海峡「野郎船」 今年も島に渡った神田をゆっくりのんびり旅送り
4. 須磨のニュースから 日本の戦後が不安がよぶる
5. 須磨の動画TVより もう20年経てばなまー google翻訳が スマートフォン向けに最適化
6. 今月の掲載記事 トピックス、Photo 数冊
7. 今月のhome page 更新記事
8. 阪神淡路、2019年、須磨の歴史を振り返って



Home page 更新時の top page を集めて収録しています

年賀	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

1 月年賀 迎春の便り

1. 迎春
2. 心の故郷「縄文」そして「鉄」に思いを寄せて
3. 1.17. 阪神淡路大地震 忘れまい 忘れない
ルミナリエの灯とともに
4. 老齡の身 厳しい激動の時代 お互い笑顔で
5. 今月の更新記事リスト

2 月如月 福は内 鬼も内

1. 春迎え 復は内 鬼も内
2. 神戸の鬼・仲間の鬼 [動画&Photo 収録](#)・
3. 寒い冬の一日 ひだまり ほっこりと
4. シアバクテリアが作った大気酸素の時間軸
5. 冬の夕暮れ 明石大橋に沈む夕日
6. 今月の home page 更新記事

弥生3月 春はすぐそこに !!

1. どこかで春が生まれてる 新しい時代に向かって
2. 西神戸の春を知る梅見 今年は梅につぐみ
3. 西神戸の春の味覚 伊川谷森本さんちのイチゴ
4. 和鉄の道・風来坊・四季折々2018の製本
5. 今月の home page 更新記事リスト

4 月桜満開 春爛漫

1. 4月21日 Happy Easter
2. 新生の息吹に満ちる神戸の春 一気に華やぐ
3. 春の息吹 スライド動画で
◎日本各地の里の一本桜
◎2019年神戸の春の photo Album
4. 尼崎城オープン
5. 和鉄の道 今月のトピックス
トルコで世界最古の鉄 ヒツタイト鉄起源説に一石
人工鉄・製鉄技術の起源 &
西ユーラシア大陸を結ぶ《Metal Road》を探る
6. 今月の home page 更新記事リスト

7 月 遅れた梅雨から酷暑の夏へ

経験したことのない初夏

1. 7月のはじめ 夏の歳時記
京和菓子「水無月」& 半夏生
2. 梅雨時のもやもやをふっとばす入道雲
3. インターネット暗号化処理対応

4. 和鉄の道 トピックス
徳島で出土の弥生中期末・後期の
大交易拠点
生産工房集落 加茂宮ノ前遺跡
5. 今月の home page 更新記事リスト

8 月 ひまわりの夏

ひまわりの夏到

- 【動画】東播磨 小野市ひまわりの丘 & 西播磨
古代たたら郷のひまわり畑を訪ねる
[体調変化に気を付けて](#)
[この厳しい夏を乗り切りましょう](#)

9・10 月 Happy Autumn 秋迎え

1. 2019 西神戸・東播磨田園 秋の風物詩
2. 夏から初秋へ 入道雲から秋雲へ
3. 今月の和鉄の道 トピックス
弥生時代後期に淡路島や阿波で出土した鍛冶工房
「卑弥呼・初期大和政権国造りに繋がるのか？」
4. 今月の home page 更新記事リスト

11 月 Happy Autumn【2】

秋桜 2019 秋 まっ盛りに

1. ラグビーワールドカップの試合にかじりついて
2. 深まりゆく秋の風物詩 秋桜
3. かつて関西で盛んだった綿花栽培 志方の里で
4. 今月の和鉄の道 トピックス
旧東海道 京都三条通 粟田口
謡曲「小鍛冶」に謡われる鍛冶伝承地を訪ねる
5. 今月の home page 更新記事リスト

12 月 2019 師走の便り

1. Merry Christmads!!
2. 神戸ルミナリエ まばゆい希望の灯
3. 秋の終わり 横尾山腹を真っ白に野路菊の丘
毎年の秋送り 荷窯を悼む
4. 師走のニュース 日本の現状に不安がよぎる
5. google 音声翻訳機 もう 20 年早かったら
6. 今月の和鉄の道 トピックス
角田徳幸氏著「たたら製鉄の歴史」紹介を兼ねて
たたら製鉄始まり 私の謎 砂鉄は海を渡ったのか？
7. 今月の home page 更新記事リスト

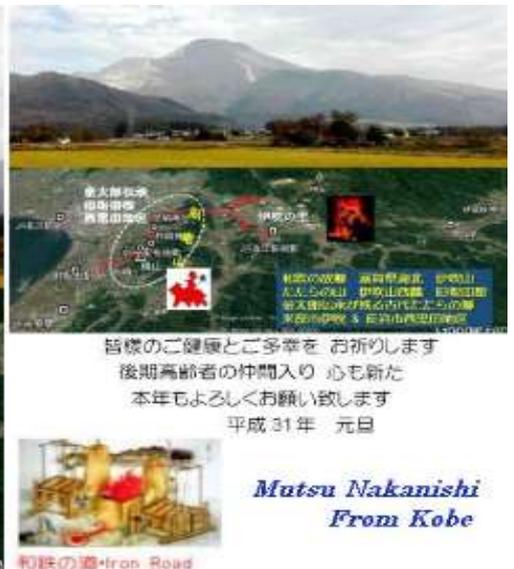


迎春



1月年賀 迎春の便り

1. 迎春
2. 年の初めに 心の故郷「縄文」そして「鉄」に思いを寄せて
3. 1月17日 阪神淡路大地震 忘れまい 忘れない ルミナリエの灯とともに
4. 老齢の身には厳しい激動の時代 お互い笑顔で
5. 今月の更新記事



和鉄の故郷 古代鉄の王国 滋賀県湖北 伊吹山西麓古代たたら郷 旧坂田郡米原市伊吹 & 長浜市西黒田地区 堂々とした伊吹山の姿とともに桃太郎伝承が残っています

<古代たたら郷 湖北伊吹山麓 たたら郷に眠る「金太郎」伝承 wak>

長浜市西黒田地区(旧坂田郡西黒田村) 2018.11.12.

<http://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/iron14/1812ibuki00.htm>



「鉄」に携わって約50年 75歳 後期高齢者の仲間入りですが、まだまだ、好奇心いっぱい 元気に歩けることに感謝しつつ、相変わらず、気の向くまま、足の向くまま元気に 風来坊・Country Walk を楽しんでいます。

物忘れや頭の回転力・俊敏さの衰えは いかんともしがたし。でも、多くの人たちに支えられ、孫たちに振り回されさせることも多いのですが、家族ともども元気に暮らしています。

皆様のご健康とご多幸を お祈り致します。
仲間の元気を活力に!! 無理せず お互い元気にと
本年もよろしくお願ひ致します

■ 2019年 年のはじめに

日本人の心の故郷「縄文」・そして太古から国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをはせて。

2017年年初【和鉄の道・Iron Road】に掲載した小文。色あせぬ思いに再度持ち出しました。心も新たに 年のはじめの思い 言葉足らずですが、お許しください。

私がよく口にする「縄文帰りの」・「日本人の心」、そしてこの変革の時代に新しい顔を見せる「鉄」

生命をつかさどる元素文明を支える元素として「鉄」がなければ人類は生きてゆけない
溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光り「肌光」その輝きの中に燦然と輝く「鉄」と人類の知恵の数々
人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道知恵が「他人を思いやる心」
かつて日本には 1万年の長きにわたって平和な社会を持続した形跡できた時代があった
日本人の心のふるさとといわれる「縄文」 そのエンジンは「縄文の心-他人を思いやる心」だった
「鉄」と「縄文の心」 激変 の今 時代を生き抜く唯一のエンジンである
現代社会においてはしばしば「なまっちよらい」と呼ばれ、切り捨てられてきた「心」
でも 一旦危機災害に直面した際には 誰もその力強さに心打たれる「心」
「鉄」も今 激変する時代の中で、新しい姿を見せ、新しい道を示し始めた。
「鉄は国家なり」の「鉄」から「豊かな海を育てる豊し鉄」・「地球温暖化を軽減するかもしれない鉄」へ



約70億人いる現代人のルーツをたどると

「我々は約10万年前 東アフリカにいた小さな集団のたった一人の女性の子孫」

人類はこのたった一人の女性の子孫という網渡りの細い道をつながり、

今約70億を超える繁栄を謳歌している。

この間 繁栄を極めた幾多の原人祖先がありながら、苦難の道を通り越えられず、他はすべて絶滅している。

地殻変動活弁化の時期にさしかかた今、現代人が引き起こした地球環境変化による異常気象も加わり、地球上どこにいても 巨大災害がわがにも降りかかる

「今まで経験したことのない想定外の災害」と他人ごとではすまされぬ時代

一方、今まで謳歌してきた高度成長・高度情報化社会を支えてきたグローバル化・効率・大量消費を追い求めた国際金融中心の情報化社会のほころびが随所に。

また、戦争の脅威は一向に去らず、格差の増大と弱者切り捨て 一握りの富裕層と大多数の貧困層への2極分化が進み、出口は見つからずますます幸福感が遠のいてゆく。

望むと望まざるにかかわらず、雇用の時代から 成熟社会・人口減少の「激変の時代」へ
人類が幾たびも経験してきた絶滅の嵐い瀧に立っている。

人類が困難を生き抜いてきた力それは「仲間を大切に思う心の進化」と「集団の協力」

約1万年の長きにわたって永続した日本の縄文はその実証例

幼くして歩けぬ障害をもった少女が、年老いるまで

集落の人たちに見守られ、生活を共にしてきた例が見つかる。

「心優しき縄文人」「日本人の心の故郷」と言われる所以である。

また、「地球は鉄の惑星 もし 鉄が地球になかば、地球の生命体も生命を維持できず、存在しえない。

動物の血液中の鉄・植物の光合成にも鉄が関与しりせている。

山海の動植物の生態系も また「鉄」により、維持されている。

縄文の森を含め、太古の昔から、日本列島の沿岸には豊かな山・森があり、

最近「沿岸の山や森が豊かな海を育てる」「山は海の恋人」耳にするようになったが、

山に含まれている鉄分が森の植物によって、水に溶けこむ鉄となって、川を下り、豊かな海を育てる。

魚貝や海産物の資源の形成・生態系の循環には豊かな山や森の存在が欠かせぬことが明らかになっている。

ここでも「他人を思う心」・「集団の協力」をエンジンにした地方自立循環型経済創生・豊かな海や森の資源開発が進められている。

鉄の惑星 激変する危機を生き抜くエンジンは「他人を思いやる心」

幸福への岐路にある今 スピード・情報過多の情報社会の流されず、自らをじっくり考えよう。

そこに地球に生きる仲間みんなの共存再生の道がある。

「心優しき縄文人」「分かち合い」の多様性 そして 沖縄には「命こそ宝」の言葉もある。

終活が頭にちらつく我々だからこそその役割もあると信じて今を前向いて

わが道をゆく God Be With You!!

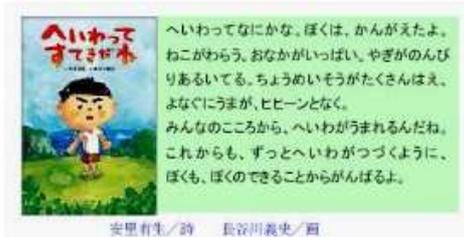
また、本年こそ日本の縄文に 世界遺産の道が開かれますよう 期待を込めて

■ 1月17日 阪神淡路大地震 忘れまい 忘れない ルミナリエの灯とともに



*** 老齢の身には厳しい激動の時代 お互い笑顔で ****
 .日々新た 今できることを精一杯 無理せずゆっくりと。
 「まあええか 元気だして行こう」と励まして
 心は行ったり来たりですが、好奇心さえあれば…

🌈 平和を願って 決意も新たに!!



へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ。
 ねこがわらう。おなががいっぱい。やぎのんびり
 がある。ちょうめいそうがたくんはえ、
 よなごにうまが、ヒビーンとなく。
 みんなのころから、へいわがうまれるんだね。
 これからも、ずっとへいわがつづくように、
 ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

- ◆ 安里有生君の詩 (2013.6.23.発表当時小学1年生.)
 「へいわって すてきだね」
- ◆ PDF Photo「原爆資料館 & オバマさんの折り鶴」
- ◆ 原爆資料館 映像展示資料 原爆を投下された広島

平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう
 国の大きな転換点 今声を上げねば!!

平和を今 自分の頭で考えよう

🌈 困難の中に居られる方々にエールを!!

日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと
 いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないで 仲間がいる
 暖かい希望の輪が繋がっていることを」

神共に居まして

得られるものを 変える「勇気」
 変えられないものを
 受け容れる「心の静けさ」

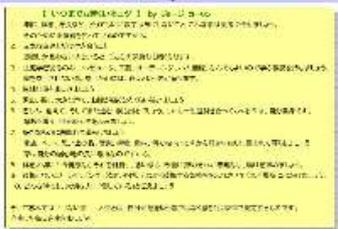
両者を見分ける「叡智」を

ニパーの折り より
 God be With you !!



from Kobe Mutsu Nakanishi

🌈 参考 ジョージ・カーリンの名言 「老いを楽しく生きるために」



「ストレスをためず100まで」と。
 なかなかむつかしい時代。
 それだけに心に響く。
 また、仲間・家族がいるのはありがたい。
 こちらも 同じだけ 意識せねばと…

- 要約「老いを楽しく生きるために」
- 動画 CWMV動画に変換 Philosophy For Old Agents
- 紹介日本語訳全文

🌈 一万年も平和な生活が続いた日本の縄文をユネスコ世界遺産に

家族・仲間思いを寄せつつ平和の願いもまだひとしお
 平和で穏やかな暮らしが ひろく行き渡るよう

日本人の心の故郷「縄文」を世界の人たちに知ってもらいたい
 一万年も平和で豊かな生活が続いた時代
 世界に類のない日本の「縄文」そのエンジンは「他人を思いやる心」

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に



- ◆ 日本人の心の故郷 縄文 ◆ PDF 縄文屋りの勧め ◆

一万年も平和で豊かな生活が続いた世界に類のない日本の「縄文」社会
 そのエンジンは「他人を思いやる心」だった。
 北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に



「北海道・北東北の縄文遺跡群」が
 2020年登録を目指すユネスコ世界遺産
 候補に選ばれました。

1.	<p>【 From Kobe 2019年 年の初めに】迎春</p> <p> <u>2019迎春の便り</u> 2019年激動の時代に 希望を膨らませ、心も新た 今を元気に 本年もよろしくお願ひします</p> <p>◎収録 2019年 年のはじめに 【2017年年初の資料再録】 心の故郷「縄文」と「鉄」に思いを馳せて</p>
2.	<p>【和鉄の道・Iron Road】 【風来坊・Country Walk】 【四季折々・From Kobe】</p> <p> <u>2018年 和鉄の道・Iron Road を振り返って</u> 和鉄の道・Iron Road :7件 風来坊・Country Walk :11件 四季折々・from Kobe :10件</p>
3.	<p> <u>2018年 和鉄の道 Iron Road [18] の口絵</u></p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1; background-color: #e0f0ff; padding: 5px;"> <p>口絵-1 鉄の聖地「地球」35億年前 現在の生物起源に遡る Iron Road の絶景 «NHK BS ドキュメンタリー「海極 氷の下のタイムカプセル」» より 光合成を初めて行い、大気の酸素を作るシアノバクテリアの不思議な世界</p> <p>口絵-2 地球35億年前の痕跡 シアノバクテリアが作り出した酸素と 化石ストロマイトと構造鉄鉱床</p> <p>口絵-3 南極氷 第58次南極観測隊 岡田雅樹博士からの贈り物 数万年も前の空気の泡を一杯閉じ込めて真っ白な南極氷</p> <p>口絵-4 淡路島 津名丘陵 舟木美穂遺跡【弥生後期・終末期】 「国生み神話の島 淡路島」から「国生みの島」へ 国産りとにたら製鉄遺跡の鏡を解く鍵を握る 海人族と密接な製鋼加工・製塩などの生産工務を持つ淡路島山岡地美穂遺跡群の中心</p> <p>口絵-5 古代たたらへの故郷 湖北 伊吹山山麓 たたらへの郷に眠る「金太郎」伝承Walk 伊吹の里 長崎市西果田地区(旧坂田郡西果田村)</p> </div> <div style="flex: 1;">  </div> </div>

仲間がいる 仲間の元気を活力に!!
 お互い 無理せず元気に前向いて 今日も一日 Good Day!
 まだ好奇心もある 我が身の健康に感謝しつつ、また 一年
 互いスクラム組んで 前むいて 老いを笑顔で
 多くの人にささえられながらも また、1年 本当に感謝です
 更新不定期になっていますが、本年もよろしくおねがいします。
 2019. 1. 1. Mutsu Nakanishi



2018. 12. 8. 花園 トップリーグ・神戸-トヨタ戦



2018. 12. 8. 花園 神戸-トヨタ戦



2019. 1. 22. 神戸の街・六甲の山並みを背に神戸兵庫港(清盛)

いつも甲への里山の景色ばかり、ふっと神戸の港を歩きたくって 今日のwalkを清盛が開いた兵庫津 兵庫港へ 2019. 1. 22.



◆ 2019年 2月如月 春迎え 福は内 鬼も内
春はもうそこまで、北風小僧に負けぬよう



夜間元湯寺の灯籠「福は内」「鬼も内」

2月如月 春迎えの便り
福は内 鬼も内

1. 春迎え「福は内 鬼も内」
2. 神戸の鬼・仲間の鬼 動画・photo収録
3. 寒い冬の一ひ ひとまり ほっこりと
4. シアノバクテリアが作った大気酸素の時間軸
5. 冬の夕暮れ 明石大橋に沈む夕日
6. 今月のhome page 更新記



神戸の鬼 夜間元湯寺 2019. 2. 5.



春の便り 2019. 2. 5.



毎日寒い日が続きますが、元気な声が街を駆けてゆく



北風小僧に負けずに 春遠からじ



新しい年になって あっという間に2月 寒さが続く中 インフルエンザが猛威を振るっています。無理せず、体調の維持にご留意ください。この時節になると「鬼」の話が話題になる。

「今年は・・・」と自分を省みる時期とも重なって、毎年 この「鬼」なについて、思いをはせる。

2月のhome page の巻頭 今年も今までに集めた「愛すべき鬼たち」毎年おなじで、お許しください。



春の便り 2019. 2. 5.



2019年 2月 福は内 鬼も内 春迎えの便り 今年も今までに集めた「愛すべき鬼たち」毎年おなじで、お許しください。





1. 春迎え 2019「福は内 鬼も内」 日本各地に伝承されている鬼
鬼にされた愛すべき仲間の鬼たちに思いを寄せて

この季節になると毎度ながら、「鬼」が気になる。

「鬼」は自分たちとは異なる集団を「鬼」として排除してきた遠い昔の名残り。そんな中に「鬼」とされた古代の製鉄集団もいたという。「開拓神」となった鬼 在地の衆に災いをもたらすとして退治された鬼。「災いをもたらす」として恐れられたが接触が続く中で仲間となった鬼もいる。「いつも一生懸命働きながら 騙されて退治される」そんな「仲間の鬼」が日本各地で語り継がれてきた。

また、災いをもたらす鬼が退治・改心して、神に従う鬼・神の化身となって災いを追い払う鬼もいる。

「鬼は外 福は内」と言いながらも うちでは鬼に感謝し、憎めない。

「地球上に生きとし生けるもの みな共生する仲間」そんな愛すべき鬼たちに「縄文の心」「日本人の奥深い心情」を見る。日本人の心の原点「共生」が ここでも培われてきたと。

「鬼にされた愛すべき仲間の鬼たち」の鬼伝承やことわざ

◎ 「仲間としての鬼」-鬼にされた たたら製鉄集団-

◎ 「日本各地の鬼伝説」和鉄の道・Iron Road 掲載リスト

◎ 「日本人の心の故郷「縄文」

一万年も平和で豊かな生活が続いた時代 世界に類のない日本の「縄文」
そのエンジンは「他人を思いやる心」

日本人の心の故郷「縄文」北東北・北海道の縄文遺跡をユネスコ世界遺産に

東北の「鬼」 鬼にされた阿弖流為・アテルイのこと

「あの高嶺 鬼住む誇り 音の瀬音 久遠の賛歌 この大地 燃え立つ命ここは北上」北上市 市民憲章より

■ <https://www.infokkna.com/ironroad/2008htm/walk5/0802oni00.htm> ■

幾度となく訪れた東北の各地で、「蝦夷」と呼ばれた時代の人たちへの強い愛着と近親感に出会って、強烈な印象と新鮮な驚きを受けました。この時期「鬼」の話になるといつも気になる東北の「鬼」。

2. 神戸の鬼・仲間の鬼 動画・photo 収録

何度か紹介してきた神戸の鬼 今も神社・寺の伝統行事として 集落全体が一体となって受け継ぎ守っている。都市化が随分進む西神戸ですが、観光とは無縁の集落の素朴な伝統行事として守られていることを知ってもらいたくて、動画とスライドアルバムをまとめて掲載しています。

また、修験道の開祖役の行者により、改心し従った前鬼・後鬼の生駒山の鬼伝承や私の故郷尼崎の大覚寺で毎年節分に演じられる古い壬生狂言の流れをくむ身振り狂言「節分厄払い」。その動画も一緒に入れました。また、大江山酒吞童子伝説など鬼にまつわる丹後の和鉄の道も日頃 耳にする鬼のイメージとはずいぶん違う心情が鬼の伝統行事を通じて伝わってきます。

◎ 神戸の鬼&生駒山の鬼 神や仏の化身となって厄を払う鬼(追儺式・鬼踊り)



神戸の鬼 長田神社 追儺式



神戸の鬼 稲美野寺高茵寺追儺式



神戸の鬼 押部谷高和 性海寺 鬼踊り



生駒山の鬼 髪切り集落 慈光寺の鬼



神戸の鬼 妙法寺 追儺式



◎ 節分豆撒きで追い払われる鬼 & 退治された鬼の伝承



節分の鬼 故郷尼崎の大覚寺では豆を撒いて鬼を追い払う身振り狂言「節分厄払い」



退治された鬼 大江山の鬼・酒吞童子 たたら衆との関連した伝承か?



3. 寒い冬の日 ひだまり ほっこりと



1月22日の神戸新聞の朝刊に日本三大仏の一つ神戸能福寺「兵庫大仏」の前に座す毛糸で編まれた仏様。
寒い冬の日をほっこりとする写真の掲載。
よく知る神戸兵庫の津界隈を暖かい毛糸で街を包ん聞かざる展示の一つと。早速出かけて、撮った写真の1枚です。
種明かしすれば毛糸で編まれた仏様は拳ほどの大きさ。
写真の撮り方でこんなうれしい写真になるんだと。



4. シアノバクテリアが作り出した大気酸素の時間軸

昨年紹介した 鉄の惑星「地球」35億年前 現在の生物起源に遡る Iron Road の絶景
《NHK BS ドキュメンタリ「南極 氷の下のタイムカプセル」》の紹介。

光合成を初めて行い、大気酸素を作るシアノバクテリアの不思議な世界を探検・研究されている超極地研

田辺優貴子さんが2019.1.15.NHK 視点・論点に登場して、再度「南極の湖から生命のルーツを探る」とのテーマで熱く南極・地球の話された。

番組の中で、現世生物の生命の起源に最も大きな影響を与えたシアノバクテリアの大気形成と現世生物の出現をわかりやすい図面「大酸化事変」を用いて解説されていましたので、ご紹介。

大気に含まれる酸素がどれほどの時間をかけをかけ、増加していったのか？

その間の事情ならびに このシアノバクテリアの作業により、生まれた酸素。そして、海水に解けていた膨大な量の鉄がシアノバクテリアに取り込まれ、かつ酸化されて、海底に沈殿して、現代を支える膨大な縞状鉄鉱床を作り上げた。

■ **和鉄の道・Iron Road** 《NHK BS ドキュメンタリ「南極 氷の下のタイムカプセル」》
鉄の惑星「地球」35億年前 現在の生物起源に遡る Iron Road の絶景

にわかには信じがたい地球創世記のドラマ。一番知りたかったこの営みの時間軸が、わかりやすい図面で紹介。いわば、生命誕生から、生物の陸地進出ならびにオゾン層形成に、生活圏が地全体に広がっていった「鉄の惑星・地球」での生命体の時間軸。また、膨大な鉄鉱床形成を納得させてくれる時間す。

5. 冬の夕暮れ 明石大橋に沈む夕日

この冬 毎日の散歩でトライした明石海峡の落日 やつとこんなPhotoが撮れました



神戸須磨界隈の街歩き 相も変わらず 元気にCountry Walk を楽しんでます



いつも甲への里山の景色ばかり、ふっと神戸の港を歩きたくなくて 今日walkを清盛が開いた兵庫津 兵庫港へ 2019. 1. 22.



神戸兵庫「柳原えびす神社 新春 10日えびす」2019.1.11 残り福を授かりに 今はやりの奉納マグロもみたくて



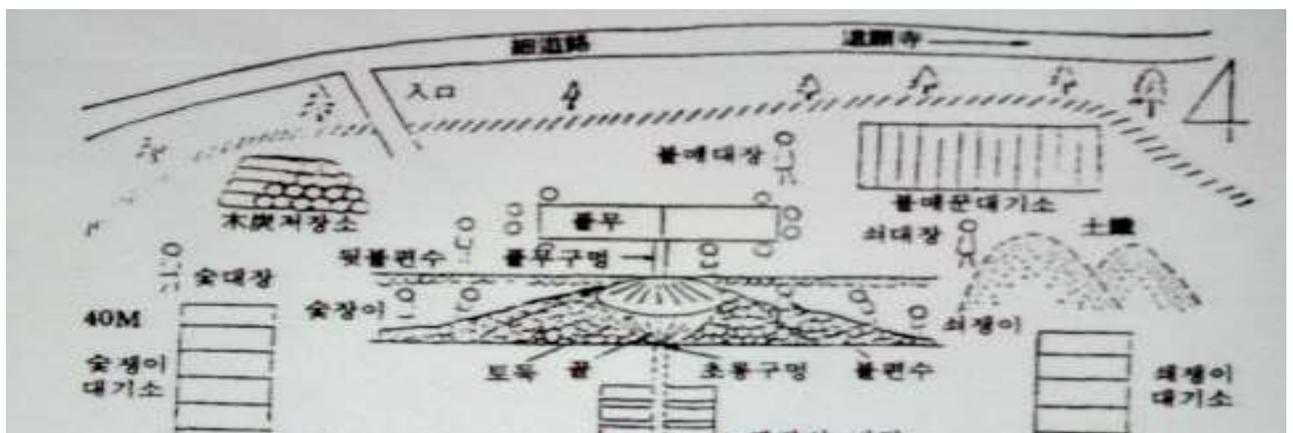


見るからに高さ約6m 炉底の内径約3m の巨大な製鉄炉 炉壁は礫を積み上げた石張り炉
 石炭を燃料に大きな鞆・送風管で大量の風を送込み、高温を作り出し、鉄鉱石を高温熔融還元して、高炭素の熔融銑鉄を作る。製鉄炉のすぐ近くには炒鋼炉が配され、溶銑をかき混ぜ、脱炭して、鉄素材を大量に効率よく作り出す。加熱原料に石炭 大口径の送風力 粉状でない鉄鉱石原料 これらの使用がこの巨体炉を支えていると感じました。また、大量に量産される鉄は武器・実用鉄器ばかりでなく、大型鋳物の文物が数多く作られている。このことにもびっくりした。巨大炉は知っていましたが、捨身を交えての具体的な鉄づくり現場を聞くのは初めて。そのすごさ 巨大さにびっくり。

◎ 中世 韓半島 高麗時代の製鉄 主生産地は忠州地域



中世 韓半島の製鉄遺跡 報恩大元里遺跡 地点2 18~19世紀の石築製鉄炉



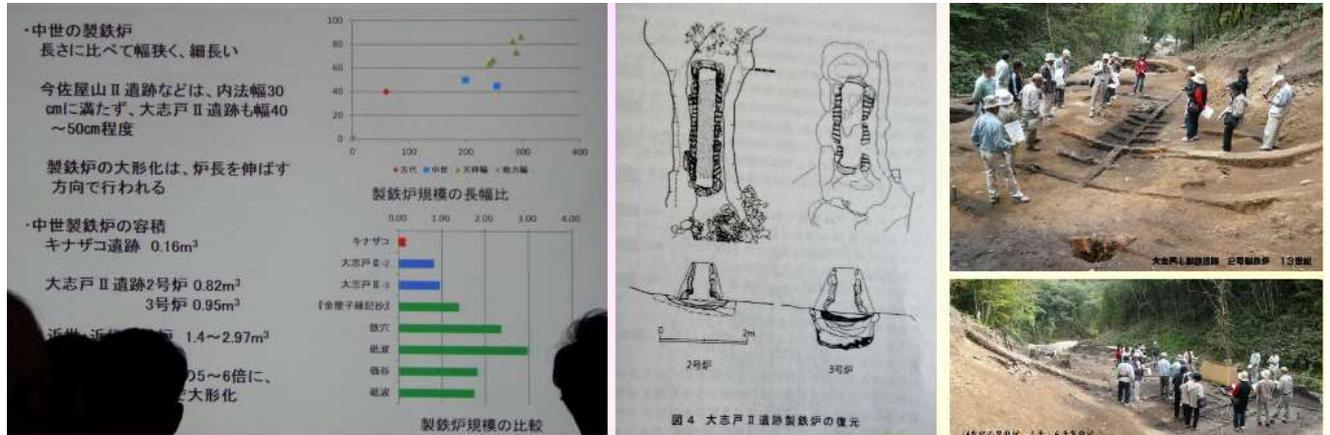
古代を引き継ぐ製鉄炉は 下部の炉底面周囲に割石を積み積み、上部炉壁を積む際の支持帯を作って炉体を構築。送風は鞆。送風管は破片のしか出土していないが、厚さ約1cm 内径14~cm 程度の大口徑送風管が、1・2本が炉壁外から差込まれ、高温操業による熔融痕跡が見られる。
 高麗時代後半 製鉄炉の高温操業・量産化対応の炉容拡大に対応する石築型の新しい類型が現れた。炉の内径は約80cm。鉄炉の残存高さは 丘の上方にある送風施設までを基準とすると約240cm。製鉄炉ならびに堤と呼ばれる石築 排滓関係施設、送風関係施設、作業場などが残存。製鉄場全体が見え、燃料は木炭・原料は鉄鉱石。炉壁上部が壊されていることから、溶銑と炉内に鉄塊があったと推定される。製鉄炉は私がイメージしていたほど小さくなく、ビックリ。

大型送風管による上吹きと石築で、高温を得て、炉容拡大対応できたのだろうか？ 日本の縦型炉の進化と同系とみることも？

中世 韓半島の製鉄炉操業は もっと中国の製鉄炉に近いと思っていましたが、 意外にも日本に近いのにビックリ。 また、どちらも地域に応じた原料・装置に応じて進化して来たようだ。

中国の巨大炉操業には 大型送管による上吹き送風とともに、石炭の利用がkey だったのだろう。 一方、韓国では石築による炉壁強化等で炉の保温・高温化で炉容拡大と量産化に対応を進めている

◎ 中世 日本の製鉄 主生産地は芸北・島根や(東北福島)に移り、近世の出雲 永代たたら製鉄の原型が形妻られて行く。これも 日本の地域特性への進化系である



日本中世の製鉄の中心は 原料である使いやすい砂鉄 磁鉄鉱系からチタン系砂鉄の安定確保から、吉備から、出雲・岩見・出雲へと 移ったという。中世の製鉄遺跡は丘陵地を切削して作った平坦面に立地。

炉容を拡大して生産量上げるには、炉を高温に安定保持することが重要で、砂鉄を原料とする日本では送風を強化すると砂鉄が舞い散り、また、炉の内径をむやみに上げることもできない。箱型炉の形は砂鉄原料と炉幅・高さとの絶妙なバランスで成り立っている。そして、炉容拡大には長さを伸ばし、鞆羽口を増やすことで、バランスを取っている。したがって、残された炉内高温確保と保持の道には 安定した砂鉄原料と炉底周辺の湿気による熱放散の防止であった。

中世の日本では主生産地となった芸北・岩見で積極的に取り組み、日本独自の大型箱型炉ならびに大型箱型炉の下部構造を急速に進化させ、 近世 出雲を中心とするたたら製鉄へとつないでいった。

近隣する3つの国の同時代の製鉄技術の展開を一度に眺めることが出来た今回のシンポジウム。

今まで自分がイメージしてきた思いが、随分違っているのにまずびっくり。

また、それらの差が技術のスタートからの差異だとの思いもあったのですが、それぞれの地域の中で育まれた技術展開であった「石炭・大型上吹き送風技術あつての中国の巨大製鉄炉」・「大型上吹き技術に石築の炉体強化技術あつての韓半島の石築製鉄炉」・そして、「砂鉄原料の安定活用の中できめ細かく炉内の高温安定をきわ

めた炉底部構造を有する日本の箱型炉の展開」 それらが、それぞれの国の中で編みだされた製鉄の進化系である。 ルーツは一つながら、それぞれが出会い・育み、つないでいった技術であったと理解できました。 私にとっては 本当にうれしいたたら製鉄探求の視点をあたえてくれたシンポジウムでした。 資料作成にあたり、今回のシンポジウム講演で映し出されたスライド ならびに予稿集から、写真や内容を抜き出し、使わせていただきながら、私の聴講メモと合わせ、私の聴講記録としてこのまとめを作らせていただきました。 私的メモとして、記述内容 写真等借用・転記していますので取り扱いご留意いただきますようお願いいたします。

また、たたら製鉄や日本の鉄の歴史など古代鉄研究のナショナルセンターとして この10年輝かしい成果を上げてきたこの愛媛大学東アジア古代鉄研究センターが この4月1日から「アジア古代産業考古学研究センター」へと改組継承されるという。

「鉄」の名前が消えるのは残念ですが、引き続き古代鉄のナショナルセンターとして、さらに新しい挑戦をされてゆくことを大いに期待しています

まだ 日本の中世の製鉄をいれられず、中途半端ですが、今回のシンポの聴講記録を下記ファイルにまとめています。 上記と合わせ一つに早急にしますが、ご参照ください。

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター

■ 第11回国際学術シンポジウム「たたら原世界 -日・中・韓の中世製鉄-

私的聴講 抜粋記録 by Mutsu Nakanishi



2019. 1. 28. 松山へ行く高速バスの中でみた、今年初めて目にした雪景色です
松山道 吉野川サービスエリア周辺で

◆ 2月如月 春迎いのページ 編集後記

なんとか 今年も2月 節分春迎いのページを作ることが出来ました。 もっとも、今まで掲載してきた「節分の鬼」の再掲載。でも この時期やっぱり「鬼」がいないと気になって。 もう 2月定番のIron Road の鬼 お許しを。 掲載させていただいた愛媛大シンポ「たたら原世界-日・中・韓の中世の製鉄-」ならびに、神戸の近隣 walk もきっちり整理できず、PDF PHOTO アルバムでの掲載に。 でも 色々ありますが、みんなに支えてもらいながら、元気にやっています。

◎ Iron Road の出会いの中で 積み残しになった

縄文のこと

最近 朝日デジタルに立て続けに、上記のような見出しで、「縄文」ブームの中、その捉え方に警鐘を鳴らす記事が掲載された。

home page Iron Road ・和鉄の道で「縄文」について 発信している私にとっても、しっかり受け止めねばならぬ



警鐘と捉え、記事を紹介するとともに、私の思いについて 書き記しました。
詳細は省きますが、記事を読み、私の受け止めとして抜き書した骨子を次頁に掲載。

■ 2019年1月15日11時00分

縄文=ユートピア」はホント？ 食料争奪の可能性／森林破壊も

「縄文」が注目を集めている。東京国立博物館で昨夏開かれた「JOMON」展は35万人を動員。
ネットなどでは「格差も戦争もない」「自由でエコロジカル」といった理想郷のような見方も広がる。
最近の研究から、縄文時代の「本当の姿」を考えてみる。

「もし、自分が『縄文時代に暮らしてみませんか』と聞かれたら間違いなく断ると思いますね」と県立郷土館の岡本洋学芸主査は話した。

「縄文の人々は火を放つなどして集落周辺の森林を切りひらいていたが、当時は自然破壊より自然の復元力がまさっていたので、回復していた。現代的な意味で、彼らが環境に優しい暮らしをしていたとは言えないと思います」

■ 2019年1月31日11時00分

「格差も戦争もない」本当？ 縄文時代、見えてきた実態 との掲載記事

最近語られる「エコロジカルな縄文人」とのイメージについて、違和感を抱く

「発掘調査の結果、津軽平野などの集落の集中場所では集落の存続期間が短いものがあることがわかってきた。食料が尽きると、新たな資源を求めて集落自体を移転させていたと考えられるという。
木の実を保存して通年の主食とした一方、大型獣からカエルまであらゆるものを食べて飢えをしのいだ。決して豊かな時代ではないんです。

最近語られる「エコロジカルな縄文人」とのイメージについて、国立歴史民俗博物館の山田康弘教授は「違和感を抱く」と語る。

縄文時代の人口は少なく、最多の時期でも日本列島全体で26万人程度（人口密度で1平方キロあたり0・7人）にすぎなかった。「縄文の人々は火を放つなどして集落周辺の森林を切り開いていたが、当時は自然破壊より自然の復元力がまさっていたので回復していた。現代的な意味で、彼らが環境に優しい暮らしをしていたとは言えないと思います」

近年は縄文好きのアマチュアが出す解説本も多い。阿部教授は「必ずしも理詰めで書かれていないが、専門家の本よりとっつきやすいのかもしれない。一般の人とを結ぶ役割を果たしてくれれば」と期待しつつ、「理想郷」のイメージが再び拡散することを危ぶむ。

読んだのはデジタル版の抜き書きで、意が十分伝わったかどうか、気になりますが、
論旨はおおむね上記の通りです。

私も和鉄の道・Iron Road の中で

「縄文帰りの勧め」「日本の心の故郷 縄文」「一万年も平和で豊かな生活が続いた世界に類のない日本の「縄文」社会 そのエンジンは「他人を思いやる心」だった」と何度も掲載しています、
また、私にとって この2月はいつも今の暮らしや我々のルーツに思いをはせる時期でもあり、自分自身の縄文に対する認識と思いを発信しておかねばと考えてこの文を書いています。

私も縄文の暮らしはこの朝日デジタルの記事の通り、過酷で厳しい自然環境の中での生活だったことには異論ありません。

「縄文は厳しい暮らし」であり、「あんのんとした平和で豊かな暮らしが続いた」との認識はなし。
この厳しい暮らしの中で「共に生きる」の暗黙のルールの中で生き抜くことが出来たのが縄文だと。

現代人の暮らしをそっくり縄文に当てはめ、そこで暮らすなどと持ち出すことこそがおかしく、仮想現実の持ち込みだと。ところが、高度情報社会の行き過ぎの中で、現実をと仮想現実の境が無茶苦茶に混同破壊され、その悪癖がそのまま我々の生活にも影を落としているのも事実。

だからこそ なおさら 遠く離れたルーツまで遡り、社会を見つめることに大きな意義があると考えています。

地球環境が激変する時代に生きる中で、格差・対立が激化し、戦争・核の脅威が日増しに高まる厳しい現実。
「あんたとひとまかせ」の仮想現実にしがみつくななどできないとの不安がよぎる。
厳しい環境と苦難に何度も遭遇しながらも命をつなぎ、生き延びてきた人類
そして1万年の長き持続社会を繋いだ世界に誇る日本の縄文。

その「key」は何か?????

「相手を思い、助け合う共生 それが知恵・活力となり、永續の原動力」だという。

「人類・縄文」を持ち出さなくても 近くは原爆・大震災。そして日々の暮らしの中にもその証拠はいくつも
見つかる。だが、今の社会ではそれがストレートに出せない現実がある。

そんなこともあたまにあって、バーチャルでなく自分の目で、縄文が共有してきた理念・文化そして生き様を
語り合いたいと「縄文帰り」「日本の心の故郷縄文」と呼びかけている。

世界に類のない日本の「縄文」そのエンジンは「他人を思いやる心」

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

2019.2.3. 節分に縄文に思いをはせて Mutsu Nakanishi



春はもうすぐそこまで

仲間がいる 仲間の元気を活力に!!
お互い 無理せず元気に前向いて 今日も一日 Good Day!
まだ好奇心もある 我が身の健康に感謝しつつ、また 一年
互いスクラム組んで 前むいて 老いを笑顔で

2019.2.5. Mutsu Nakanishi



2019年 3月 from Kobe 2019. 3. 5.

◆ 2019年 弥生 3月 春の足音はすぐそこに!!
どこかで春が生まれてる 平成最後の春 前向いて今を元気に



弥生3月 春はすぐそこに!!
 平成最後の春 前向いて今を元気に
 1 どこかで春が生まれてる
 平成から新しい時代に向かって
 2 西神戸の春を知る梅見
 今年は梅の花をついはむ「つぐみ」に
 3 西神戸の春の味覚
 伊川谷 森本さんちのイチゴ
 4 和鉄の道・風来坊・四季折々2018
 昨年の記事を合本3冊の電子Bookに
 5 今月のhome page 更新記事



いつもの散策の道 梅の花の香りがほのかに漂い、遠く見晴らす明石海峡も春霞。足元を見ると春の草花も咲き始め、庭に鶯もやってきて 初鳴き うれしい春の到来です 揺れ動く激動の時代の中で、この春平成の時代が終わり、新しい時代を迎えます。

なんとかインフルエンザを乗り切ったと思ったら、早くも花粉症。後期高齢 老化を感じる歳になりましたが、お互い無理せず 元気に。最近の世相を思いつつ、新しい時代の開始と若い人たちに期待一杯 老齢の我々にも脇から Follow の役割を果たさねばならぬと。

また、迫りくる老化や病気・困難に直面している人たちを思いつつ、 God be with You!!
家族・仲間の笑顔を活かして我が道を行く。

2019.3.5. Mutsu Nakanishi from Kobe



1. 弥生三月 どこかで春が生まれてる

老いを日に日に感じる世代ですが、**新生の息吹きを胸一杯吸い込んで**
ひるまず前向いて 無理せず元気に今を

春の到来と共に時代が変わる **新しい時代を生きる助けに** ー最近の新聞記事よりー



2019.1.30 朝日新聞朝刊 オピニオン欄 掲載記事
経済同友会代表幹事
[小林喜光氏 <インタビュー>記事 転記ご紹介](#)
「平成の30年間、日本は敗北の時代だった
敗北日本、生き残れるか」

2018. 11. 29. 神戸新聞朝刊 指路21欄 掲載記事
評論家
[内橋克人氏 <評論>記事 転記ご紹介](#)
「安倍外交の実相 目立つ内外の食い違い
国を危うくする言いつくろい」

平成 30 年間の時代が今春を最後に終わり、5 月より 新元号の新しい時代へ変わる
平成の 30 年間 昭和の高度成長期から、グローバル化と IT 高度情報化と成熟高齢化の社会が並行して
急激に進んだ時代だった。 昭和の成功体験を持つリーダーたちが、日本を動かしてきた時代であった。
その後、激変ともいえる急速な社会展開の中で、従来の経験では対応できぬ国境を越えた高度情報化社
会が形成され、もはや個々1 国では制御できぬ時代に入っている。
また、この間 地球の温暖化がもたらした気象環境の激変と活動期に入った地球がもたらした激甚災害
の発生が追い打ちをかける。
この国際社会全体を巻き込みつつ激動変化してゆく時代に、日本では旧態依然一握りのリーダー層たち
の成功体験に頼り切る薄っぺらな国際化・グローバル化と数頼みの刹那の時代対応。
.何一つ太刀打ちできなかった日本。
今や出口の見つからぬ閉塞感漂う中で迎える新時代である。
地球の異変・社会の異常を誰もが身近に感じる時代に、我が身さえよければではどうにもならぬと。
また、気が付けば、ひとり閉じこもっていても 誰も手を差し伸べてくれぬ厳しい現実。
この平成の 30 年 日本は敗北の 30 年だったと総括するリーダーもいる。
出口はあるのか・・・・
でも 新しい時代はやってくる。 30 年間の総括反省の中で、新しい潮流 若者たちの力にも期待したい。
あの「辺野古の県民投票」を主導した沖縄の若者たちの考え方と行動はその一つか……
成功体験に縋りつくリーダーたちには早くリタイアを願い、中央を若者たちに譲り、山積みの諸問題と
立ち向かって、この閉塞感を打ち破ってほしい。 また、熟年高齢者も経験が生きるフォロアーとして、新し
い生き方を切り開かねば……・と。 色々考えねばならぬ時代替わり。手放しでは喜べぬ平成最後の春です。

また、この弥生三月 忘れてならぬ 3.11.のこと 東日本大震災と原発事故そして さらに昨年も新たな自然
災害が多発 被災者の皆さんの復興はまだ道半ば さらに自立支援・救済の手が差し伸べられますよう

政治はいまだに東京一極集中と大型プロジェクトにしか目が向かぬのか・・・・・・・・・・
 負け惜しみは言うまい。技術立国日本の地位も今や東南アジアの諸国にも追い抜かれそう。
 日本の今を見れば、原因は明らか この平成 30 年を動かしてきた政治の責任は極めて重い。
 今 自らの次回も含め、年寄りも 若者も新しい道を踏み出さねば・・・
 「自ら 替わろう 変えよう 日本を」と

弥生三月 どこかで春が生まれてる
 古いを日に日に感じる世代ですが、新生の息吹きを胸一杯吸い込んで
 ひるまず前向いて 無理せず元気に今を

2019.3.5. 平成最後の春を迎えて From Kobe

2. 西神戸の春を知る梅見 今年梅の花をついばむ野鳥「つぐみ」に



毎年 梅林に入って 春の訪れ梅見を楽しむのですが、同時に梅満開の梅林から見晴らす景色や足元で咲き始めた春の草花すく、目の前の梅の花をついばみに来る野鳥を探すのも魅力。今年珍しい「つぐみ」に出会えました。昨年はヒヨドリ。鶯が何度もなくのが聞こえるのですが、姿を見せず。梅の香りが漂う草地に座り込んで、周りの景色を眺めながら、野鳥の鳴き声に耳を澄ます。近くの梅林ならではの至福のひとつ。さあ うれしい香が来た!! 気持ちもムンムンがんばらねばと。

つぐみは冬の渡鳥 3月半ばには群れを成して北へ帰ってゆくという。梅林には北へ帰る準備をする冬鳥も訪れると知りました。毎年 春の訪れを知る定点として訪れる神出の郷の雌岡山梅林と須磨離宮の梅林。人に邪魔されることもなく 春到来を独り占め、毎年新しい春の発見ができてうれしいポイントです。

3. 西神戸の春の味覚 伊川谷 森本さんちのイチゴのこと



異変続きの昨今 春の訪れを楽しみにしている西神戸春の味覚。甘いイチゴにも異変が起こっていると聞く。ハウスの中で、いつも通り。ミツバチも元気なのに、イチゴの身の収量が少なく、毎日の出荷が出来ない。でも なんとかやっと手に入って、うれしい味覚。また、西神戸春の風物詩 いかなご新子漁も5日に解禁になるが、昨年に続く大不漁の見込みと聞く。

海も山も街も そして日々の暮らしもはやく落ち着いて 穏やかになるよう願っています
 どうか 頑張って、来年へつなげてほしいと・・・・・・・・と。
 「ぶつぶつ言っても始まらぬ。元氣隠して次へ」と森本さんは明るい。
 地域の産業の元気がうれしいねえ 応援してまへす。

4. 和鉄の道・風来坊・四季折々2018 昨年の記事を合本3冊の電子Bookに

<p>和鉄の道・Iron Road 2018 [18]</p> <p>和鉄の道・Iron Road 2018 [18] 日本の源流・たたら遺跡探訪</p> <p>By Mutsu Nakunishi</p> <p>[37MB・155P]</p>	<p>風来坊・Country Walk 2018 [17]</p> <p>2018 風来坊 Country Walk 里歩き・山歩き・街歩き 2018</p> <p>By Mutsu Nakunishi</p> <p>[48MB・155P]</p>	<p>四季折々・From Kobe 2018 [17]</p> <p>2018年 四季折々 [17] 四季折々・Mutsu Monthly 神戸版 9 2018</p> <p>By Mutsu Nakunishi</p> <p>[18MB・114P]</p>
---	---	--

【2018 和鉄の道 掲載概要】	【2018 風来坊 掲載概要】	【2018 四季折々・From Kobe 掲載概要】
日本の源流・たたら遺跡探訪 《和鉄の道 2018年掲載リスト》	里歩き・山歩き・街歩き 《風来坊 2018年掲載リスト》	四季折々・思いつくまま From Kobe 《四季折々 2018年掲載リスト》

今月の掲載記事 トピックス Photo 抜粋



1.	<p>【和鉄の道・Iron Road】【PDF File】 鉄の話 あれこれ 久しぶりに聞く弥生の銅鐸「青熱脆性」の言葉 弥生の銅鐸破片「銅鐸の有する青熱脆性の性質が弥生時代終末の証を解く」 青熱脆性 弥生人は青熱脆性を知っていた 銅鐸を加熱後、取り出して衝撃をあたえれば 割れて破損することを知っていた</p>			
2.	<p>【風来坊・Country Walk】【PDF File・Photo Album】 前回掲載した記事をスライド動画に再構成して掲載しました 暖かい冬の日 ぽっこりと 清盛が整備した旧大輪田泊 兵庫の津 「兵庫の津」界隈 walk 2019. 1. 22. 1. 久しぶりに兵庫の港を歩く 2. ニットを首飾った「兵庫の津」界隈を歩く 3. ニットを首飾った新川運河プロムナードとニットの仏様 3. 兵庫の津の今の海岸線 兵庫突堤から 港神戸を眺める</p>			
3.	<p>【風来坊・Country Walk】【スライド動画】 & 【Photo アルバム】 2019. 2. 13. & 2. 20 2019 西神戸梅見Walk 待ちかねた春の足音がすぐそこに!! 1. 須磨離宮公園梅林 2019. 2. 13. 2. 神出の郷 龍岡山の梅林 2019. 2. 20.</p>			
4.	<p>【From Kobe 弥生3月 春の足音がすぐそこに 神戸便り】 どこかで春が生まれてる 平成から新しい時代に向かって ◎ 収録 2019.1.30朝日新聞朝刊 オビニオン欄 掲載記事 経済同友会代表幹事 小林喜光氏 <インタビュー>記事 転記ご紹介 「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」</p>			
	<p>和鉄の道・Iron Road 電子ブック 「和鉄の道2018」 - 「四季折2018」 - 「風来坊2018」 独りよがりの記事ばかりですが、2018年の記事 一年分をの3冊に整理できました それぞれ、ファイル容量が大きいので、オープンに時間がかかりますが、お許しください。 《2018年版「和鉄の道 - Iron Road」電子ブック》 【電子ブック】製本版 2017年 和鉄の道 - Iron Road Year Book</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="319 2004 686 2110"> <p>和鉄の道・Iron Road 日本各地の製鉄遺跡・開港地探訪</p> <p>和鉄の道 2018 [37MB 155P] bookIron2018.pdf</p> </td> <td data-bbox="686 2004 1021 2110"> <p>風来坊・Country Walk 日本各地の山・川・里探訪</p> <p>風来坊 2018 [48MB 155P] bookWalk2018.pdf</p> </td> <td data-bbox="1021 2004 1356 2110"> <p>四季折々・From Kobe 思いつくまま ぶっつけ神戸便り</p> <p>四季折々 2018 [18MB 114P] bookMutsu2018.pdf</p> </td> </tr> </table>	<p>和鉄の道・Iron Road 日本各地の製鉄遺跡・開港地探訪</p> <p>和鉄の道 2018 [37MB 155P] bookIron2018.pdf</p>	<p>風来坊・Country Walk 日本各地の山・川・里探訪</p> <p>風来坊 2018 [48MB 155P] bookWalk2018.pdf</p>	<p>四季折々・From Kobe 思いつくまま ぶっつけ神戸便り</p> <p>四季折々 2018 [18MB 114P] bookMutsu2018.pdf</p>
<p>和鉄の道・Iron Road 日本各地の製鉄遺跡・開港地探訪</p> <p>和鉄の道 2018 [37MB 155P] bookIron2018.pdf</p>	<p>風来坊・Country Walk 日本各地の山・川・里探訪</p> <p>風来坊 2018 [48MB 155P] bookWalk2018.pdf</p>	<p>四季折々・From Kobe 思いつくまま ぶっつけ神戸便り</p> <p>四季折々 2018 [18MB 114P] bookMutsu2018.pdf</p>		

◆ 弥生3月 春の足音がすぐそこに 早春のページ 編集後記

なんとか 今年も3月の更新ページを作ることが出来ました。

毎年 2 月末 各地の梅だよりが届くと還付申告の書類を須磨の税務署に届け、近くの須磨綱敷天満宮の梅見に行き、「西神に春到来」のページの作成に取り掛かる。でも 後期高齢者になって 還付金もないので、今年は申告パス。 毎年梅見に出かける須磨離宮と西神戸神出の郷 雌岡山の梅林の梅見で春迎え うれしい春のページを掲載できました。 春の花暦を連ねてこの3月~5月末まで、神戸の春が駆け抜ける。うれしい春の到来です。

でも 春到来を喜んでばかりはいられない。 この春を最後に平成の30年が終わり、新しい時代へ。平成の時代は 高度成長の昭和から国際グローバル化・高度情報化の厳しい競争の荒波にさらされつつ、急激な高齢化社会に突入し、なかなか幸福感が味わえぬ閉塞感が漂う社会に。

年号が変わる新しい時代 日本の脱出口はあるのか・・・・・・・・

そんなことを今回も考えつつ From Kobe を。

また日に日に老化を感じる歳になり、行動半径も小さく、記憶力も衰え、たたら探訪も厳しくなってきました。もう「和鉄」「Iron Road」「たたら製鉄」の言葉も広く使われるようになり、記録媒体も多様化して、私の勝手な記録など思いはあってもいみはないかも・・・・・・・・。

でも、一年一年掲載してきた記事の積み重ねは私の行動記録 自分史の一部であり、その年々の歳時記にと時折引っ張り出しては楽しんでいます。

鉄の道2018・風来坊2018・四季折々From Kobe2018の3冊に2018年の記録を合本まとめが出来ました。 まあ 元気で1年動けた印です。

なんとか 日本海を渡りくるたたら製鉄にたどりつけたら・・・・・・・・と思うのですが、それはそれです。

勝手気ままな風来坊 老化は日々感じています、まだまだ好奇心もある。

「心地よい、ゆでガエル状態」などまっぴら。激動の新しい時代を元気にと。

これからも よろしく願います。



弥生三月 どこかで春が生まれてる
老いを日に日に感じる世代ですが、
新生の息吹きを胸一杯吸い込んで 日々新た
今できることを精一杯 無理せずゆっくりと

「まあええか 元気だして行こう」
心は行ったり来たりですが、好奇心さえあればと
God be with You!!

2019.3.5.
平成最後の春を迎えて From Kobe
Mutsu Nakanishi

高齢者には厳しい時代
家族・仲間がいる 仲間の元気を活力に!!
お互い 無理せず 前向いて
今日も一日 Good Day!

まだ好奇心もある
我が身の健康に感謝しつつ、また 一年
互いスクラム組んで 前むいて
老いを笑顔で



◆ 2019年 待ちかねた春爛漫

年号が平成から令和に 新しい時代を元気に!!

野山・海も街・里そして人も 新生の息吹に満ちて 新しい出会いと出発に日々あたら



車楽落田園地・緑ヶ丘越しに芽吹きが始まり草木燃ゆ 西六甲達山山腹には点々と咲き始めた桜・ミツバツツジのピンクも



4月 さくらと共に春爛漫
新しい出会いと出発に日々あたら

野山も里も草木萌え、新生の息吹に満ち満ちて
街には新しい門出の若者たちの華やいた声が響く
生命観あふれる うれしい季節に 気分も新た
若者たちに「カー杯飛び出せ!!」とエールを送る
今でないとの思いも強い者の毎日
好奇心もまだある お互い無理せずを前向いて



4月 我が家の庭も門前も 一斉に花が咲いて うれしい春爛漫 2019.4.1
野山も郷・街も 新生の息吹に満ちる ハッと気が付く神戸の春【1】妙法寺北の若草の丘で

待ち遠しかった梅が咲いたと思うと、山は一斉に若草色 菜の花 そして桜が
すぐ後を追い、春爛漫 ピンクのミツバツツジも……。
近くの里では春の野菜や、イチゴ。 街には華やく若者たちの声が響く。
野山・海 街も里そして人も 華やかに彩られ、新生の息吹に満ちる。
うれしい春到来。あれもしたい これもしたい。
そして 仲間からの声も 孫たちも元気にかけてくる。老齢を感じる歳になり、
今でないとの思いも強い日々。
平成最後の春 いろんな思いが頭を駆け巡るが、この春のエネルギーを一杯貰
って、気分も新た。共に元気にスクラム組んで 毎日を前向いてと気持ちを奮
い立たせています。健康で元気に動ける我が身に感謝しつつ、
お互い God be with You!! God be with You!! と我が道を行く。
神戸の春の便りをお届けします。



野山も郷-街も 新生の息吹に満ちる ハッと気が付く神戸の春[1] 妙法寺北の若草の丘で



若草の丘も桜が咲き、南の遠くかすみ須磨川を背に眼下の垂葉落の田園地・緑ヶ丘 2019.4.1.

野山も郷-街も 新生の息吹に満ちる 神戸の春[2] 神戸の市街地 再度山の山裾 宇治川沿いの桜並木は満開近し 一気に気分も晴れやかに

神戸の一本桜「奥平野の舞桜」がある水の博物館の丘のすぐ下 2019.4.1.
神戸の一本桜「奥平野の舞桜」は 昨年より遅れています



神戸平野 水の科学博物館の丘から「舞桜」が見下ろす宇治川沿いの桜も満開 素晴らしい桜の春到来 2019.4.1.



神戸平野 水の博物館の桜 2019.4.1.



市街地を見下ろす再度山麓の丘 水の博物館に咲く神戸の一本桜 「奥平野の舞桜」 2019.4.1.
昨年は3月末にもう満開でしたが、今年はまだちらほら咲き あと1週間が待ち遠しい

3. 春の息吹 スライド動画で ◎ 日本各地で郷を見下ろす一本桜 ◎ 2019年神戸春の訪れ Photoアルバム

【スライド動画】満開の花をつけた枝を精一杯広げ、日本各地で郷を見下ろす一本桜

人それぞれに思い出 桜を眺めるといつも口ずさむ歌がある
桜が咲くと毎年同じ動画と郷を見下ろす各地の一本桜の掲載お許しください
この動画とBGM好きで、私にとってこれを見るのも春の息吹 楽しみです



神戸 再度山 山桜



神戸奥平野の「舞桜」



佐用 漆野光福寺の「大糸桜」



姫新線三日月 佐用川の桜堤

《 かつて訪れたことがある日本各地の一本桜 》 mp4 動画 7:05 28MB

桜を眺めるといつも 口ずさむ 歌がある

懐かしい私の応援歌 かつてのTVドラマ主題歌 「記念樹」

「桜の苗が大きく育つ頃 僕らはみんな 大人になるんだ……」

動画 <http://www.ironroad/sakura/sakurawalkmp4>



神戸の街を見下ろす奥平野の「舞桜」 2014.4.4. 水と科学の博物館

神戸の街を見下ろす山裾の高台 2014.4.5.

奥平野貯水池・水の科学博物館にある一本桜 奥平野「舞桜」が 今年も今満開に

満開の一本桜を見ると全く意識していないのですが、ついつい口ずさむ歌がある

題名は知らないがずっと以前よく見ていたTV番組の主題歌

私とおなじ感じを持っていた人が多らしく、偶然にもインターネットから探録できたので、日本各地で見てきた一本桜の写真をその歌に載せて、スライド動画にしてそれぞれの一本桜を思い出しながら 楽しみました



樹齢200年といわれる「聖徳太子植栽」の山桜（神戸区） 2014.4.1.



2014年4月14日撮影。神戸市立中央公園。神戸市立中央公園。神戸市立中央公園。神戸市立中央公園。



2014年4月14日撮影。神戸市立中央公園。神戸市立中央公園。神戸市立中央公園。神戸市立中央公園。

■ 春 桜の季節 堂々とした姿の一本桜 ひととそれぞれの思いがある。

《 かつて訪れたことがある日本各地の一本桜 》 mp4 動画 7:05 28MB

■ また、100歳になったら 赤ちゃんにもどれるんだから……と充実した毎日!!

ジョージ・カーリンの名言「老いを楽しく生きるために」より



【スライド動画】2019年 神戸春の訪れ Photoアルバム
野山も海も街・里そして人も 新生の息吹に満ちて 新しい出会いと出発に日々あらた

ちょっと足踏みしましたが、神戸でも桜の花が咲きだし、この1週間で満開になるでしょう
 まちかねた春 うれしい桜満開の 春爛漫に。
 4月まじがで寒くなって、昨年より、ちょっと桜の開花もも足踏み。
 野山・海 街も里そして人も 新生の息吹に満ちて 日に日に変化してゆく神戸の春の訪れ

<http://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/walk15/1804sayonoharu.mp4>

毎日のWalkingの道すがら、移り変わる春の景色に目を奪われ、新しい発見に「新生の息吹に満ちて」と胸膨らませ、日々新た。

特に今年は平成最後の春
 老齢と向きあう歳で迎えるきびしい激動の時代に
 安閑としてはおれず

若い人も年寄りも スクラム組んで 毎日 Good Day!!
 「心地よいゆでガエル日本」などの言葉を吹っ飛ばそう!!

また、自分の健康に感謝しつつも、
 病気や老齢と闘っている仲間のことがかかる。
 ただ思いをはせることしかできませんが、
 この春を元気で!! 笑顔での復帰を願ってエールを送る。

うれしい季節到来に 愚痴はいうまい。
 日々老いを感じる中で、健康で元気に動ける我が身に感謝しつつ、
 お互いGod be with You!! と我が道を行く

まだ 私の好きな春の妖精「カタクリの花」や
 郷を見下ろす一本桜の姿に出会いに行けていませんが、
 みんなに今年の神戸春 須磨・妙法寺界隈のWalkingで見つけた
 春の息吹をスライド動画にして送ります。

新生の息吹を 胸一杯膨らませて!! この春を笑顔で!!

2019.4.5. Mutsu Nakanishi



2019年 神戸春の訪れ Photoアルバム

野山・海も街・里 人も 新生の息吹に満ちて
 新しい出会いと出発に日々あらた

4. 大阪西の守り 四層の天守閣を持つ美しい尼崎城オープンほか 2019. 3. 30.



私の故郷 尼崎に尼崎城が再建され、3月29日一般オープンした、大阪の西の要 四層の天守閣を持つ美しい城である。
 29日あいにくの霖雨でしたが、甲子園へ野球を見にいた帰りに、オープンセレモニーが行われている尼崎城へ行ってきました。
 明治の廃城で取り壊され、ほとんど市民にも興味を持たれていませんでしたが、
 尼崎城が姿を表すにつれ、街も得天いに盛り上がっています。
 阪神工業地帯の中核工業都市のイメージがあまりにも強く、それ以外のことはほとんど知られぬ尼崎。
 観光資源も歴史資源も数々あるのに誰も本気で考えようとされなかった街である。
 このお城も観光資源として取り上げられているが、今は空っぽである。
 また、謡曲・歌舞伎そして小説などに取り上げられてきた数々の史跡やスポットや庶民の街としての遺産や産業遺産等々、
 それこそ尼崎城とインスタ映えるPhotoで結び、発信すれば、面としてつながる資源としてよみがえると。
 いろんな取り組み発信を通じて、ソフト面でも充実され、街の活性化につながるよう期待しています。

私的にはお城の外堀 庄下川を船着き場にして 運河をめぐる、可動橋の大運橋をくぐり、
 パナマ運河方式の尼ロックを抜けて大坂湾に出て、再度尼ロックに入り、尼崎城下へ帰るルートなど
 いい面ルートになるとひそかに期待しています。これを軸にすれば、いくつものインスタ映えるスポットがつけられると。
 まあ 夢から何が生まれれば.....
 尼崎城周辺は桜が植えられ、今後は広い多目的公園に整備されてゆくと聞く。
 街の南の中心に一年を通じて いつも集いのあるような場所になればと期待を膨らませています。
 下記 蛇足ですが、あまりよく知られていぬ尼崎の歴史が掲載されています。ご参考まで

参考 ◆ [Web版 図説 尼崎の歴史](#) 尼崎市立地域研究史料館





朝日新聞
DIGITAL

人工鉄の起源について 和歌が愛媛大の国際シンポを中心にご紹介してきましたが、その中でも紹介してきた大村幸弘氏を中心とする日本の発掘調査団が トルコ カマン・カレホック遺跡 で発見したヒッタイト以前の人工鉄が「ヒッタイト起源に異説か」と題して2019.3.25朝日新聞にレビュー紹介されていたのでご紹介。

製鉄起源に新たな説 鉄の歴史に一石

ヒッタイト起源に異説か 通説「ヒッタイトの地」から最古の鉄遺物出土

2019.3.25. 朝日新聞1面トップニュース & 朝日新聞 Digital 掲載



カマン・カレホック遺跡で見つかった世界最古級の製鉄関連の遺物。ヒッタイトの地で ヒッタイト以前の地層から人工鉄出土確認したとの記事

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019iron/19iron03.pdf>

〈 聴講を中心とした 愛媛大学東アジア古代鉄文化センター国際シンポジウム関連掲載記事リスト〉

「人工鉄・製鉄技術の起源 & 西ユーラシア大陸を結ぶ《Metal Road》を探る」

[. https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019iron/19iron04.pdf](https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019iron/19iron04.pdf)

たたら製鉄や日本の鉄の歴史など古代鉄研究のナショナルセンターとして、この10年輝かしい成果を挙げってきた愛媛大学東アジア古代鉄研究センターが、この4月、さらなる発展を目指して「アジア古代産業考古学研究所」へと継承改組された。

愛媛大学 東アジア古代鉄文化センターは この10年

- ・人工鉄の起源の探求
- ・東西ユーラシア大陸を結ぶ金属器・鉄器文化の道《Metal Road》探求

を旗印にユーラシア大陸諸国との連携・交流を一層深め、数々の成果をあげ、国際シンポジウムを開催して、その成果を広く一般に公開。

シンポジウムが開催されるごとに聴講参加させていただき、私にとっては、最新の成果に元づく、たたら製鉄の源流をたどるうれしいシンポジウム。

そして、その成果を聴講記録として 和鉄の道・Iron Roadに掲載紹介させていただきました。

Iron Road・和鉄の道 記事一覧 by Mutsu Nakanishi 2019.3.25
【聴講を中心とした愛媛大学東アジア古代鉄文化センター国際シンポジウム関連掲載記事リスト】



東アジア古代鉄センターが区切りを迎えるこの3月、その成果の一部とも重なるヒッタイト以前の人工鉄の記事が朝日新聞に掲載されたこともあり、東アジア古代鉄センターの10年間の成果をまとめて眺める資料として、和鉄の道・Iron Roadの掲載記事を拾い出して、境内の記資料にまとめました。

私にとっては、愛媛大学東アジア古代鉄研究センターの10年の成果そのものの記録File

その10年の多大な研究成果に敬意を表するとともに、この10年ずっと聴講させていただき、かつ和鉄の道・Iron Roadに掲載をさせていただいたことに深く感謝します。

この10年培ってこられたユーラシア大陸諸国との連携・交流研究をバックボーンに、産業考古学・古代鉄の分野にこだわらず、さらなる先進の道を切り開かれることを期待しています。また、引き続きよろしくをお願いします。

2019. 3. 25. Mutsu Nakanishi

愛媛大学 東アジア古代鉄文化センター 国際シンポジウム 国際シンポジウム 国際シンポジウム
人工鉄・製鉄技術の起源を探る関連掲載記事リスト 2019.3.24
和鉄の道-Iron by Mutsu Nakanishi



★★ 今月の home page 更新記事 ★★



1.	<p>【和鉄の道・Iron Road】【PDF File】 製鉄起源に新たな説 鉄の歴史に一石 2019. 3. 25. ヒッタイト起源に異説か 通説「ヒッタイトの地」から最古の鉄遺物出土 2019. 3. 25. 朝日新聞1面トップニュース & 朝日新聞Digital 掲載</p>										
2.	<p>【和鉄の道・Iron Road】【PDF File】 Iron Road ・和鉄の道: 記事掲載 2019. . 3. 25. 《聯講を中心とした愛媛大学東アジア古代鉄文化センター国際シンポジウム関連掲載記事リスト》 《人工鉄・製鉄技術の起源 & 西ユーラシア大陸を結ぶ《Metal Road & Iron Road》を探る》</p>										
3.	<p>【風来坊・Country Walk】【スライド動画】&【Photo アルバム】 待ちかねた春の訪れ!! 2019神戸の春 毎日walkより 4月卯月の春迎え</p> <table border="1"> <tr> <td>1.</td> <td>2019 春の草花 妙法寺界隈で</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>春の陽光に照り輝く須磨の海 2019.3.9. 須磨 旗振山 山上梅林より</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>2019 菜の花 2019.3.15. 総合運動公園コスモスの丘で</td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>北山麓 飛竜寺から高取山山頂へ登る 2019.3.18.</td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>須磨寺 お大師さん弘法市 2019.3.21. 久しぶりに卯の花寿司をほうばる</td> </tr> </table>	1.	2019 春の草花 妙法寺界隈で	2.	春の陽光に照り輝く須磨の海 2019.3.9. 須磨 旗振山 山上梅林より	3.	2019 菜の花 2019.3.15. 総合運動公園コスモスの丘で	4.	北山麓 飛竜寺から高取山山頂へ登る 2019.3.18.	5.	須磨寺 お大師さん弘法市 2019.3.21. 久しぶりに卯の花寿司をほうばる
1.	2019 春の草花 妙法寺界隈で										
2.	春の陽光に照り輝く須磨の海 2019.3.9. 須磨 旗振山 山上梅林より										
3.	2019 菜の花 2019.3.15. 総合運動公園コスモスの丘で										
4.	北山麓 飛竜寺から高取山山頂へ登る 2019.3.18.										
5.	須磨寺 お大師さん弘法市 2019.3.21. 久しぶりに卯の花寿司をほうばる										
4.	<p>【From Kobe 卯月 4月 待ちかねた春 さくらと共に春爛漫 神戸便り】 野山・海も街・里そして人も 新生の息吹に満ちて 新しい出会いと出発に日々あらた 平成最後の春を元気に!!</p> <p>◎ 再収録 平成から令和へ 新しい時代に向かって 2019. 1. 30朝日新聞朝刊 オビオン欄 掲載記事 経済同友会代表幹事 小林喜光氏 <インタビュー>記事 転記ご紹介 「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」</p>										

*** 平成から令和へ元号が変わる ***

老齡の身には厳しい激動の時代 お互い笑顔で

日々新た 今できることを精一杯 無理せずゆっくりと

「まあええか 元気だして行こう」と励まして 心は行ったり来たりですが、好奇心さえあれば...

🌈 困難の中に居られる方々にエールを!!

日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと
 いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないで 仲間がいる

暖かい希望の輪がつながっていることを」

神共に居まして
 得られるものを 変える「勇氣」
 変えられないものを
 受け容れる「心の静けさ」
 両者を見分ける「叡智」を
 ニーバーの祈り より .
 God be With you !!



🌈 平和を願って 決意も新たに!!



へいわってなにな。ほくは、かんがえたよ。
 ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎのんびり
 いる。ちょうめいそがたくさんはえ、
 よなくにうまが、ヒビーンとなく。
 みんなのころから、へいわがうまれるんだね。
 これからも、ずっとへいわがつづくように、
 ほくも、ほくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

◆ 安里有生君の詩 (20136.23.発表当時小学1年生)

「へいわって すてきだね」

◆ PDF Photo「原爆資料館 & オハマさんの折り鶴」

◆ 原爆資料館 映像展示資料 原爆を投下された広島

遅れた梅雨のはじまりから酷暑の夏へ 2ヶ月ぶりの更新 お元気ですか!!



梅雨の雨上がり 南の高取山から須磨アルプス 2019.7.2. 若草の街より



心配された6月の猛暑・水不足も何とか乗り切って、西神戸伊川谷では田に水が入り、田植えの終わりの指標「半夏生」へ
今でないとの思いも強い老いの毎日 好奇心もまだある お互い無理せず 前向いて



梅雨の雨上がり 昼先で



梅雨の真っ盛りの中で迎えた本年の7月
雨上がり、葉に雨粒を乗せたアジサイにほっと一息



大開港から超スピードで高水橋へ帰って来てはまた超スピードで
瀬場へ向かう船がひっきりなし。
すごい数の漁船が早瀬・瀬水の隅を行く
『♪ 大阪湾はシラス船の群舞場』と覚えてもらった。
漁船や高水ではしらす丼が新しい名物に
昼ご飯は高水産でしらす丼に挑戦したいな〜



初夏の風 2019.6.24.
海側から眺めると長瀬 大瀬がながる 高水と高水との間が狭い
湧くことわけては高水産の群舞場は山へ



開港47年 水に船が乗り出すのが
おもしろい。高水産の群舞場は山へ

梅雨の合間の晴れ上がった空に入道雲 快晴の空にも元気をもらおう

お元気でしょうか 異常気象の中で 梅雨が各地で猛威を振るっています
体調維持とともに 災害にも感度をあげて ご留意ください
【スライド動画】

4月後半から5月 神戸を駆け抜けた春 From Kobe walking 記録
home page 更新できなかった平成から令和への時代が替わった年のはじめの5月
何も無いにしろ時代のふしめ 神戸の断片を記録に残しておこうと
デジカメに収めていた写真をスライドにまとめました



<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/walk16/1906maykobewalk00.htm>

春が猛スピードで駆け抜けて行く中で 年号が変わり、新しい時代に。
昭和の高度成長から成熟停滞の平成の時代を多くの仲間と共に一番
の活動期を歩んだ我々にとっては、後期高齢で迎える「令和」の新しい
時代 想いも人それぞれ ひとしお。

折りしも 重厚長大・高度成長を支えた鉄鋼住金の名が消えた。
「一人負けの日本」の声を背負いながら、
我々の時代は終わったと一抹の寂しさを覚えながらも、
年寄りの経験や流儀が先端で踊る時代でない。
おだやかで優しい平和な社会を願いつつ、若者たちへの期待一杯。

◎ [高度成長を支えた鉄鋼住金の名が消えた](#)

この5月体調不良に陥ったこともあって、散々。
令和の新時代がスタートしたのに、home page 更新もできずでした。
いろんなことへの関心も薄らいでいましたが、体調回復と共にやっとい
つものスタイル 勝手気ままな風来坊にやっと戻れました。この間 home
page の整理や自らを振り返るいい機会にもなりました。
あれもこれもしたいとの思いが頭を駆け巡り、また、日に日に老齡を感じる
歳になり、今でないとの思いも強い。

まあ 非生産的ではありますが、愚痴は言うまい 家族や仲間エネルギーをもらいつつ、新時代を共に駆けると。
毎日を奮い立たせています。健康で元気に動ける我が身に感謝しつつ、お互い God be with You!!
7月 遅い梅雨の中 久しぶりの神戸の便りを届けます。

2019.7.5. from Kobe Mutsu Nakanishi



7月 遅れた梅雨のから酷暑の夏へ

経験したことのない初夏
目まぐるしく変わる気象変化に負けぬよう

【梅雨入りは未だなのですが、 庭ではアジサイが咲いてすっかり梅雨・初夏モード】



季節が早夏からから梅雨に、新しい時代を元気に
富士の麓に建てた新しい施設に感動に目を奪われた
春の足音を聞いて 梅雨の気配を待つ 梅雨元年6月1日
お久しぶり、夏は梅雨の季節「梅雨」から梅雨の季節が来る
夏は梅雨の「梅雨」・夏は梅雨の「梅雨」を待ちながら梅雨の季節を乗り切る
梅雨の季節に梅雨とは異なる
お久しぶり Good bye with you! 梅雨に動いて
夏が来るのを待つ 梅雨元年6月1日です

梅雨の季節に梅雨とは異なる



<p>7月 遅れた梅雨のから酷暑の夏へ 経験したことのない初夏 お元気でしょうか 【平成から令和へ 2019神戸を駆け抜けた春】 【動画】 From Koe walking 記録</p>	
1.	7月のはじめに 初夏の歳時記に出会って 6月31日 京の和菓子「水無月」 7月 2日 半夏生
2.	【動画】 梅雨時のもやもやをぶっ飛ばす入道雲 西六甲の山海の青空に沸く入道雲展望
3.	home pageを安全に閲覧していただくため 暗号化送信対応(SSL化)への移行のお知らせ
4.	和鉄の道トピックス
5.	今月のhome page 更新記事



老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代
仲間の笑顔を活力に!! スクラム組んで 今を元気に!!.

1. 7月の初めに 遅れた梅雨から酷暑の夏へ 田植えが終り 秋のみのりを願う歳時記に出会いました



6月30日(6月「水無月」の終わり) 京都 京の和菓子「水無月」を食べて無病息災を祈る
7月 2日(夏至から数えて11日目)半夏生 明石 タコを食べる

この時節西神戸の近郊では田に水が入り、美しい光景。日に日に田の青を増している。
当初晴天続きで各地で豪雨の翌にも、梅雨入りの気配も見えず、今年はどうなるかと思いましたが、
6月末にやっと記録となる遅延の梅雨入り。梅雨入りにホッと一息で迎えるのは初めてか.....

6月30日 所用で京都に家内と行っていましたが、京都の街のコンビニや和菓子の店、そして百貨店にも
「6月30日は『水無月』の日」の看板や張り紙。店頭には京都の和菓子「水無月」を買い求める行列もできています。
「水無月」は「うるうるの上に甘い小豆をびっしり敷き詰めた京菓子」
「また 和菓子屋が口実つけて『水無月』を食べる日だったなあ それにしても すごい広がりや」と。
すると家内いわく「京都では 誰も知っているよ。帰りに買って帰る」という。

京都は良く知っているつもりでしたが、そんな歳時記 風習が根付いているのを初めて知りました。
京都では6月30日に和菓子「水無月」を食べることご存知ですか？

負け惜しみで「神戸は 半夏生の日(今年は7月2日) 明石のタコ」食べるよなあ 高いけどウナギも食べたいなあ・・・と。



京の和菓子「水無月」6月30日
無病息災 健康を祈る

6月30日(6月「水無月」の終わり)
京都 京の和菓子「水無月」を食べて無病息災を祈る

京都では、1年の折り返しである6月30日の「夏越祓(なごしのはらえ)」に、
半年を無事に過ごせたことを感謝し、1年の残り半分の無病息災を願い、
邪気を払うとされる小豆をうるうるにのせた和菓子「水無月」を食べる風習があると。
水無月の和菓子は知っていましたが、そんな風習があるのも、
また「小豆」の意味づけも初めて。

歳時記というのは面白い。年々季節感がなくなる中で、
商品の宣伝でこじつけ的に作られる歳時記には乗りたくないのですが、
こっちの方はしっかり季節のけじめを教えてくださいまして、
うれしい。



7月 2日(夏至から数えて11日目)半夏生
明石 タコを食べる
 季節の目安「半夏生」は夏至から数えて11日目 今年7月2日
 この頃に「ハンゲショウ」という草の葉が名前の通り半分白くなって
 化粧することからこの名が生まれたといひ、
 この「半夏生」までに田植えを終えないと稲穂が稔らないという
 農事に関する歳時記。
 半夏生にタコを食べるのは、田植えを終わった苗がよく根付くように
 との思いを込めて食べるという。
 明石では名産のタコ
 この風習を広げようとの想いと農事がむすびついて 広がったという。

◎ 2015年 7月に紹介した歳時記 7月2日「半夏生」と明石のタコより
 参考 <https://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/2015mutsu/fkobe1507.pdf>

でも 今年の暑さ 近くの学生たちは5月20日頃一斉に衣替え。衣替えは6月1日とっていましたが、最近の酷暑に衣替えは年々前倒し。無理からぬ。季節の歳時記も年々時節に合わなくなりつつ、消えてしまうのでしょうか 自然災害と同時にこんなところにも地球温暖化の影響が見えだし、楽天的ではおられない。今 日本に行く末ばかりでなく、この温暖化にも地球規模で意識して歯止めの手をうたねば・・・破滅が忍び寄る。

2. 【スライド動画】西六甲鉄拐山の展望 梅雨時の青空に沸く入道雲 その爽快さに 気分もすっきり
 梅雨時のもやもやを吹っ飛ばす 神戸の山と海 青空に湧き上がる入道雲
<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/walk16/1907shokanokumo.mp4>



【2019年梅雨時 西六甲鉄拐山の展望】 152 6.3MB
 梅雨空のもやもやをぶっ飛ばす
 神戸の山海 青空にもくもく湧き上がる入道雲



■ PHOTO file [神戸の山海 青空にもくもく湧き上がる入道雲](#)

3. 【暗号化送信対応(SSL化)への移行のお知らせ home page を安全に閲覧していただくために】
 asahi-net サーバーにあるtop page & infokkna.com サーバーにある全個別ファイル共 暗号化送信に対応完了。

- 従来のURL: http://www.infokkna.com/****.htm
- 安全を改善した暗号化送信のURL: https://www.infokkna.com/***.htm
<http://> → <https://> に変更されています。(httpの後に"s"を入れる)

home page 閲覧時 サーバーからの送信を暗号化して、ほかの人に見られず、ページの改変などが手続内安全な送信の仕組みです。これに対応するため、この5月にサーバーに格納されているhome page ファイルすべてを修正対応を図りました。従来の通常送信のサイトを閲覧すると画面上部欄に未保護の警告が出ていましたが、解消されています。URL欄を見ると 従来のURL 標示欄の <http://> → <https://> に変更されています。

◎和鉄の道・Iron Roadのhome page URL: <https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/>に変更をお願いします

PDFファイル内のリンクアドレスなど旧の <http://> のままで残されたものでは通常送信されますので、上部欄に未保護の警告が出る場合がのこりますが、その場合にはURL 標示欄の <http://> → <https://> に変更(httpの後に"s"を入れる)を暗号化送信対応アドレスに変更していただければ、暗号化送信に切り替わり、警告も消えて、暗号化送信の画面を閲覧できます。

閲覧時に上部欄に未保護の警告が気になる場合 ならびにPDFfileに掲載したリンクアドレスがURL: <http://>のままの場合にはURL 標示欄の <http://> → <https://> に変更(httpの後に"s"を入れる)の暗号化送信対応アドレスに変更して閲覧ください。

4. 今月の掲載記事 トピックス・Photo 抜粋

卑弥呼の邪馬台国・初期大和の国造りに大きな影響？ 大鍛冶工房など大生産工房を有する

【インターネット検索情報】 昨年徳島で出土の弥生中期末・後期の大交易拠点集落 加茂宮ノ前遺跡

淡路島の日本最古最大の鍛冶工房村と言われた淡路島五斗長垣内遺跡より古く

また 実用鉄器製造工房のほか 当時の朝鮮半島交易の中心交易品

水銀朱や勾玉などの装飾品の生産工房も有していたという

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/iron15/1906kamomiyanomae.pdf>

5. 今月のhome page 更新記事

<p>【朝鉄の道・Iron Road】【PDF File】 【鉄のはなしあれこれ】 2019. 6. 28. By Mutsu Nakanishi 【インターネット検索情報】 弥生時代の群馬台地・前期大和の国造りに大きな影響を与えたと考えられる大鍛冶工房など大主権工房を有する弥生中期末・後期の大交易拠点集落 加茂宮ノ前遺跡が昨年徳島で出土した</p> <p>淡路島の日本最大最大の鍛冶工房村とされた淡路島五斗島地内遺跡より古く また 青森県新巻遺跡 工場のほか 当時の朝鮮半島交易の中心交易品 家紋や写字などの遺跡地の主要工房も有していたという</p> <p>インターネット情報の整理 弥生中・後期淡路島の大規模鍛冶工房集落前にも現出していた大規模鍛冶工房集落 徳島 阿南市 加茂宮ノ前遺跡が流れる阿波川 巨勢の若杉山遺跡の近く 弥生時代の鉄器の製造拠点 淡路島ノ前遺跡</p>	<p>【国策の・Country Walk】【スライド動画】 & 【Photo アルバム】 6月 夏の始まり 梅雨時の晴れ間 毎日walk 久しぶりに須磨アルプス東山walk 2019.6.13.</p> <p>6月 夏の始まり 梅雨時の晴れ間 毎日の須磨アルプス東山walk</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 梅雨時の今 水田が広がる西神戸の里の田園風景 2. 梅雨時の今 庭先を飾るアジサイ2019 3. 高倉山で登さがし GPSと地図で探すGEOCACHING 4. 久しぶりに 須磨アルプス東山walk 横尾山・庭の青・須磨の海 5. 葉を揺らすと口から角が出た!! 葉の如き 全く知らず ビックリ
<p>【国策の・Country Walk】【スライド動画】 & 【Photo アルバム】 4月後半から5月 2019年春 From Kobe の記録 野も山も街もひとと新生の恵吹 新緑の神戸の街を元気に駆けろ!!</p> 	<p>4. 【2019年梅雨時 西六甲赤松山の展望】 150 6.30.6 梅雨空のもやもやをぶっ飛ばす 神戸の山海 青空にもくもく湧き上がる入道雲</p> <p>5. 【From Kobe 7月 神戸便り】 遅れた梅雨のはじまりから盛夏の夏へ 2ヶ月ぶりの更新 お元気ですか!! 経験したことのない初夏 目まぐるしく変わる気象変化に負けぬよう</p> <p>◎ 高度成長を支えた鉄鋼巨企の名が消えた 【平成】の縮図から【令和】の新時代へ 経済研究代表理事 小林善光氏 <インタビュー> 記事 飯沼源行 【平成の30年間、日本は戦後の時代だった 戦後日本、生き残れるか】</p>

◎ 編集後記 雑感

5・6月 更新をパスし、まとまらぬまま 毎日の神戸須磨の暮らしとwalkingで
とった写真をスライド動画に。

私の興味のままにのちやまぜの7月更新のhome page になりましたが、お許しください。
後期高齢で迎える新時代 益々取り残されそうですが、まだまだ元気 好奇心もある。
新しい時代の新展開に期待一杯と前向いと誓い立たせています。

インターネットを検索して得た情報 弥生中・後期の鍛冶工房ほかの生産工房を有する広域交易の拠点集落
阿南市 加茂宮ノ前遺跡の出土、淡路島の遺跡と共に 日本国造りについて、なにか突破口を開きそうで、
うれしい阿南市 加茂宮ノ前遺跡の出土です。
以前から気になって、調べていた阿波や讃岐の集落遺跡の記事等も引っ張り出して、今後の展開に興味津々です。

今朝 門先で脱皮して 羽を乾かしているセミを見つけました。
さいさきよし もうすぐそこに夏 この夏を元気に乗り切りましょう

老化・病氣・介護などの困難に みんながむきあう
後期高齢で迎えた令和の新時代

自分の健康に感謝しつつも、病氣や老齢と闘っている仲間のこと
いつも頭の中にあります。
ただ 思いをはせることしかできませんが、
笑顔での復帰を願って エールを送っています。
仲間の笑顔を活かす!! スクラム組んで 今を元気に!!

神とにいまして
得られるものを変える「**勇氣**」と
変えられないものを受け容れる「**心の静けさ**」
両者を見分ける「**叡智**」を
- ニーバーの祈りより -

God be With you!

2019.7.5. 令和の時代の最初のFrom Kobe Mutsu Nakanishi



今できることを精一杯 無理せずゆっくりと

「まあええか 元気だして行こう」
心は行ったり来たりですが、
God be with You!!
好奇心さえあればと
2019. 7. 5.

From Kobe Mutsu Nakanishi

高齢者には新しい時代
家族・仲間がいる 仲間の元気を活力に!!
お会い 無理せず 前向いて
今日も一日 Good Day!

また好奇心もある
我が身の健康に感謝しつつ、また 一年
互いスクラム組んで 前向いて
君を笑顔で



ひまわりの夏 到来

体調変化に気を付けて この厳しい夏を乗り切りましょう



■ ひまわりの夏2019 明るく元気なひまわりたち ■

東播磨小野市ひまわりの丘 & 西播磨たたら山郷 佐用(旧南光町)のひまわり畑 2019.7.17.



2019 ひまわりの夏 ひまわりwalk 2019.7.17.

2019.7.17. 2019 ひまわり walk Photo

今年も小野の「ひまわりの丘」 & 千種川が流れ下るたたら山郷 「佐用のひまわり畑」へ
元気に顔を太陽に向けるひまわりたちに出会えました

西播磨古代たたら山郷の山里のひまわり畑【1】
清流が流れ下る千種川の佐用古代たたら跡 漆野段集落のひまわり畑

漆野 千種川東岸の丘にある漆野段集落の
ひまわり畑 2019.7.17.



清流千種川が流れ下る漆野 河岸段丘の西側の丘に本村・段の集落 ひまわり畑が空りの南の段集落のある丘へ登る 2019.7.17.



2019ひまわりの夏 ひまわりwalk 2019.7.17.



今年も小野のひまわりの丘 & 千種川が流れ下るたたら山郷佐用のひまわり畑を訪ねて元気な暇割れに出会えました

- ◎ 小野市浄谷 ひまわりの丘 ひまわり畑
- ◎ 千種川が流れ下る古代たたら山郷 旧南光・旧三日月のひまわり畑
 - ◆古代たたら跡 千種川河岸田段丘の丘 漆野段集落のひまわり畑
 - ◆千種川河岸段丘 林崎のひまわり畑
 - ◆旧三日月町 志文川河岸姫新線電車が行く宝蔵寺のひまわり畑

小野ひまわりの丘・佐用漆野のひまわり畑はうれしい満開
佐用林崎・宝蔵寺のひまわり畑は満開を過ぎていましたが、
毎年 夏のうれしいたたら山郷とひまわりの出会い
元気をもらって帰ってきました From Kobe Mutsu Nakanishi



東播磨の田園 ひまわりの丘のひまわり畑



西播磨たたら山郷 佐用のひまわり畑(左徳・久林崎 右:漆野段のひまわり畑)



西播磨の田園地帯が広がる道175号沿い
【小野市清谷 ひまわりの丘 ひまわり畑】



2019.7.17. 小野市ひまわりの丘



2019.7.17. 小野市ひまわりの丘



小野ひまわりの丘 2019.7.17.

【小野市ひまわりの丘から 西播磨佐用 古代たたら郷のひまわり畑へ】



小野のひまわりの丘から 西播磨佐用 古代たたら郷のひまわり畑へ
 中国自動車道滝野IC→山崎IC→県道53 切谷峠 佐用旧南光

小野のひまわりの丘から 西播磨の古代たたら郷 佐用へ向かう。国道115号線を北へ少し走れば、中国自動車道滝野IC中国自動車道滝野IC→山崎IC→県道53切谷峠の道。原子ヤリだと中国道沿いに田園地帯を眺めながら走り抜けるのですが、今日は中国道に入って一機に西播磨穴栗市の中心 山崎へ

山崎ICを出て、いつもの県道53号線、中国山地山間の山崎断層の中のを峠道を佐用へほとんど交通のない静かな峠道 杉林の美しい山中 切谷峠・八重山峠を越えて、千種川の流れる佐用旧南光地域へ 峠下の下三河三差路から、南に折れると千種川が流れ下る佐用旧南光地域 山間に河岸段丘が広がる古代たたら郷 旧南光町徳久地区へ 四季折々の美しい山郷の風景を見せてくれるほごりした山郷で、この4月にはカタクリの花と漆野光福寺の一本松「大糸松」を訪ねました。今回は千種川沿いの各集落が休耕田を利用して河岸段丘に少しづつ時期をずらせて作るひまわり畑。すぐ南の旧三日月町へも。姫新線と志文川に沿った宝蔵寺のひまわり畑へも訪ねたい。ひまわり畑と列車と川の流れ。良く知られたビューポイントへも訪ねたい。

北の千種から山間を流れ下ってきた西播磨の大河 千種川が、下野の郷で西に方向を変え、古代たたら郷の山郷徳久地区にはいる。千種川と下野の里を渡る中国道の赤い高架橋をくぐると狭い山間の漆野の郷。川を挟んで、北に漆野本村・南に漆野段集落 今は漆野段集落のひまわり畑が盛りという。



小野市の森林浴の丘から 西播磨佐用 古代たたら郷のひまわり畑へ
 中国自動車道滝野IC→山崎IC→県道53 切谷峠 佐用旧南光
 中国自動車道滝野IC→山崎IC→県道53 切谷峠 佐用旧南光
 中国自動車道滝野IC→山崎IC→県道53 切谷峠 佐用旧南光
 中国自動車道滝野IC→山崎IC→県道53 切谷峠 佐用旧南光

西播磨古代たたら郷の山里のひまわり畑 [2] 千種川の東岸河岸段丘 広大な段々畑に広がる 東徳久林崎集落のひまわり畑



漆野から千種川を少し下ると左東側一帯は段々に広がる田園地帯 その先に東徳久・林崎のひまわり畑がひろがり、ひまわり畑の目印野球場が見える 今年訪ねた時期が少し遅く、盛りを過ぎていましたが、広大なひまわり畑。今年もううれしい出会いに。



◎ 2019 ひまわりの夏 更新の便り

8月掲載リスト

◎ 2019 ひまわりの夏 【slide 動画】【風来坊・Country walk】

東播磨 小野市ひまわりの丘 & 西播磨 古代たたら郷のひまわり畑を訪ねる

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/walk16/2019himawari00.htm>

◎ 【From Kobe:8月盛夏 ひまわりの夏】ひまわりの夏 8月 雑感 From Kobe

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1908.pdf>

「ひまわりの夏」 ことしも元気なひまわりに出会えました

激動の時代に遭遇して、何かと気が晴れぬ今年の夏

異常気象が毎日我が身に迫る今年の夏。おかげさまで 家族ともども元気に暮らしています。

あれもこれもお伝えしたいと思いつつも、夏バテ 気力乏しく お許しください。

ひまわりの夏の便りだけは何とかなんとかお送りすることが出来ました。

空には入道雲がモクモクと。

今年は雨が多かった精か六甲の滝も水しぶきを上げ、なんとも心地よい。

夏の朝を楽しませてくれている朝顔もさきだして すがすがしい朝に。

夏の高校野球県体かい久しぶりに球場で母校の校歌を聞くことが出来て、うれしいひとときでした。

和鉄の道・Iron Road 淡弥生時代最古最大級の鍛冶工房村が淡路島につづき、徳島でも出土。

我々関西人は 実感の伴わぬ鉄の時代と思いつつも、期待を込めて

すぐに卑弥呼・大和の国造りとからめてしまう。

そんな「弥生時代の鍛冶工房村」をしっかりとどう見るべきか・・・

専門家村上恭通先生が徳島で講演された概要が 幾つか インターネットに掲載されている。

やっぱり、弥生の鍛冶工房村を卑弥呼・大和の国造りの前の時代としての視点が丁寧に説かれている。

行けなかった講演 しっかり記録掲載せねば・・・と。

これも次回に。 おいおいページを差し替え取り組みしてゆきたいと思っています。

一方 世相はまったくわけのわからん時代に。 これで日本は世界と伍して行けるのだろうか・・・

現政権が目のかたきにする朝日新聞が、語気鋭く指摘するが、世は動かず。

若者たちは老仙人になったのか、「ひとは知らぬが自分には今が一番心地よい。変化は求めず」と。

「ぐちは言うまい。 もう 取り残されてしまったなあ…… でも 我が道を行く」と。

積み残しはゆっくり少しずつなくなったら ぼちぼちやります。お許しください。

そろそろ古い行く先のことが気にかかりだしていますが、みんなに助けてもらいながら、

相変わらずの風来坊 孫バカやっています。

どうか体調変化に気を配られ、この酷暑を乗り越えられますよう。

God Be With You!! お互い元気に前向いて。 2019年ひまわりの夏

太陽に顔を向けて元気な姿を見せるひまわり なにかの助けになれば・・・・・・・・

2019.8.1. ひまわりの夏 from Kobe Mutsu Nakanishi

【追伸】 伊丹にいる中3の孫が この夏 7月～9月初にかけて、ソフトテニスの部活での夏の大会で個人・団体戦 共に地区大会・阪神大会を勝ちぬいて県大会出場。個人戦ではベスト8に入って近畿大会に出場。この夏は 試合日程に合わせて家内と二人デジカメ持って追っかけでした。

晴れの近畿大会の滋賀県長浜へも応援に。全国的に有名選手が多い中で中間の応援を受けての奮戦でした。

ホームページには記録しませんでした。我が家にとってはこの夏一番の嬉しいトピックス。

孫の戦い記録をまとめて収めたスライド動画を作り、全記録をDVDにまとめました。

伊丹西中 大門大朗・浦田惟生組

2019年夏 ソフトテニス 兵庫県大会・近畿大会への道
伊丹西中の仲間と共に



DVD Disk 内に収録した 2019 夏ソフトテニスの道 Photo・動画スライド記録 File
「2019 夏大門・浦田組近畿大会への道」572MB に収録

1. 製本 Book アルバム [2019summerslidewebphotobook.pdf](#)
2. Photo アルバム [2019summerslidephoto.pdf](#)
3. スライド動画 [2019summerslide.mp4](#)



2019年 9・10月 from Kobe 2019.10.1.

Happy Autumn 2019 秋迎え 10月初秋の便り スクラム組んで 今を元気に!!



Happy Autumn
2019 秋迎え
10月初秋の便り
2019.10.1.

1. 【動画】2019 西神戸・東播磨田園 秋の風物詩
2. 夏から初秋へ 入道雲から秋雲へ
3. 今月掲載した和鉄の道・Iron Road より
4. Happy Autumn 10月掲載リスト

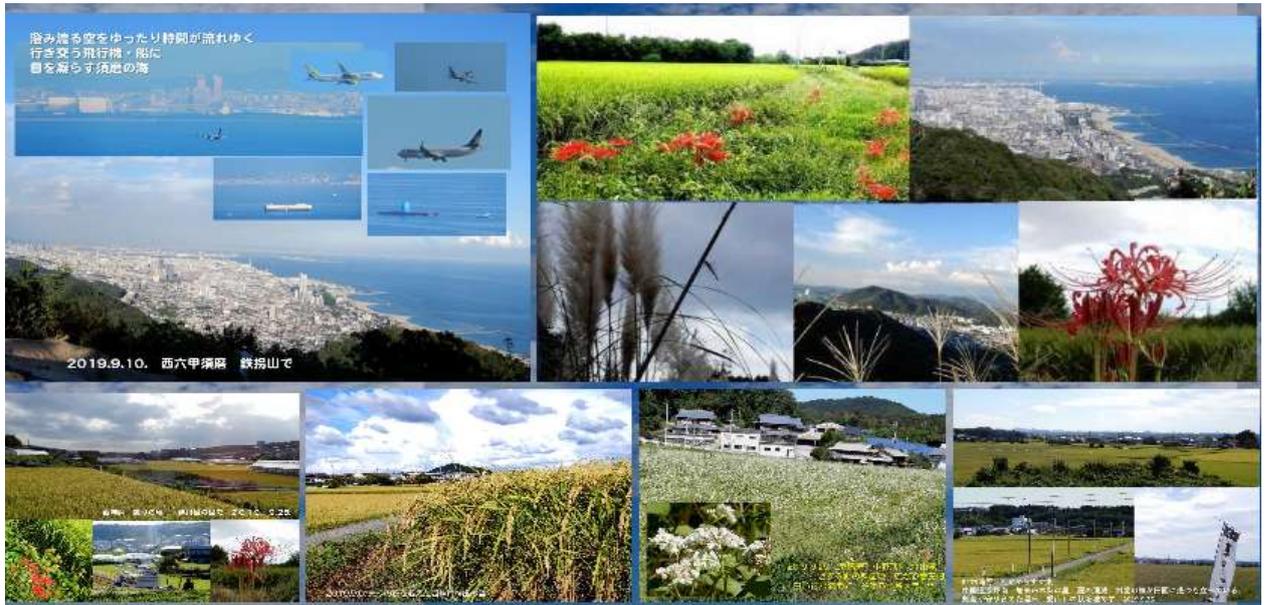


老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代 仲間の笑顔を活気に!!

異常気象進行の中 自然や交通など災害が猛威を振るっています

体調維持とともに災害予知にも感度をあげた行動をご留意ください

.2019.10.1. from Kobe Mutsu Nakanishi



季節感が2週間ほど遅れているかのような気がしていますが、酷暑・台風・集中豪雨の夏が過ぎ、朝夕爽やかな秋の風、とんぼが大空を舞い、眺める須磨の海も遠くまで空澄み渡る秋景色 里では 一面黄金色の畦に彼岸花も咲き、実りの秋を告げ、うれしい新米も届く 街では ワールドカップの勝利に沸く でも、パラダイムシフトが猛スピードに進む国際情勢に 取り残されるな日本!! でも 愚痴は言うまい 若者に期待しつつ 隅っこでなんとか・・・

久しぶりに杯を重ねて 仲間と語り合うのも楽し 海・山・里戸外に飛び出すもよし またひとり娘に更けるもよし

いろいろあったこの夏ですが 秋迎え 気分も新た Happy Autumn 今を元気に!!



1. 【スライド動画】2019 西神戸・東播磨田園 秋の風物詩 2019.9.25.



◇ 西神戸 神出・伊川の里 実りの秋を迎え 一面黄金色の田園
◇ 小野777 入南山麓の田園 志方・福匂峠 棚田の秋
◇ 小野777 入北山麓の田園 小野市ぎすみ野 一面真っ白の蕎麦の花
◇ 東播磨 妙見山麓に広がる田園 多可町関子の里の彼岸花
◇ 東播磨 加東市木梨の里 蕎麦が守り育てる酒米「巖山」の栽培地



2019 西神戸・東播磨田園 秋の風物詩 2019.9.25.

毎年彼岸花が咲き出すと原チャリ出かける私の秋迎え

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/walk16/1910earlyautumn00.htm>

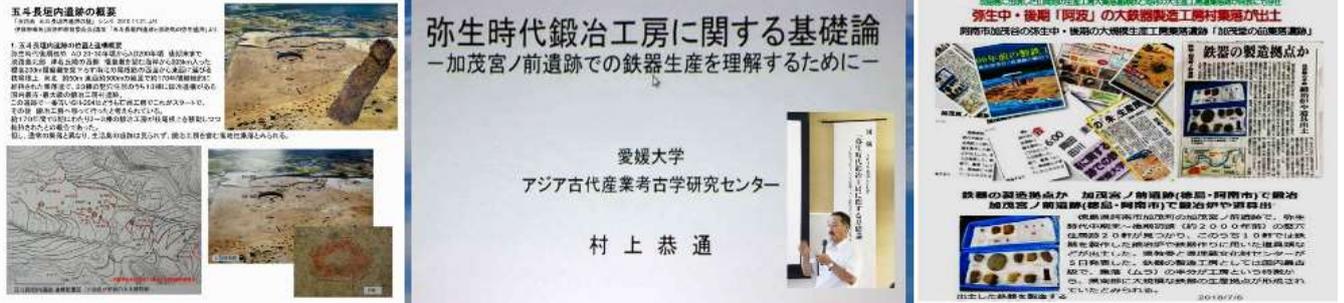


2. 夏から初秋へ 入道雲から秋雲へ

毎日のwalk の中で眺めた 雲の移り行く姿を周りの景色と共にデジカメに



3. 今月掲載した和鉄の道・Iron Road より



愛媛大学村上恭通教授 講演要旨紹介 by Mutsu Nakanishi 2019.9.20.

「弥生時代の鍛冶工房に関する基礎論 加茂宮ノ前遺跡の鍛冶工房を理解するために

弥生時代後期・終末期に淡路島や阿波で出土した鍛冶工房は「卑弥呼の時代・初期大和王権の国造りにつながる鍛冶工房」と言えるのか？ 私の頭にいつももよもやしていた疑問の整理がきちりできて、私には本当にうれしい村上先生の講演。

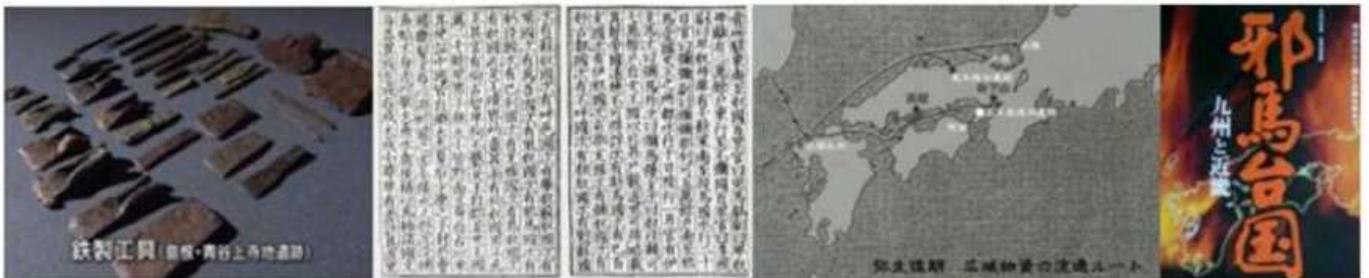
弥生時代から古墳時代 卑弥呼の土台の国造りや畿内の状況を理解する貴重な講演。

みなさまにもお知らせしたくて要旨の紹介です

by Mutsu Nakanishi

卑弥呼の時代につながると新聞報道等がセンセーショナルに伝える弥生の大鍛冶工房 弥生時代後期・終末期に淡路島や阿波で出土した大鍛冶工房集落

「卑弥呼の時代・初期大和王権の国造りにつながる鍛冶工房」と言えるのだろうか？



弥生時代の後期 淡路島の北部津名丘陵で出土した日本最古最大級の鍛冶工房村五斗長垣内遺跡。

国生み神話の島 淡路島の役割と共に日本の国造りに大きな影響を与えた遺跡への期待が高まり、当時センセーショナルに伝えられ、淡路島津名丘陵周辺の弥生時代後期から古墳時代にかけての発掘調査への期待が高まった。

また、その後の調査でこの津名丘陵では弥生時代後期から末期にかけて、舟木遺跡を中心とした生産工房を有する山間地集落群が出土し、海岸部にいた海人集団とした密接につながった交易の生産拠点であったことが分かってきた。

特に五斗長垣内遺跡や舟木遺跡には鍛冶工房があり、当時卑弥呼の時代から初期大和王権の時代に大和と結んで、朝鮮半島の鉄素材の覇権を確立してゆく、大きな役割への期待が高まっている。

しかし、大きく騒がれる論調にはどうも無理があり、頭にまだ納得できぬ疑問符が付きまとう。

当時国内では製鉄技術がなく、鉄素材の供給を朝鮮半島の鉄に頼る一方、大和を中心とした日本の国造りには鉄素材の確保が欠かせない時代である。武器・武具そして国土改良-農耕拡大の道具・工具等々の材料。やがて来る大勢力の威信を示す大古墳の造営等々。石器から鉄器工具の移行ばかりでなく、革新的な大型鉄器の需要も欠かせない。

でも 国内最古最大の鍛冶工房と言われながらも、国造りにつながる大型鉄器も大型鉄器制作にかかわる鉄素材を高温に加熱し、高温鍛造できる明確な証拠となる鍛冶炉が出てこない。

確実な証拠論議のないままに、マスコミに踊らせてはいないか……と。

でも、これらの弥生時代の鍛冶工房の出現が日本での製鉄-たたら製鉄へとつながる日本製鉄記述の源流にあることは違いない。大陸-朝鮮半島からの製鉄技術を解く上で 見間違えないよう検討することが重要と考えています。

村上教授の講演は 考古学者の視点できちり整理し、上記した疑問や日本の国造りを解く共通基盤のレビュー。

何を今さらという向きもあるでしょうが、多くの人が古代史に興味をも立っておられる今、「憶測とええとこどりの議論？」を排しての**弥生時代の鍛冶工房に関する**本当にわかりやすいレビュー。

また、卑弥呼の時代をきちりとした証拠を土台にとく考える基礎論 ご参考になれば……

by Mutsu Nakanishi



弥生時代の鍛冶工房を理解するためには、鉄器生産を証明する証拠である考古学資料「遺物と遺構」をきっちり確認整理して、検討せねばならない。具体的に注視せねばならぬ遺物・遺構を示し、それぞれについて検討すべきポイントを明確にし、出土した遺跡の特徴を理解する。そしてそれら出土した遺物・遺構で欠けている点も明確にし、それらをもとに遺跡の全体像を明確にする。

弥生の鍛冶遺跡の遺構のそれぞれの大きさ・形・分布等々とその中から出土した遺物の分布・量などから、出土した鍛冶工房の作業風景・工人の数・工人の技術・専門性なども見え、その遺跡の位置づけも浮かびあがってくる。弥生後期の鍛冶工房について上記の視点で整理すると2つのタイプの鍛冶工房群の姿が見えてくる。

1. 大陸に近い九州北部には高度な鍛冶技術を有する専門鍛冶工房群
2. 日本各地には石器製作工房の延長線上にあり、技術は稚拙であるが、その地域に必要な道具を石器と鉄器でうまく作りこなす地域を支える鍛冶工房群工房

この視点でさらに遺跡調査が進めば、徳島や淡路島に出土した弥生時代最古最大級の鍛冶工房の実像も浮かび上がってくるだろう。

2019.6月村上教授講演動画・講演レジメより整理掲載 by Mutsu Nakanishi

愛媛大学 村上恭道教授 講演

「弥生時代の鍛冶工房に関する基礎論」

加茂宮ノ前遺跡の鍛冶工房を理解するために
2019.6.30. 徳島埋蔵文化センター主催で加茂宮ノ前発掘調査報告会
講演要旨まとめ by Mutsu Nakanishi
インターネット講演動画・講演レジメより

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/iron15/1909murakamikouen00.htm>



異常気象の中で 自然や交通災害が猛威を振るっています
体調維持とともに災害にも感度をあげて ご留意ください

老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代
 仲間の笑顔を活力に!! スクラム組んで 今を元気に!!

2019 Early Autumn from Kobe Mutsu Nakanishi



1. 【和鉄の道・Iron Road】 【資料】

【弥生の鍛冶工房 村上教授講演録 紹介 by Mutsu Nakanishi 2019.9.20.】

◎ 村上教授講演録「弥生時代の鍛冶工房に関する基礎論 -加茂宮ノ前遺跡の鍛冶工房を理解するために-」
<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/iron15/1909murakamikouen00.htm>

2. 【風来坊・aCountry Walk】 【資料】

◎ 2019夏の記録

令和になって初めての夏 孫たちとの夏の記録が主ですが、今回四季時にようまとめませんでした。いろいろあった2019夏の記録を取っておきたくて構築中です

3. 【風来坊・Country Walk】 【スライド動画】 【Photo Album】

◎ 2019 西神戸・東播磨田園 初秋の風物詩を訪ねる 2019.9.25.
 毎年 彼岸花が咲きだすと原チャリを走らす 東播磨加古川添いに広がる田園地帯

- ◇ 西神戸 神出・伊川谷の里 実りの秋を迎え 一面黄金色の田園
- ◇ 小野アルプス南山麓の田園 志方・福匂峠 棚田の秋
- ◇ 小野アルプス北山麓の田園 小野市きすみ野 一面真っ白の蕎麦の花
- ◇ 東播磨 妙見山麓に広がる田園 多可町間子の里の彼岸花
- ◇ 東播磨 加東市木梨の里 剣菱が守り育てる酒米「愛山」の栽培地

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/walk16/1910earlvautumn00.htm>

4. 【From Kobe : 10月初秋の便り】

◎ 10月初秋の便り Happy Autumn From Kobe

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1910.pdf>

● 収録 新聞記事

朝日新聞 2019. 9.27.朝刊 天声人語・オビニオン&フォーラムより

大きなパラダイムシフトが進行する国際情勢の中で、国民に何も説明せず、みくだす横暴な仲間政治 理念も目標も失いまだに高度成長期の流れにしがみつくと日本 これではよいのだろうか…

なぜ、日本では新しい雇用・ビジネスを生みだす先進事業・企業が生まれない。
<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1910asahi.pdf>

◎ 更新後記

10月 初秋とはいいながら、まだまだ暑いのですが、朝晩はさわやかな風が吹き、遅れていた彼岸花も黄金色の畦を飾り、やつと里の秋実りの秋到来を彩っています。

9月になっても酷暑が続き、台風、集中豪雨の自然災害に加え、加え、交通災害も目白押し。

被災された傷跡が今も残ると聞きます。一日も早く、普通の生活に戻られますよう応援しています。

特別の情報有りませんが、8月の前更新時に約束した「弥生時代の鍛冶工房村」をどう捉えるべきか？

製鉄遺跡研究の第一人者村上恭通愛媛大学教授が徳島で講演された概要のとりまとめ掲載

ただ製鉄の源流の弥生の鍛冶遺跡の視点がはっきり出来たとうれしいとりまとめでした。

あとは例年の私の例年の秋迎え。彼岸花が咲き出した9月25日 東は播磨の田園を今年も原チャリで駆けました。

また、東播磨の里山の北傾斜地では真っ白に染める蕎麦の花 花言葉は「なつかしい想いで」だと。

この夏逝った仲間を思い浮かべつつのPhotoでした。

世の中も自分勝手な変な事件が続き、政治も傲慢な自己中心の上から目線のお仲間政治。格差がますます大きくなり、雇用不安も募る中 消費税も10%。 眼のつけどころがちがうやろ……と令和の先行き不安が募る。

もう拾い上げるのも嫌になる日本の状況

なんとか 明るい先が見えるうれしい秋になってほしいなあ……と

10月 初秋 Happy Autumnnm と願いを込めて。

そんな矢先、今度は関電がまるで時代劇か……やくざ映画の世界 みんなの目にさらされても言い逃れ強弁が続く。国を動かすリーダーの片鱗も見えず。パラダイムシフトが猛スピードに進む国際情勢にこんなことやっている間がないのに… 政治も経済も老害日本 また いつもの日本流 幕引きか…

でもぬるま湯に目標を失った若者達はいまが一番いいという。
 まったくわけのわからん時代に。取り残されるな 日本!! 目覚めよ若者たち!!
 現政権が目のかたきにする朝日新聞が語気鋭く指摘するが、世は動かず。
 でも 愚痴は言うまい 若者に期待しつつ 隅っこでなんとか・・・

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1910asahi.pdf>

老い行く先のことが気にかかりだしましたが、
 みんなに助けをもらいながらも、
 相変わらずの風来坊 孫パカもやっています。

今年の夏のトピックスは伊丹にいる中学生の孫が
 ソフトテニスで、近畿大会に出場したこと
 うれしい試合の追っかけやりました。

どうか体調変化に気を配り、Happy AutumnになりますようGod Be
 With You!! お互い元気に前向いて

2019. 10. 1. Happy Autumn from Kobe
 Mutsu Nakanishi



今の世相や我が身を振り返りつつ

平和について 振り返る

🌈 困難の中に居られる方々にエールを!!

🌈 平和を願って 決意も新たに!!

日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと
 いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないで 仲間がいる
 暖かい希望の輪がつながっていることを」



へいわってなにか。ぼくは、かながえたよ。
 ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎののんびり
 がある。ちょうめいそうがたたくはえ、
 よなくにうまが、ヒビーンとなく。
 みんなのころから、へいわがうまれるんだね。
 これからも、ずっとへいわがつづくように、
 ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

神共に居まして
 得られるものを変える「勇氣」
 変えられないものを
 受け容れる「心の静けさ」
 両者を見分ける「叡智」を
 ニーバーの祈りより、
 God be With you !!



- ◆ 安里有土君の詩 (20136.23発表当時小学1年生)
「へいわって すてきだね」
- ◆ PDF Photo「原爆資料館 & オバマさんの折り鶴」
- ◆ 原爆資料館 映像展示資料 原爆を投下された広島

🌈 一万年も平和な生活が続いた日本の縄文をユネスコ世界遺産に
 家族・仲間思いを寄せつつ平和の願いもまたひとしお
 平和で穏やかな暮らしが ひろく行き渡るよう

日本人の心の故郷「縄文」を世界の人たちに知ってもらいたい
 一万年も平和で豊かな生活が続いた時代
 世界に類のない日本の「縄文」そのエンジンは「他人を思いやる心」

北東北・北海道の縄文遺跡を、ユネスコ世界遺産に

◆ 日本人の心の故郷 縄文 ◆ 刊行「縄文遺跡の歩み」◆

一万年も平和で豊かな生活が続いた世界に類のない日本の「縄文」社会
 そのエンジンは「他人を思いやる心」だった。
 北東北・北海道の縄文遺跡を、ユネスコ世界遺産に

「北海道・北東北の縄文遺跡群」が
 2020年登録を目指すユネスコ世界遺産
 候補に選ばれました。

残念ながら2020年登録推薦から外れましたが、しっかり応援したい

🌈 参考 ジョージ・カーリンの名言
 「老いを楽しく生きるために」

【いつまでも若く生きる】 by ジョージ・カーリン

1. 年齢、性別、職業など、すべては人間的な力に比べてほんの少しの力に過ぎない。
2. 老いは、年齢を押しつけてくるものから、
3. 老いは、年齢を押しつけてくるものから、
4. 老いは、年齢を押しつけてくるものから、
5. 老いは、年齢を押しつけてくるものから、
6. 老いは、年齢を押しつけてくるものから、
7. 老いは、年齢を押しつけてくるものから、

そして最後に、老いは、年齢を押しつけてくるものから、

「ストレスをためずに100まで」と。
 なかなかむづかしい時代。
 それだけに心に響く。
 また、仲間・家族がいるのはありがたい。
 こちらも 同じだけ 意識せねばと・・・

今できることを精一杯 無理せずゆっくりと
 「まあええか 元気だして行こう」と励まして 心は行ったり来たりですが、好奇心さえあれば・・・
 God BE With You !! 今を前向いて

2019年 11月 from Kobe 2019.11.5.

11月 Happy Autumn[2] 秋桜 2019 秋まつ盛りに



11月 Happy Autumn[2]
秋桜 2019 秋まつ盛りに

11月 秋だより

2019.11.5.

1. ラグビーワールドカップの試合にかじりついて
2. 深まり行く秋の風物詩 2019 秋桜
3. かつて関西で盛んだった綿花の栽培
加古川市の志方の郷で綿花畑を初めて見かけました
4. 散策で見つけた須磨の秋景色
5. 今月掲載した和鉄の道・Iron Road より
6. Happy Autumn [2] 秋桜 11月掲載リスト 2019. 10. 1.



2019秋桜 東播磨 加古川市志方 広尾の里で
城山を背に広がるコスモス畑で 2019. 10. 23.



2019秋桜 東播磨 加古川市志方 広尾の里で
城山を背に広がるコスモス畑で 2019. 10. 23.



2019 秋桜
加古川市志方 広尾の里で 2019. 10. 23.



2019秋桜 コスモス畑多数の美しい花と共に送る秋が長く
東播磨 加古川市志方 高畑の里で 2019. 10. 23.

高齢になって いろんな課題が山積ですが、どうか無理せず、

お互い 声かけあって 身を守るとともに、

助けも得て 今を元気に前向いて Happy Autumn に

また、もう 想定外などと言っておられぬ地球環境変化

秋になっても 度重なる大型台風など 長野・関東ほか日本列島各地に大きな災害

被災された皆様が一日も早く立ち直られますよう

異常気象進行の中 自然や交通など災害が猛威を振るっています

体調維持とともに災害予知にも感度をあげた行動をご留意ください

老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代

仲間の笑顔を活力に!! スクラム組んで 今を元気に!!.

2019. 11. 5. From Kobe Mutsu Nakanishi.

何時まで想定外で済ましてしまうのか……

みんな安倍さんの真似をして「責任として 受け止めねばならぬ」と他人事のように言い捨て、幕は引けたとただ通り過ぎるのを待つ。「責任として受け止めたなら、対策と行動を見せてよ」と思うのですが、「受け止めることが責任行動」と辻褃のあわない音なしの構え。

そろそろトランプも安倍さんもみんな そんな常套句の化けの皮がはがれだした。

そんな世相の中 世界は今 「行き過ぎた効率化・選択と集中と大量過剰生産の今のマニュアル社会は人々を幸福にはしない」と気づき始め、貧困と増大する格差からの脱出へ向け、かじが切られ始めた。

正解はまだ見えないが、各分野での具体的な「対策・行動」の志向が進んでいる。日本はどうだろうか????

都合の良いメディアを使った自分を抜きにした「評論・解説・How To マニュアル」等々の氾濫。出る杭は打たれるとばかりの手前勝手。さあ 日本はどこへ行くのか… 気になる秋 取り残されるな 日本!!

でも 愚痴は言うまい 若者に期待しつつ 隅っこでなんとか……

久しぶりに杯を重ねて 仲間と語り合うのも楽し 海・山・里戸外に飛び出すもよし

またひとり想いに更けるもよし いろいろありますが、秋深し 気分も新た

自分の身勝手をちょぴり反省しつつ、眼をを大きく Happy Autumnに 今を元気に!!

最近 老化や体調不調などの療養・リハビリに頑張っている 仲間の近況を聞くことが多くなりました。

仲間がいる!! 仲間の笑顔はみんなの応援歌!!

厳しい日々と察しつつ、一日も早い回復を祈っています。

God Be With You!!

老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代 仲間の笑顔を活力に!!

スクラム組んで 今を元気に!!..

異常気象進行の中 自然や交通など災害が猛威を振るっています

体調維持とともに災害予知にも感度をあげた行動をご留意ください

2019.11.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

1. ラグビーワールドカップの試合にかじりついて

肉弾戦などとは軽くて言えぬ迫力すごさに圧倒されて 11月秋本番のトップはこれしかなし



ラグビーワールドカップの試合に熱狂したこの秋。

キップが取れず、スタンド観戦はできませんでしたが、仲間が送ってくれた各試合のスケジュール一覧を食卓に張り付けて、毎朝一番に記事と放送時間を確かめての週末 約2ヶ月弱その迫力に興奮しました。

日本の強さも”ほんまもん” 誰も予想だにできなかった快進撃に 解説者の空虚なコメントなどいらぬと。

スクラムで対抗できるなんて、夢のまた夢 こんな日が来るなんて……

こんな道をきりひらいたチーム あきれるほどすごい。

この秋一番の元気 ありがとう。

漏れ聞く練習のすごさに、ついてゆけぬ選手が次々と脱落。スクラムの組み方はもとより各人の足の位置角度までこだわった各人の組み立て。まさに精密機械のような緻密な集合体に管制し、力を発揮したという。

さぞや それぞれが苦しい限界挑戦の練習撞けの毎日だったろう。 .

”One For All All For One” がまさに組上がった日本のスクラム。誰が替わってもそれが揺るがない。

目標と希望がある限り やっぱりへこたれたら あかんのや……と

希望と元気のメッセージ ありがとう。

日本の陸上 400m リレーの選手たちのバトントストスの練習もまさにこれだと。

一方、決勝戦のイングランド-南ア戦 試合開始早々にイングランドのフォワードの選手が負傷交代となり、それが原因かどうか不明ではあるが、スクラムの統一が取れず、結果的にはスクラムでイングランドがことごとく押し負けた。気の毒ではあったが、ストレートに”One For All All For One” の厳しさを見せてくれたと思う。 .

”負けるな 負けるな”と声援を送り続けたが、本当に悔しかったろう。

ひるまず最後までスクラムで対抗したのは立派だった。次は絶対に立て直してくるだろう。

また、日本のほころびのないスクラムの強さの秘密もここからも読み取れる。

毎回 すこいな すこいとその迫力のすごさをみた試合。

まさに日本ではなかなか見られぬフォワード戦のすごさだった。

南アは優勝したが、ニュージーランドのフォワード・バックス一体のスピードある揺さ振りに敗れ、

ニュージーランドはイングランドのフォワード・バックスの速い出足に寸断され、攻撃が組み立てられず敗れた。

日本・アイルランド・オーストラリアそれぞれにも長・短所がはいみえた。

ど素人のTV 観戦記で あてにはなりませんが・・・・・・・・・・・・・・・・

これからそれぞれがどんなふうに成長してゆくのが楽しみ。

日本でもこれから TOP リーグが開幕する。日本のチームがどこまで掘り下げて成長するかみられるのもまた楽しみ。

ワールド カップを観戦して、私の見方も随分変わったかもしれず。 楽しみがまた一つ増えました。 .

追伸

このワールドカップの期間中 ”One For All All For One” や ”No Side” の言葉が新聞報道放送の中でも数多く聞かれた。またぞろ「お・も・て・な・し」かと・・・・・・・・

中身を理解せず、身勝手な言葉だけがひとり歩きする日本の社会風潮。

理解と実践の伴わぬ言葉遊びは 百害あって一利なし。感わされぬよう。

国際化の厳しい革新の時代 いま 日本で一番遅れているのが これかもしれません。



2. 深まり行く秋の風物詩 2019 秋桜

- ◆ 今年も東播磨 加古川市志方の郷のコスモスを訪ねました
地球環境の変化 気象異変がコスモス畑にも



【スライド動画】.2019 秋桜 東播磨 加古川市志方の郷で 2019.10.23.

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/walk16/1911cosmos00.htm>

3. かつて関西で盛んだった綿花の栽培 綿花畑をはじめて 加古川市の志方の郷で見かけました 子供の頃 尼崎や阪神間では綿花の栽培が盛んだったと習った記憶がある



東播磨志方ののコスモス畑のそばに 綿花畑があるのを見つけました。
まだすこし黄色い花が残り、幾条もの畝に栽培されている綿の木に白い綿の実がいくつもついている。綿の木は何度か見たことがありますが、畑として栽培されているのをみるのは初めて。

「かつては関西大阪平野でも綿花栽培が盛んで、明治になって私の故郷尼崎に近代化的な紡績工場後のユニチカ・尼崎紡績が設立され、工業都市尼崎発展の基礎となった」と習った記憶があり、昔尼崎の田園にもこんな綿畑が広がっていたのだと。播州もまた栽培が盛んだった地で、播州



織・播州布など織物の地場産業が興ったと聞く。

それでこの加古川市志方で 加古川 Cotton の栽培を復活し、 志方特産の靴下にする project だという。
須磨寺の弘法市で買う播州織の靴下が気に入っていることもあって、成功してほしいなあ……。と。
今ではほとんど見ぬ綿花畑に幼い頃聞いた話を思い出しました。



インターネットをチェックすると

「尼崎では、江戸時代に入って尼崎藩による新田開発により農地が広がり、品作物の生産が活発化した時期に綿花栽培が進んだ。当時、稲よりも綿花の方が高値で取引されたという。18世紀初めには猪名川や藻川の流域、武庫川下流の新田地帯の3-4割で綿花の栽培が行われ、上質な綿花として重宝された」と記述されていました。

明治の尼崎歴史に登場するユニチカの前身尼崎紡績のことがふと頭をよぎって、東播磨志方の綿花畑とともに尼崎の綿花のことご紹介。

4. 散策で見つけた須磨の秋景色。

◆ 秋の夕暮れはつるべ落とし 落日 里の夕景を狙いました



5. 今月掲載した和鉄の道・Iron Road より

【古代の鍛冶伝承】 旧東海道 京都三条通 粟田口に鍛冶伝承の痕跡を訪ねる 2019. 10. 9.

謡曲「小鍛冶」に謡われるの鍛冶伝承地 京口「粟田口」



南禅寺のすぐ南 旧東海道 東山越の蹴上から京町への坂道の三条通沿いの京口「粟田口」
 旧東海道の京口として、また古代から数多くの刀鍛冶などが住まいする鍛冶町として繁栄してきた町並。
 謡曲「小鍛冶」に謡われる刀匠三条宗近の鍛冶伝承
 「名刀匠三条宗近が信仰する稻荷明神の化身子狐(童子)を相槌にして、名刀「小狐丸」を鍛え上げた」という舞台である。
 一方、東山の東側山科山科にも同じ伝承が残り、また稻荷信仰にまつわる伝承も数多く残っている。

稻荷信仰と鍛冶信仰とが合体して生まれた伝承と言われるこの「小鍛冶」伝承、
 この東山越山麓は古代の鉄の資源帯であり、一番南の稻荷山を含めて、
 今風に言えば、パワースポット・不思議のワンダーランド。
 粟田口も山科もそのエリアのなかにあり、単に近いただけではない関係がありそうに見える。

また、鍛冶神といえは、出雲系が多いのですが、粟田口の刀鍛冶はなぜ稻荷明神を信仰するのだろうか??
 ちなみに粟田口の鎮守・氏神は祇園八坂神社と密接な関係を有する粟田神社でご祭神は出雲の出雲系。

今も粟田口の街中周辺にはこの「小鍛冶」伝承の痕跡がいくつか残っていると聞いて
 この東山越「粟田口」に古代の鍛冶伝承の痕跡を訪ねました。

私見ですが、今までばらばらに知っていた東山山麓・稻荷山周辺の鍛冶関係の情報が
 相互に結びついていると感じたのも大きな収穫でした。

長く知る界限ですが、知っているようで知らなかった若王子山そして京口「粟田口」。

【Photo Album】 【古代の鍛冶伝承】 【スライド動画】
 旧東海道 京都三条通 粟田口に鍛冶伝承の痕跡を訪ねる 2019. 10. 9.





1. 【和鉄の道・Iron Road】

【Photo Album】 【古代の鍛冶伝承】 【スライド動画】

◎ **旧東海道 京都三条通 粟田口に鍛冶伝承の痕跡を訪ねる** 2019. 10. 9.

鹿ヶ谷から東山の山裾巡り 若王子山上の新島襄の墓・駒ヶ滝の行場から南禅寺へ
南禅寺から謡曲「小鍛冶」に謡われるの鍛冶伝承地 京口「粟田口」へ

- ◎ 鹿ヶ谷 泉屋考古館の特別展見学とゆったりと時が流れる東山道楽
- ◎ 若王子山上にある同志社創立者新島襄の墓所から南禅寺へ下る
- ◎ 謡曲「小鍛冶」に謡われる鍛冶伝承地 京都七口の一つ粟田口

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/iron15/1911awataxuchi00.htm>

2. 【風来坊・aCountry Walk】

【Photo Album】 【スライド動画】

◎ **2019秋桜 東播磨 加古川市志方の郷で** 2019.10.23.

Happy Autumn 秋まっ盛りに

今年も田園をピンクの絨毯に埋め尽くすコスモスに出会えました

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/walk16/1911cosmos00.htm>

3. 【From Kobe : 11月 秋便り】

◎ **11月秋便り Happy Autumn 【2】 From Kobe**

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1911.pdf>

● **収録** この秋に思うこと 色々 この秋 何度か耳にした情報



参考 ジョージ・カーリンの名言「老いを楽しく生きるために」

《いつまでも若くいるコツ》 by ジョージ・カーリン

1. 年齢、体重、身長など、どうでもいい数字は気にしないこと こんな事は医者任せましょう。そのために医療費を払っているのですから。
2. 元気な友達とだけ付き合うこと 愚痴しか言わない人といると、こちらの気持ちも暗くなります。
3. 生涯学習あるのみ コンピュータ、工芸、ガーデニング、ハマ無線、なんでもよいので学ぶ姿勢を持ちましょう。脳を怠けさせない事。怠けた心には、衰えという悪が宿ります。
4. 単純な事を楽しみましょう
5. 沢山、長く、大きな声で、お腹が痛くなるくらい笑いましょう
6. 悲しみ、耐えて、そしてまた進む 涙も出るでしょう。しかし一生付き合い合ってくれるのは、自分自身です。命ある限り、自分の人生を歩みましょう。
7. 好きなものに囲まれて暮らしましょう 家族、ペット、思い出の品、音楽、植物、趣味、何でもよいですから好きなものに囲まれて暮らしましょう。家は自分の居心地の良い場所なのですから。
8. 体を大切に！ 今健康ならそれを維持し、悪いなら、改善に努めそれが無理なら、助けを求めましょう。
9. 後悔しないこと ショッピング、隣町、外国、とにかく後悔する気持ちを忘れさせてくれる場所に出かけましょう。
10. どんな時でも、大切な人に「愛している」と伝えましょう

そして忘れてはいけない事 人生とは、自分が息を吸う数ではなく息を吐く瞬間で測定するものです。充実した毎日を生きましょう!

「ストレスをためずに100まで」と。なかなかむづかしい時代。それだけに心に響く。また、仲間・家族がいるのはありがたい。こちらも 同じだけ 意識せねばと・・・

■ 要約「老いを楽しく生きるために」

■ 動画 (WMV 動画に変換)

“[Philosophy For Old Age.pps](#)”.

■ [紹介日本語訳全文](#)

◎ 更新後記

あれもこれもと思いつつも、何も手がつかずのままですが、何とか11月深まり行く秋のページに更新。
なにもかも忘れて ラグビーワールドカップに熱中した秋です。でも もうおしまい。
ふと気が付くと周りの街路樹も色好き、秋真盛り。この秋は暢気に構えてはいたらぬ時なんだとハッとした。

秋が深まっていく中で、次々と大型台風が襲いたるところで経験したことのない大雨。
関東・長野を中心に大災害。我々にも責任があるのでは・・・との想の中、
持って行き場のない怒りとともにむなしさがわいてくる。
一日も早く復興の道がひられますよう。

一方 消費税が上がり、一向に景気は回復せず、貧困と格差野広がりかが一般の人々にも目に見えてきた。
世相は相変わらず迷走。身勝手なおおよそ理解できぬ変なことが いたるところで起き始め、
社会のほころびが誰の目にも見えだした。
出口が見つからない中で日本の迷走が続く。日本はどこへ向かうのか・・・・・・・・

高齢者にとって「自分の身は自分で守る」とはもう身に余る
せめて 感度と準備だけは怠りなく ぼんやりしてるわけにいかんなあと。

11月の更新記事 特に目新しいことはありませんが、気が付いたことは 下記の通り。
和鉄の道・Iron roadに京都粟田口に残る有名な謡曲「小鍛冶」粟田口の刀匠三條宗近が稻荷明神の化身を相槌に
名刀「子狐丸」を鍛えたとの伝承の痕跡を東山越え 京口粟田口を訪ねました。
稻荷山の鉄を含む赤土が轡を築く刀工達の必需品との記述を知って、陶工たちの稻荷信仰の謎が解けました。

また、2019コスモス 今年も加古川市志方のコスモス畑を訪ねることが出来ました。
また、この秋の里景色もそうですが、地球温暖化の影響が季節感ばかりでなく、漏れ間く夏の田園の手
入れの過酷さや雑草の多さ そして泡立ち草の大繁殖等々コスモス畑の維持管理が年々難しくなっていると。
定点で毎年おとずれるといろんなことが見えてきます。

和鉄の道 今一番気になっているのは たたら製鉄の原料「砂鉄」の技術は海を渡って日本に伝えられたのか？
日本で編み出された技術なのか？
半面砂鉄の堆積地は概ね河口近くの砂浜、急流が流れ下る日本ゆえ、大量の浜砂鉄が堆積すると
この砂鉄問題が見えてくれば、西アジアから日本への製鉄技術東遷の道がもっとクリアーになる。
地図を見ては色々思い浮かべる和鉄の道です。

でも何とはなしに人恋しい秋 仲間と語りたい。
仲間と出会えるのを楽しみにしています。

**老齢の身には厳しい激動の時代 お互い笑顔で 日々新た 今できることを精一杯 無理せずゆっくりと
「まあええか 元気だして行こう」と励まして 心は行ったり来たりですが、好奇心さえあれば・・・**

最近 老化や体調不調などの療養・リハビリに頑張っている仲間の近況を聞くことが多くなりました。
厳しい日々と察しつつ、一日も早い回復を祈っています。
仲間がいる!! 仲間の笑顔はみんなの応援歌!!

老化・病気・介護などの困難にみんながむきあう 新時代
仲間の笑顔を活気に!! スクラム組んで 元気に今を!!

心もあらた 新しい時代を前向いて

老い行く先のことが気にかかりだしましたが、
みんなに助けをもらいながらも、
相変わらずの風来坊 孫バカもやっています。

どうか体調変化に気を配り、
Happy Autumnになりますよう

お互い元気に前向いて
God Be With You!!

2019. 11. 5. Happy Autumn from Kobe
Mutsu Nakanishi



🌈 困難の中に居られる方々にエールを!!

日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと
いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないうで 仲間がいる

暖かい希望の輪がつながっていることを」

神共に居まして
得られるものを 変える「勇気」
変えられないものを
受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニーパーの祈り より
God be With you !!



2019年 12月 2019師走 from Kobe 2019.12.15.

神戸では ルミナリエ・まばゆい希望の灯も ともり、
今年一年 いろんな思いが駆け巡る師走



12月 2019年師走の便り	
1. Merry Christmas!!	クリスマス おめでとう
2. 神戸ルミナリエ2019	まばゆい希望の灯がとりました
3. 秋の終わり 横尾山の丘を真っ白に飾る兵庫県花「野路菊」	今年も先に逝った仲間をゆっくり偲ぶ秋送り
4. 師走のニュースから	日本の現状に不安がよぎる
5. 最近の新聞TVより	もう20年早ければなあ… google翻訳が スマホ双方向自動音声翻訳に
6. 今月の掲載記事 トピックス Photo 展覧	
○ 今月のhome page 更新記事	
○ 編集後記 2019年 最後の更新を振り返って	

Merry Christmas!! クリスマス おめでとう

地球温暖化による異常気象・自然災害が猛威を奮った年のクリスマス
みんながみんな命の危険を感じ、被災された皆様に思いを馳せています
Lovely 笑顔に明日への思いを込めて

Merry Christmas!
2019

God be with You!!
From Kobe Mutsu Nakanishi

Kikuko 作

クリスマス おめでとう

沢山の笑い声と暖かい友情
そして、愛を運んで来てくれますように。
それがずっと続きますように

神戸では ルミナリエの灯がとりました
ルミナリエの先の環に平和な暮らしを託して



2019年12月 クリスマスの飾りつけの中 神戸三宮の街も 華やいだ雰囲気 2019.12.10.

1. Merry Christmas!! クリスマス おめでとう Christmas Card 送ります



2. 神戸ルミナリエ 2019 まばゆい希望の灯がともりました



3.兵庫県花「のじぎく」2019 秋の終わり 横尾山の丘を真っ白に飾る兵庫県花「野路菊」

毎日の散策路 須磨アルプス横尾道の丘に、待ち兼ねた兵庫の県花「野路菊」の花が丘一面を真っ白に

今年 逝った仲間をゆっくり偲ぶ 秋送りをしました 2019.11.18.&11.26



晩秋 12月 紅葉した須磨 妙法寺・名谷界限



横尾山腹を真っ白に染める兵庫県花「のじぎく」2019.11.18.&11.26.



横尾山腹を真っ白に染める兵庫県花「のじぎく」2019.11.18.&11.26.

今年の秋 街の紅葉も真っ赤に色づいて 例年になく素晴らしい秋景色。

11月の後半毎日の散策路 須磨アルプス横尾道の丘に、待ち兼ねた兵庫の県花「野路菊」の花が丘一面を真っ白に。一本の茎から四方に手を伸ばして沢山の白い小さな花をつけ、一斉に南の須磨の海に顔を向けて斜面一面を真っ白にする。花一つ一つは 見過ごしてしまいそうな清楚で地味な白い小菊ですが、牧野富太郎が故郷の路傍で発見した日本固有の純粋種。兵庫県六甲山系が自生地の東限で 東日本では見られぬ花。

兵庫ではかつてごく普通にみられるもあって、兵庫県民みんなが愛し親しむ花として兵庫県花となった。

のじぎく国体・のじぎく賞などと色々名前に冠され、庭先や道端に植えて、楽しんでいる人も多い。



兵庫県花「のじぎく」 花言葉は「ありのままの姿・貞実」 横尾道 野路菊の丘で

この花が咲き出すと丘にたたずみ、須磨の景色を眺めながら先に逝ってしまった仲間や一年の想いにふける私の秋送り。今年は本当に親しい仲間が何人も先に逝ってしまってひとしお。

学時代から今の神戸の生活まで、いつも一緒だった鉄鋼マンの仲間

世界をいつも一緒に走り回った会社の仲間・山仲間の先輩そして会社の上司も

みんな老化・病魔と闘いながらも 元気にエールを送ってくれた仲間でした。

God be with You!! 旅行く仲間を思い浮かべつつ一時間、惜別の歌を口ずさんでの見送り。

元気で動ける今を感謝しつつ、今も想いは同じ 共に歩むと前向いて



2019年11月 横尾道 横尾山山腹 野路菊の丘で2019秋送り Mutsu Nakanishi

4. 師走のニュースから 日本の現状に不安がよぎる

OECD が3行う世界各国の15歳を対象とした学力総合調査。日本の読解力が大幅に低下したと伝えている

2019.12.4. 朝日新聞が伝えるOECDの15歳学力調査結果と天声人語の記事

この一年「ぶつぶつ」振り返ってみると同じ言葉ばかりでした。

インターネットやニュースでは、今が一番と社会への満足を謳歌する言葉・番組があふれるが、

でも、何とはなしに息苦しく閉塞・不安が漂う社会。なにか自分には合わない。ついていけなあ……と

そんな師走 OECD が3年ごとに行う世界各国の15歳を対象とした学力総合調査結果が発表された。



(読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシーの3分野)で、高い学力を維持しているものの、日本の読解力が大幅に低下したと伝えている。日本の現在の社会に与える強烈なアッパーカットである。

教育の問題・子供の問題と過少評価する向きもあろうが、この問題 今の日本の現実 先行き不安の警鐘と捉えるべきと思う。世相も政治も経済も 全く知恵のない薄っぺらな日本の情報社会の現実。そして、情報過多そのものに酔う。

日本が一人 国際社会から取り残されてゆく深刻な姿が映されている。でも 日本社会はそれに気が付かない。

この師走 おかしなことが次々報じられているが、その病根がこれだと映るのですが……

このOECDの読解力の設問 我々でもすぐに取り組めるだろうか… 難題です

次の頁に OECD 調査 読解力の設問 解説を含め2019.12.4. 東京新聞の記事を示します

◎ OECD 調査 読解力の設問 解説を含め 2019.12.4. 東京新聞の記事

「ラパヌイ島」と題する設問

ラパヌイ島（イースター島）で調査をしている教授は
ブログで、モアイ像が作られた当時にはあった大木が現在は生えていないことに疑問を示す。

添付 1. 木の乱伐が原因とするジャレド・ダイヤモンド氏の著書「文明崩壊」の書評、

添付 2. ネズミが種を食べたためとする科学者の反論を紹介する記事

これら三つの文章を読み、大木が消滅した理由を根拠を挙げて説明せよと。

また、すぐ頭に浮かんだのは 今話題の 16 歳の環境活動家グレタ・トゥンベリさん(スウェーデン)の
国連 (UN) COP25 での厳しい演説や 世界での活動にみる堂々とした姿。

日本ではこんな活動できる少女現れるだろうか。。。。。

また、平等意識の高いアメリカでは今 “She” でもなく “He” でもない、性別に中立な単数代名詞 “They”
が広がりつつある といひ、世界が大きく変わりつつあるなあと。

私のぶつぶつは今月の From Kobe に

■ <https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1912.pdf>

5. 最近の新聞 TV より

スマホの google 翻訳が双方向音声で自動翻訳 もう 20 年早ければなあ…

先日スマホをいじっていたら「google 翻訳が双方向自動音声で !!」とスマホの無料アプリと共に紹介されていた。
スマホの Photo カメラで翻訳したい文章を写せば、英語でも日本語でもすぐに翻訳して画面にあらわしてくれるこ
とは知っていましたが…

すぐアプリを入れて スマホに日本語の短文を話しかけるとすぐに英語音声で返ってくる。

次は英語 最近の「Merry Christmas!」「God be with You!!」と

直ぐに日本語訳の音声「クリスマス おめでとう」「神 あなたと一緒にいます」と。これはほんまもんや。

昔よく はやいこと音声翻訳できんかなあ。。。。よと言ってたなあと。

英会話が苦手な私には朗報。

高い翻訳機に手をださんでも OK もう 20 年はやかったらなあ。。。。

前記「3」の記事もそうですが、

日頃 スマホの使い方・情報過多に文句ばかり言っているのですが。。。。

時代の流れはすごい。要はこの道具を使って 何を生み出すか…やと。

私には何が生み出せるかなあ?????

6. 今月の掲載記事 トピックス Photo 抜粋.

今月掲載した和鉄の道・Iron Road より

◎【PDF file】 島根県埋文センター 角田徳幸氏著「たたら製鉄の歴史」紹介を兼ねて

たたら製鉄始まりの謎 古代たたら製鉄原料砂鉄は海を渡ってきたのか

2019.12.10. by Mutsu Nakanishi

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/iron15/1912tatarasatetsu.pdf>



本年 9 月に出版された吉川弘文堂歴史文化ライブラリー484

角田徳幸氏著「たたら製鉄の歴史」を見つけた。

読みやすい新書版。久しぶりのたたら製鉄の歴史が新しいデータをも入れて書かれている。

たたら製鉄の始まりから近代までその歴史や技術や各地の伝承まで現地発掘のデータを交えて、考古学の視点・立場でしっかりまとめられていました。

今私が一番知りたかった「たたら製鉄の始まり・たたら製鉄の原料のこと。砂鉄は技術とともに海を渡って来たのか？」この謎についても記述があり、興味津々。

私の和鉄の道・Iron Roadの記事のチェックもかねて、特に今興味津々の「たたら製鉄原料の砂鉄」について、書かれている記述そのまま 下記の記事に書き写し整理しました。

添付資料1 2002年和鉄の道口絵 たたら製鉄を描いた絵 &日本各地の砂鉄 Photo&年表 和鉄の歴史
<https://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/jstla00.pdf>

添付資料2 古墳時代前期 たたら製鉄が始まる前 日本で出土の砂鉄の用途がわからない
但馬の古墳で出土した「砂鉄」の謎をめぐって 2006.5.6. より
<https://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/6iron06.pdf>

◎2019 京都の紅葉 永観堂・真如堂と八瀬・比叡山 2019.11.22.&23.

毎年楽しみにしている秋恒例の京紅葉探勝 毎年それぞれ 新しい発見も

2019京都の紅葉 2019.11.22.& 11.23.

- ◆ 秋恒例の展覧会 日本画の系譜を辿る 円山応挙から京都画壇へ 百花繚乱! 円山・四条派の世界 鑑賞
- ◆ 東山鹿ヶ谷界隈 紅葉を訪ねて歩く 永観堂・法然院・真如堂・黒谷 金戒光明寺
- ◆ 洛北紅葉の八瀬から比叡山へ 八瀬・最高峰 大比叡の三角点踏み・比叡山

今年も関西でも 久しぶりに鮮やかに色づいた真っ赤な紅葉 神戸でも見ることが出来ました。毎年楽しみにしている秋恒例の京紅葉探勝 毎年それぞれ 新しい発見も 円山応挙に始まる日本画の系譜をたどる展覧会鑑賞 比叡山の最高峰 大比叡にものほりました 毎年の京都紅葉の探勝コース でも今年もうれしい京都紅葉探勝が出来ました

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/walk16/1912kyomomizi00.htm>

7. 2019 師走更新 12月掲載リスト 2019.12.15.

1. 島根県埋文センター角田徳幸氏著「たたら製鉄の歴史」紹介を兼ねて 2019.12.10. by Mutsu Nakanishi
たたら製鉄始まりの謎 古代たたら製の原料砂鉄は海を渡ってきたのか
2. 【風来坊・aCountry Walk】 【スライド動画】・【Photo Album】
2019 京都の紅葉 永観堂・真如堂と八瀬・比叡山 2019.11.22.&23.
毎年楽しみにしている秋恒例の京紅葉探勝 毎年それぞれ 新しい発見も
3. 【From Kobe: 12月 師走の便り】 12月 令和元年 師走の便り 色々あった1年 また来年
まだまだ好奇心もあり、足も動く。家族仲間もいる。勝手気ままな風来坊 神戸の片隅で
● 収録 師走の今 本年を振り返って 心に響いた言葉

◎ 更新後記



毎日の西六甲山裾散策で 左鉄呂山から眺めた神戸市街地 右須磨妙法寺緑が丘から眺める若草の丘

今年もあつという間に師走 神戸の街にはクリスマス飾り そしてルミナリエの灯がとまり 一機に師走モードに。寒さからいえば もっと師走は寒かったなあ…。震災から25年たちましたが、やっぱりあの時のことが頭をよぎる師走です。

12月 師走 本年最後の更新をやっと終えました。

なんとか新しい記事としましたが、頭回らず 例年のパターン構成。私の記録中心のページに。

この師走 三宮の書店で9月に出版された新しい新書版の角田徳幸氏著「たたら製鉄の歴史」を見つけました。

たたら製鉄の歴史が新しいデータをも入れ、鉄の始まりから近代まで 各地の伝承まで現地発掘のデータを交えて、考古学の視点・立場でしっかりまとめられているうれしい本。また 表紙のたたら製鉄炉の絵図・写真も美しい。

今一番知りたかったたたら製鉄原料 砂鉄の謎

「たたら製鉄の始まり・たたら製鉄原料としての砂鉄が技術とともに海を渡って来たのか」この謎についても記述があり、興味津々。

さっそく買って、読み返しなが ら まず 砂鉄について、興味津々書き出して、本の紹介を兼ねて今月の記事に。

角田徳幸氏著「たたら製鉄の歴史」では「砂鉄製錬のはじまり」「東アジアの中のたたら製鉄-韓国砂鉄製錬-」の項を設け、砂鉄の使用についてもまとめて記述されていました。

完全に謎が解けたわけではありませんが、あたまのややもやも吹っ飛び、良い整理が出来ました。

また、「たたら製鉄」と一つにまとめて言われることが多いのですが、古代から江戸そして明治以降まで

その時代ごと そして地域ごとにその地域の主要産業としてその技術と共に育ってきたことが かいつまんでまとめられ、

刀鍛冶・玉鋼だけがたたら製鉄の主体とみることに対する検討もなされ、また、明治になって溶鉱炉による近代製鉄が始まるとともに衰退するたたら製鉄と置いていましたが、中国山地では昭和の初めまで、地域の主要産業としてたたら製鉄の特徴を生かした鉄製造がおこなわれ、洋鉄を補充し、自立した形で時代を生き抜いたこと姿も初めて知りました。

また、たたら製鉄と一つにまとめて言われることが多いのですが、古代から江戸そして明治以降までその時代ごと そして 地域ごとにその地域の主要産業として育ってきたことが その技術と共にかいつまんでまとめられ、

刀鍛冶・玉鋼だけがたたら製鉄の主体とみられることに対する検討もなされ、また、明治になって溶鉱炉による近代製鉄が始まるとともに衰退するたたら製鉄と置いていましたが、中国山地では昭和の初めまで、地域の主要産業としてたたら製鉄の特徴を生かした鉄製造がおこなわれ、洋鉄を補充し、自立した形で時代を生き抜いたこと姿も初めて知りました。

日本以外では副次的製鉄法でしかなりえなかった塊錬鉄法ですが、砂鉄と出会った日本のたたら製鉄法のみが、製鉄法のメインとして育ったことが大きな特徴であり、日本独自と呼ぶにふさわしく、まだまだ、日本各地で育まれていったたたら製鉄の姿がいくつもあり、さらに掘り起こさねばならないと角田徳幸氏は結んでいる。

日本で独自の発展をしたたたら製鉄の姿について ほかのことを交えず、純考古学の遺跡調査の視点で一貫通貫して整理記述されたうれしい本。併せてご紹介させていただきした。

◎ たたら製鉄原料「砂鉄」の謎の記述補足

記事には たたら製鉄原料「砂鉄」の謎 について書けなかったので、この後記で補足

たたら製鉄は日本で育まれた製鉄技術とはいうもののその源流は遠く西アジアからユーラシア大陸を東運して、中国・ 朝鮮半島を経て、日本に伝来した製鉄技術。

10数年にわたる愛媛大学村上教授らのユーラシア諸国との共同発掘調査・研究により、人工鉄の起源そしてその製鉄技術 ユーラシア大陸東運の道(Metal Road)の解明が進んできた。しかし、日本で製鉄が始まる5世紀後半、東アジアの中国・朝鮮半島はじめ、近隣の諸国はみな鉄鉱石を溶かして製錬する溶融法。

一方 日本は当時近隣に類型の見られぬ背の低い箱型炉を用いて 鉄鉱石を溶かさずに直接鉄に還する塊錬鉄法。しかも鉄鉱石原料からすぐに砂鉄原料が主流となる。この砂鉄原料を使うのも独特。日本で独自に育まれた古代たたら製鉄といわれるゆえんである。

私のたたら製鉄原料 砂鉄の疑問と謎

この砂鉄原料 日本で育まれたとは知りながらも製鉄技術と一緒に海を渡って伝わったのではないかと。

砂鉄は日本でも弥生時から発見されているが、製鉄原料としての痕跡はいまだよくわからず。

中国・朝鮮半島の砂鉄も古くからあるが、製鉄原料としての痕跡はあまり知られていない。

でも 古墳時代 大和の家族 葛城親津彦が朝鮮半島のたたら浜から、鉄の工人たち多数を連れ帰ったとの記述もあり、

また、中国でも広く砂鉄は認識されていたという。

古代たたら以前4世紀朝鮮半島の石帳里製鉄遺跡では 錬鉄法の製鉄炉と共に製鉄原料として、細かく割られた鉄鉱石粉がみつき、当初は砂鉄とみられた経緯もあり、日本のたたら製鉄の源流ととらえる向きもある。

いずれにせよ 大陸・朝鮮で砂鉄がどのように取り扱われていたのか、全く知りませんでした。

この角田徳幸氏の本には朝鮮半島や中国の砂鉄製錬をも調査された結果がまとめられていて、初めて大陸での砂鉄製錬の事情ならびに遺跡調査資料でした。

11月の半ばから12月はじめ晩秋の紅葉 そして毎年横尾山の丘を真っ白に埋める兵庫県花「野路菊」にも思い入れがある。
私の秋送りです。また 更新の折々 頭にあることを書き連ねたFrom Kobe もことしは 毎度同じことの繰り返し。
地球温暖化が抜き差しならぬ時代

その自然の災害の猛威が直接我が身にもそんな激動の中で 身勝手な政治に振り回され続ける定見なき日本 日本はどこへ行くのか・・・ 人類が生き抜いてきた歴史 それにもさおさす日本 それでよいのか・・・

Cop25 あのスウェーデンの16歳の若者が世界を相手にあれだけ地球危機を訴えている。

それも世界の首脳たちを前に堂々と。そんな問いかけにどうこたえればよいのか・・・

新聞の論調も今 急激に変わってきた。

そんなことを感じた日本社会の読解力低下の記事。一度耳を傾け、日本の今を振り返る一助になれば・・・と。
ふれた年寄り風来坊のたわごとです。

また、日本の縄文をもっと知ってほしいと言い続けてきましたが、やっとまたユネスコ世界遺産登録の土俵に。

最近 縄文についての記事や解説が新しい視点で語られるようになったのもうれしい。

いろいろなことがあった一年 あれもこれもとあたまを駆け巡る・・・・・・・・

令和元年が暮れてゆく 早く若ものの時代へ舵を切れ!!との思いです

和鉄の道・Iron Road につきあってくださって ありがとうございます。

行動半径はますます小さくなり、あたまも回らなくなってきましたが、まだまだ好奇心はある。

みんなに助けられながらも 元気に 来年もよろしく。

なお、定期更新が負担にもなってきましたので、Top page も見直し整理して随時更新にしていこうと思います。

また、インターネットに残している「和鉄の道・Iron Road」の多数の記事もまとめ整理する時期かと。

もう ふんざらねばと。

最近 老化や体調不調などの療養・リハビリに頑張っている仲間の近況を聞きました。

また、“元気やそ!!”と笑顔を送ってくれた仲間もいる。うれしい連絡 仲間にも

厳しい日々と察しつつ、一日も早い回復を祈っています。

仲間がいる!! 仲間の笑顔はみんなの応援歌!!

老化・病気・介護などの困難に みんながむきあう 新時代

仲間の笑顔を活かして!! スクラム組んで 元気に今を!!

心もあらた 新しい時代を前向いて

後期高齢になって 老化そして終活がよぎる歳に

でも 好奇心さえあれば・・・と 奮い立たせて 毎日勝手気ままな風来坊です

本年もあとわずか、お互い無理せず元気に!!

忘れない 忘れまい みんな仲間がいる

我が道をしっかりと God be with You!!

2019.12月の夜更け home page のBGMに耳を傾けながら

From Kobe Mutsu Nakanishi

老い行く先のことが気にかかりだしましたが、
みんなに助けてもらいながらも、
相変わらずの風来坊 孫バカもやっています。

どうか体調変化に気を配り、
Happy Autumnになりますよう

お互い元気に前向いて
God Be With You!!

2019.12.15. from Kobe

Mutsu Nakanishi



2019年 四季折々【18】

■ 神戸で 思いつくまま From Kobe 2019

【神戸で 思いつくまま From Kobe 2019】



今の世相や我が身を振り返りつつ 平和について 振り返る

🌈 困難の中に居られる方々にエールを!!

日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと
いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないで 仲間がいる
暖かい希望の輪が繋がっていることを」

神共に居まして
得られるものを 変える「勇氣」
変えられないものを
受け容れる「心のゆけさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニーバーの祈り より、
God be With you !!



🌈 平和を願って 決意も新たに!!



へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ。
ねこがわらう。おなががいっぱい、やぎののんびりあるいてる。ちょうめいそがたくさんはえ、よなぐにうまが、ヒビーンとなく。
みんなのこころから、へいわがうまれるんだね。これからも、ずっとへいわがつづくように、ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

- ◆ 安里有生君の詩 (20136.23発表当時小学1年生)
「へいわって すてきだね」
- ◆ PDF Photo「原爆資料館 & オハマさんの折り鶴」
- ◆ 原爆資料館 映像展示資料 原爆を投下された広島

📰 新日鋼住金 → NIPPON STEEL 住金鉄鋼の朝日の記事に思いを馳せて 2019.4.11.
重厚長大の象徴「鉄鋼」から住金の名が消えた
高度成長から、成熟停滞の時代を 一緒に駆け抜けた我が身を振り返る
新しい時代を歩む者の中の細く日本の高度成長を支えた鉄鋼住金の名が消えた
2019.4.9. - 4.11. 朝日新聞朝刊 経済欄「発信 日本経済上・中・下」



年号が平成から令和に 新しい時代を元気に!!
新生の息吹に満ちて 新しい出会いと出発に日々あふれた
最前線記者になって迎える新時代 仲間を元気に!! 令和元年5月1日

折しも、重厚長大の象徴「鉄鋼」から住金の名が消えた
高度成長の「昭和」・成熟停滞の「平成」を共に駆け抜けた 我が身を振り返る
新生の息吹に満ちるとは言えずとも
お互い God be with you!! 元氣に前向いてと
我が身の人生を振り返る 令和元年5月1日です

新聞「令和元年朝刊」(4月30日) <インフォ> 9ページ 朝刊1面
「平成の30年間、日本は戦北の時代だった 朝日記者、生かぬかめめ」



By Mutsu Nakanishi

四季折々・Monthly 神戸便り from Kobe 2019

2019年 四季折々・From Kobe : 掲載記事ピックアップ

更新の折々 頭にあることを書き連ねた From Kobe も今年も毎度同じことの繰り返し。
地球温暖化が抜き差しならぬ時代 その自然の災害の猛威が直接我が身にも
そんな激動の中で 身勝手な政治に振り回され続ける定見なき日本 日本はどこへ行くのか・・・
この一年 書き綴ってきた文章を眺め、一年を振り返ってみると同じことを繰り返し、言い続けてきたようだ。
歳が平成から令和に変わり、大きなパラダイムシフトが世界で起こっている。
そんな中で日本はどこへゆくのか?未だに方向がみえぬ理由のわからぬ社会情勢。
先が見えぬ日本 そんな状況が今も続く一年だったと。
12月 Cop25 あのスウェーデンの16歳の若者が世界を相手にあれだけ地球危機を訴えている。
それも世界の首脳たちを前に堂々と。そんな問いかけにどうこたえればよいのか・・・
新聞の論調もここに来て 急激に変わってきた。
そんなことを感じる中で、**日本社会の読解力低下の記事**が出た。
科学技術立国・ものづくり世界一が もう誰の目にも由来で見え出した今 「**自立して物事を考え理解し判断する力=読解力**」がここ10年で大きく下落し、トップクラスから遠く離されてしまったと。
3月 小林喜光氏の「**平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか**」の記事に
ビックリして以来の強烈な日本へのパンチである。馬耳東風の日本 これで良いのか・・・
日本の今を振り返る一助になれば・・・と。ふれた年寄り風来坊のたわごとです。

下記の文は本年はじめの from Kobe に書き記した言葉である。

◆ 2019年 年のはじめに 心も新たに 年のはじめの思い

日本人の心の故郷 「縄文」・そして太古から国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをはせて
私がよく口にする「縄文帰り」・「日本人の心」、そして この変革の時代に新しい顔を見せる「鉄」

生命をつかさどる元素文明を支える元素として「鉄」がなければ人類は生きてゆけない
溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光の「肌光」その輝きの中に燦然と輝く「鉄」と人類の知恵の数々
人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道-知恵が「他人を思いやる心」
かつて日本には「1万年の長きにわたって平和な社会を持続した形成してきた時代があった」
日本人の心のふるさとといわれる「縄文」 そのエンジンは「縄文の心-他人を思いやる心」だった
「鉄」と「縄文の心」 激変 の今 時代を生き抜く唯一のエンジンである
現代社会においてはしばしば「なまっちょろい」と呼ばれ、切り捨てられてきた「心」
でも 一旦危機災害に直面した時には 誰しもがその力強さに心打たれる「心」
「鉄」も今 激変する時代の中で、新しい姿を見せ、新しい指針を示し始めた。
「鉄は田舎なり」の「鉄」から「豊かな海を育てる豊し鉄」・「地球温暖化を軽減するかもしれない鉄」へ



望むと望まざるにかかわらず、躍動の時代から 成熟社会-人口減少の「激変の時代」へ
人類が幾たびも経験してきた絶滅の厳しい淵に立っている。

人類が困難を生き抜いてきた力それは「仲間を大切に思う心の進化」と「集団の協力」
約1万年の長きにわたって永続した日本の縄文はその実証例
幼くして歩けぬ障害をもった少女が、年老いるまで
集落の人たちに見守られ、生活を共にしてきた例が見つかった。
「心優しき縄文人」「日本人の心の故郷」と言われる所以である。

また、「地球は鉄の惑星 もし 鉄が地球になかば、地球の生命体も生命を維持できず、存在しえない。
動物の血液中の鉄・植物の光合成にも鉄が関与しりせている。
山海の動植物の生態系も また「鉄」により、維持されている。

縄文の森を含め、太古の昔から、日本列島の沿岸には豊かな山・森があり、
最近「沿岸の山や森が豊かな海を育てる」「山は海の恋人」耳にするようになったが、
山に含まれている鉄分が森の植物によって、水に溶けこむ鉄となって、川を下り、豊かな海を育てる。
魚貝や海産物の資源の形成・生態系の循環には豊かな山や森の存在が欠かせぬことが明らかになっている。

ここでも「他人を思う心」・「集団の協力」をエンジンにした地方自立循環型経済創生・豊かな海や森の
資源開発が進められている。

鉄の惑星 激変する危機を生き抜くエンジンは「他人を思いやる心」
幸福への岐路にある今 スピード・情報過多の情報社会の流されず、自らをじっくり考えよう。
そこに地球に生きる仲間みんなの共存再生の道がある。
「心優しき縄文人」「分かち合い」の多様性 そして 沖縄には「命こそ宝」の言葉もある。

終活が頭にちらつく我々だからこそその役割もあると信じて今を前向いて
わが道をゆく God Be With You!!

また、本年こそ日本の縄文に 世界遺産の道が開かれますよう 期待を込めて

2019.1.1. Mutsu Nakanishi

一年経っても世界情勢 社会に大きな変化が見られず、特に日本ではひたすら高度成長期の成功体験にとらわれ、高度情報化のうねりの中 競争と効率を追い求める同一均質化の社会を未だに追い求め、多様・多質の柔軟な社会に鍛冶が切れないでいる。
 景気は一向に良ならず、格差はますます増大する中、高齢化は急速に進み、不安感が漂う社会。そんな中で 美辞麗句の薄っぺらな掛け声に酔いしれ、自分さえ良ければ・・・と。
 掛け声とは裏腹の薄っぺらな高度情報社会に はっと気がつく。
 日本はこれからどこへゆくのか・・・ そんな思いを書き綴った本年の from Kobe 雑文。

- 1月 [心の故郷「縄文」と「鉄」に思いを馳せて](#)
- 3月 経済同友会代表幹事 小林喜光氏 <インタビュー>記事 転記ご紹介2019.1.30 朝日新聞朝刊「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」
- 4月 兵制からたらしい年号「令和」が発表された1日[高度成長を支えた鉄鋼住金の名が消えた「平成」の総括から「令和」の新時代へ](#)
- 7月 経験したことのない初夏 目まぐるしく変わる気象変化に負けぬよう
- 8月 [2019ひまわり夏 神戸便り](#) 雑感 異常気象をひしひしと感じる今年の夏 参議院選「嘲笑する政治」この夏 一番 私に響いた言葉 朝日新聞 2019.7.7.
- 10月 [朝日新聞 2019. 9.27朝刊 天声人語・オピニオン&フォーラムより](#)
 大きなパラダイムシフトが進行する国際情勢の中で、国民に何も説明せず、みくだす横暴な仲間政治 理念も目標も失いまだに高度成長期の流れにしがみつくと日本 これではよいのだろうか…
 なぜ、日本では新しい雇用・ビジネスを生みだす先進事業・企業が生まれぬ。
- 11月 この秋に思うこと 色々 この秋 何度か耳にした情報
 効率化・選択と集中 行き過ぎた資本主義は人々を幸福にしない
 GAFa グローバルな巨体企業の存在は富を集中し、富の分配がなされない」
 多重・多様化をキーワードに《柔軟な社会作りへ舵を切る》パラダイムシフトの波がおこりはじめた
- 12月 [師走の今 本年を振り返って 心に響いた言葉](#)



新聞の論調も今 急激に変わってきた。
 一度耳を傾け、日本の今を振り返る一助になれば・・・と。
 また、日本の縄文をもっと知ってほしいと言い続けてきましたが、やっとまたユネスコ世界遺産登録の土俵に。
 最近 縄文についての記事や解説が新しい視点で語られるようになったのもうれしい。
 いろんなことがあった一年 あれもこれもとあたまを駆け巡り、令和元年が暮れてゆく・・・・・・・・・・
 早く若ものの時代へ舵を切れ!!との思いです
 来年こそ 令和の新しい時代と 誰もが実感できる明るく平和な時代になってほしいと。

2009.12.31. 2019年 四季折々 和鉄の道を振り返って

2019 本年を振り返って 心に響いた言葉 From Kobe 12月より

2019.12.8. Mutsu Nakanishi

師走になって、ことし一年を振り返って その時折々 書き綴った季節の便りの中でお送りした言葉。ほんとうに毎回 同じ言葉ばかりでした。

インターネットやニュースでは、今が一番と社会への満足を謳歌する言葉・番組があらわれるが、何とはなしに息苦しく閉塞・不安が漂う社会。なにか自分には合わない。ついていけないなあ・・・と。後期高齢になって非生産的な日々を送る今 取り残されているとの不安感が頭をよぎる。「でも ほんまにええのか・・・ 現実はどうだろう・・・」

そんな師走の中で発表された OECD が3年ごとに行う世界各国の15歳を対象とした学力総合調査。(読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシーの3分野)で、高い学力を維持しているものの、日本の読解力が大幅に低下したと伝えている。日本の現在の社会に与える強烈なアッパーカットである。教育の問題 子供の問題と過少評価する向きもあろうが、この問題今の日本の現実 社会の問題。日本が一人 国際社会から取り残されてゆく深刻な姿が映されている。でも 日本社会はそれに気が付かない。



2019.12.4. 朝日新聞が伝える OECD の15歳学力調査結果と天声人語の記事

◆拡大記事 URL: <https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/OECDasahikiji191204a.jpg>

無知盲目の仲間を募って 数の力でなんでも押し切る刹那の社会 美辞麗句を並べ 中身はそっこのけ
なんでもかんでも 自己責任に転じる。 自分の政策を「・・・ミックス」と自ら声高に言いまわるのは
自己陶醉そのもの。

セーフティネットがずたずたになった国土・地方は疲弊し、ますます格差が広がる刹那日本の情報社会
この秋 30歳40歳の働き盛りの給与水準は10年前の給与水準よりも10%以上低下しているとの
統計が発表されている。その上 消費税は10%に。 一方会社は好景気を謳歌し、高収益・内部留保
をため込んでいる。そして 人手不足が深刻だという。全く不思議な現実。
これは人為的な政策の代物の何物でもない。

片手間の非正規雇用対策ばかりでなく正規雇用の拡大 そして何よりも働く場・新しい雇用を生み出す産業創生
に注力せねば・・・。

でも 新産業創設の研究開発費の投入・分配の見識のなさは目に余る。

もう技術立国は影薄く、大企業は今の事業路線にしがみつき、次の事業がない。

これでは新しい雇用は生まれない。もう 大企業依存・イベント依存から脱却せねば・・・

湯水のごとく民衆の懐に手を入れて使う国債・消費増税頼みも限界に・・・

昔はよかった・・・との言葉も聞かれるようになった今、もう 破綻寸前と映る

もっと 皆が明るい社会にならないものか・・・そんなことばかり言ってきた一年だったと映る。

そんな師走の中で発表されたOECDが3年ごとに行う世界各国の15歳を対象とした学力総合調査
(読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシーの3分野)で、数学・科学の分野では高い学力を維持しているが
日本の読解力が大幅に低下したと伝えている。「リテラシー」とはなにか・・・また読解力の問題とは・・・
インターネット等で調べると、原義では「読解記述力」を指し、転じて「適切に理解・解釈・分析し、改めて記述・表現する」という意味に使われるという。

要は社会全体の活力の源泉 知識は非常に高いレベルであるものの 知恵・判断・確かな行動アプローチが出来
ないといわれ、社会の活力が失われているとの警鐘。

常々 多くの人々が指摘する日本社会の課題と現状があからさまに国際的にも指摘された。

国際社会がし認める国力の先行きを示す重要な指標でと言える。

強がりはいやまい。 今日本の現実はこのなのだ・・・と。 そう思うと本当にいろいろなことが見えてくる。

この一年 日本で起こった数々の問題の根源にこの指摘が当てはまる。

◎ 読解力と「リテラシー (literacy)」とは、

読み書きができる能力や、その分野の応用、活用力、理解力を意味。

「リテラシー」は、単独でその言葉だけを使うことは少なく、「コンピューターリテラシー」や
「メディアリテラシー」「環境リテラシー」といった風に使うという。

◎OECD 調査 読解力の設問

解説を含め2019.12.4. 詳細が示されている東京新聞の記事を紹介する

「ラパヌイ島」と題する設問

ラパヌイ島(イースター島)で調査をしている教授はブログで、

モアイ像が作られた当時にはあった大木が現在は生えていないことに疑問を示す。

木の乱伐が原因とするジャレド・ダイヤモンド氏の著書「文明崩壊」の書評、

ネズミが種を食べたためとする科学者の反論を紹介する記事があわせて示される。

生徒たちはそれら三つの文章を読み、大木が消滅した理由を根拠を挙げて説明することを求められる。

自らの可能性を広げ、社会に参加するために文章を理解して熟考し、考えを表現する力。

それがOECDが提示する読解力だ。・・・

三年ごとの調査結果は教育政策に大きな影響を及ぼしてきた。

ゆとり教育転換の一つの契機は、読解力などが低下傾向にあったことだ。

2007年に再開された全国学力テストの出題はPISAを強く意識したものとなっている。

202年度から本格実施される高校の新学習指導要領では国語を「論理国語」「文学国語」などに再編する。

文学が片隅に追いやられるのではないかと文学界などから懸念の声が上がっている。

調査では読書についても尋ねており、興味深い分析結果が出ている。

雑誌以外では「読む」グループの方が「読まない」グループよりも得点が高く、

最も得点差が大きいのは小説や物語などのフィクションだった。次いで新聞、漫画となっている。

「論理的」と仕分けされた文章だけが、読解力を育むとは限らないことを示唆しているのではないか。

読解力は、多様な養分を吸収してゆっくり育つ木のような力なのだろう。

読解力育成のため、社会や理科など国語以外の教科でも、文章のまとめりなどを意識した授業改革に取り組み

始めた学校もある。調査の順位のためというよりは、子どもたちの未来を広げるために、学校や社会が豊かな

養分を含んだ土壌でありたい。

インターネット記事検索でみつけた東京新聞 2019.12.4. 記事より 全文整理

これは今の学校のOX式詰め込みの受験教育の中では最初から設問に詰まって解けないわ……と。

でも 一部の私学では そんな読解力中心の国語授業が行われ、他の授業と連動されているとの話を聞いて、余裕があるなあ。。。と感心したこともある。

天声人語氏は「細かな知識はインターネットで得られるが、知識よりも知恵を出して、事態を突破する力が求められる」というOECD担当者の言葉を紹介している。日本に一番今かけている点との指摘。

知識がいやというほど積み込まれていく日本の今の画一的な教育への痛烈な一発である。

みんながみんな社会全体が同じ方向にむけた発展途上の高度成長と成熟した今の情報社会には当然違いがある。

今の時代 一部の人に情報が限らず 同じ情報を広くみんなが持っている。そこに 多層多重の芽があり、それを封じて 同一を強いられることに息苦しさをを感じるし、異を感じる時代なのである。で

も 日本では今 あまりにも「不思議やなあ」「おもしろいな」などの発想や知識から広がる「知恵」がない。

付和雷同 感激・感動ではなく盛り上げの言葉が空虚に響く。

知った知識を少し披露しただけで「それがどうしたの…… ああ めんどくさ」との言葉がすぐに。

知識から知恵・発想への転換が全く無視され、同一同調が一番される日本昨今の情報社会。

なにも子供たちの教育問題だけではない。今の日本の社会全体がそうになっているのだ。

とりわけ、日本を動かしてきた政治・大経営者たちの言動をみれば一目同然……

ほかにも この12月 心に響いた記事がいくつかありましたので、転記。

この秋 重多様な社会への脱皮について、それぞれの個性を意識する多様多重社会の醸成を考える本や新聞記事・番組に数多く出会うことがあり、自分にはできなかった反省も込めて。

特にあまりに個性豊かで 仲間・先生・学校での集団生活に溶け込めず、「好きなことを 好きに 好きな時に」と

その都度 自分の実学ノートに記してきた7年間の記録をひも解くNHKの番組NHK「ボクの実学ノート 7年間の小さな大冒険」で語られた 生物学者福岡伸一さん著「エリボシカミキリ」の中にある言葉

やこの秋読んだ「ソーシャル・マジョリティ研究 コミュニケーション学の共同創造」にも心に響きました。

また、本年は仲間がみんな後期高齢を迎え、老化と向き合う歳に。

老化と闘い、また先に逝ってしまった仲間もいる。この秋は仲間を思い浮かべながらの毎日散歩になったことも数多し。

でも まだまだ好奇心もあり、足も動く。家族仲間もいる。勝手気ままな風来坊 神戸の片隅で

皆に世話になりながら 勝手気ままにと。

本年どうもありがとうございました。 また来年。

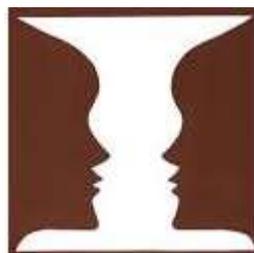
From Kobe Mutsu Nakanishi



<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/1912yoshino.jpg>

- ◆ 金子書房 「ソーシャル・マジョリティ研究 -コミュニケーション学の共同創造-」
 発達障害者の側から ソーシャル・マジョリティ(社会的多数派)のルールやコミュニケーションを研究しました。
 「障害は個人の中にあるのではなく、多数派が作った社会と少数派の身体特性の間に生じる」
 なにかよくわからぬまま発達障害者とかたづけられ、排除される人が多数いる
 その人たちは社会的多数派のルールやコミュニケーションについてゆけないだけである。
 逆に社会多数派があまり意識していないが、社会的多数派のルールやコミュニケーションが多数あることを
 理解し、そんなルールなどを障害者側に立って研究することで理解が深まれば、
 お互いのコミュニケーションを生むことが出来て、より良い関係を生むことが出来る。

だまし絵 真実の一つなのか…… 多数派のおごり by Mutsu Nakanishi



絵の中にだまし絵という世界がある。
 このだまし絵 人のその時々感情・事情によって見え方が違う。
 今 画一的になんでもかんでも AI に任せて判断させようとする。
 知能ロボット万能論が伝えられている。
 でも この知能ロボットにだまし絵を見せて アクションを起こさせたら、どんな反応をするのか???

興味津 AIの判断万能を唱えるのは間違いではないか……

上記したソーシャル・マジョリティ研究の理解にも このだまし絵の理解が欠くことが出来ないと思っている。
 そもそも 現世人類が幾多の困難を乗り越え、
 生き抜いてきた所以は相手の表情で共感・感応を醸成してきたからに他ならない。

【From Kobe 1月 年賀 年の初め】

2019 年激動の時代に 希望を膨らませ、心も新た 今を元気に

fkobe1901nenga.pdf

◎収録 心の故郷「縄文」と「鉄」に思いを馳せて

(h3101nenga.htm)

【From Kobe 2月 如月 節分 神戸便り】

fkobe1902.pdf

春迎え 2019 「福は内 鬼も内」

◎収録 1. 日本各地に伝承されている鬼 鬼にされた愛すべき仲間の鬼たちに思いを寄せて
2. 朝日デジタル 最近の縄文の捉え方に警鐘をならす編集委員・宮代栄一氏の記事
「エコロジカルな縄文人」とのイメージについての記事に接しての Iron road 発信の私の思い

【From Kobe 弥生 3月 春の足音がすぐそこに】

fkobe1903.pdf

どこかで春が生まれてる

◎収録 「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」
経済同友会代表幹事 小林喜光氏 <インタビュー>記事 転記ご紹介
2019.1.30 朝日新聞朝刊オピニオン欄 掲載記事 平成から新しい時代に向かって

【From Kobe 卯月 4月 待ちかねた春 さくらと共に春爛漫】

fkobe1904.pdf

野山・海も街・里そして人も 新生の息吹に満ちて

新しい出会いと出発に日々あらた 平成最後の春を元気に!

◎再収録 平成から令和へ 新しい時代に向かって

小林喜光氏「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」

【From Kobe 7月 神戸便り 遅れた梅雨のはじまりから酷暑の夏へ】

fkobe1907.pdf

遅れた梅雨の中で迎えた7月 神戸便り 2ヶ月ぶりの更新 お元気ですか!!

経験したことのない初夏 目まぐるしく変わる気象変化に負けぬよう

◎収録 高度成長を支えた鉄鋼住金の名が消えた

【From Kobe 8月 盛夏 2019 ひまわりの夏】

fkobe1908.pdf

2019 ひまわり夏 2019 雑感

今年も田園一帯を真っ黄色に染める元気なひまわりに出会ってきました。

異常気象をひしひしと感じる今年の夏

参議院選「嘲笑する政治」この夏 一番 私に響いた言葉 朝日新聞 2019.7.7.

【From Kobe 9 & 10月 初秋 Happy Autumn】

fkobe1909.pdf

10月初秋の便り Happy Autumn From Kobe

◎収録 新聞記事 朝日新聞 2019.9.27.朝刊 天声人語・オピニオン&フォーラムより
理念も目標も失いまだに高度成長期の流れにしがみついた日本
国民に何も説明せず、みくだす横暴な仲間政治 これではよいのだろうか…

【From Kobe : 11月 秋便り】

fkobe1911.pdf

11月秋便り Happy Autumn【2】From Kobe

◎収録 この秋に思うこと 色々 この秋 何度か耳にした情報
多重・多様化をキーワードに《柔軟な社会作りへ舵を切る》

【From Kobe : 12月 師走の便り】

fkobe1912.pdf

12月 師走の便り 12月 令和元年師走の便り色々あった1年 また来年

◎収録 師走の今 本年を振り返って 心に響いた言葉

【From Kobe 2019年 年の初めに】迎春

by Mutsu Nakanishi

2019 迎春の便り 本年もよろしくお祈りします

収録：【2017年年初の資料再録】「心の故郷「縄文」と「鉄」に思いを馳せて」ほか



和鉄の故郷 古代鉄の王国滋賀県湖北 伊吹山西麓 古代たたら郷 旧坂田郡 米原市伊吹 & 長浜市西黒田地区

堂々とした伊吹山の姿とともに坂田の金時 桃太郎田生誕の地の伝承が残っています。

「和鉄の道・Iron Road」<古代たたら郷 湖北 伊吹山西麓 たたら郷に眠る「金太郎」伝承 walk>

<http://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/iron14/1812ibuki00.htm>

「鉄」に携わって約50年 75歳 後期高齢者の仲間入りですが、まだまだ、好奇心いっぱい 元気に歩けることに感謝しつつ、相変わらず、気の向くまま、足の向くまま元気に 風来坊・Country Walk を楽しんでいます。

物忘れや頭の回転力・俊敏さの衰えはいかんともしがたしですが、多くの人たちに支えられ、孫たちに振り回されることも多いのですが、家族ともども元気に暮らしています。

皆様のご健康とご多幸を お祈り致します
 仲間の元気を活力に!! 無理せず お互い元気にと
 本年もよろしくお祈り致します
 2019年 元旦

by Mutsu Nakanishi from Kobe

◆ 2019年 年のはじめに

日本人の心の故郷 「縄文」・そして太古から国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをはせて
・ 2017年年初【和鉄の道・Iron Road】に掲載した小文。色あせぬ思いに再度持ち出しました。
・ 心も新たに 年のはじめの思い 言葉足らずですが、お許しください。
私がよく口にする「縄文帰」・「日本人の心」、そして この変革の時代に新しい顔を見せる「鉄」

生命をつかさどる元素文明を支える元素として「鉄」がなければ人類は生きてゆけない
溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光り「肌光」その輝きの中に燦然と輝く「鉄」と人類の知恵の数々
人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道・知恵が「他人を思いやる心」
かつて日本には 1万年の長きにわたって平和な社会を持続した形成してきた時代があった
日本人の心のふるさとといわれる「縄文」 そのエンジンが「縄文の心・他人を思いやる心」だった
「鉄」と「縄文の心」 激変 の今 時代を生き抜く唯一のエンジンである
現代社会においてはしばしば「なまっちよらい」と呼ばれ、切り捨てられてきた「心」
でも 一旦危機災害に直面した時には 誰しもがその力強さに心打たれる「心」
「鉄」も今 激変する時代の中で、新しい姿を見せ、新しい進路を示し始めた。
「鉄は国家なり」の「鉄」から「豊かな海を育てる豊し 鉄」・「地球温暖化を軽減するかもしれない鉄」へ



約70億人いる現代人のルーツをたどると

「我々は約10万年前 東アフリカにいた小さな集団のたった一人の女性の子孫」

人類はこのたった一人の女性の子孫という綱渡りの細い道でつながり、

今約70億を超える繁栄を謳歌している。

この間 繁栄を極めた幾多の原人祖先がありながら、苦難の道乗り越えられず、他はすべて絶滅している。

地殻変動活発化の時期にさしかかた今、現代人が引き起こした地球環境変化による異常気象も加わり、
地球上どこにいても 巨大災害がわがにも降りかかる

「今まで経験したことのない想定外の災害」と他人ごとではすまされぬ時代

一方、今まで謳歌してきた高度成長・高度情報化社会を支えてきたグローバル化・効率・大量消費を
追い求めた国際金融中心の情報化社会のほころびが随所に。

また、戦争の脅威は一向に去らず、格差の増大と弱者切り捨て 一握りの富裕層と大多数の貧困層への
2極分化が進み、出口は見つからずますます幸福感が遠のいてゆく。

望むと望まざるにかかわらず、躍動の時代から 成熟社会・人口減少の「激変の時代」へ
人類が幾たびも経験してきた絶滅の厳しい淵に立っている。

人類が困難を生き抜いてきた力それは「仲間を大切に思う心の進化」と「集団の協力」

約1万年の長きにわたって永続した日本の縄文はその実証例

幼くして歩けぬ障害をもった少女が、年老いるまで

集落の人たちに見守られ、生活を共にしてきた例が見つかる。

「心優しき縄文人」「日本人の心の故郷」と言われる所以である。

また、「地球は鉄の惑星 もし 鉄が地球になかば、地球の生命体も生命を維持できず、存在しえない。
動物の血液中の鉄・植物の光合成にも鉄が関与しりせている。

山海の動植物の生態系も また「鉄」により、維持されている。

縄文の森を含め、太古の昔から、日本列島の沿岸には豊かな山・森があり、
最近「沿岸の山や森が豊かな海を育てる」「山は海の恋人」耳にするようになったが、
山に含まれている鉄分が森の植物によって、水に溶けこむ鉄となって、川を下り、豊かな海を育てる。
魚貝や海産物の資源の形成・生態系の循環には豊かな山や森の存在が欠かせぬことが明らかになっている。

ここでも「他人を思う心」・「集団の協力」をエンジンにした地方自立循環型経済創生・豊かな海や森の
資源開発が進められている。

鉄の惑星 激変する危機を生き抜くエンジンは「他人を思いやる心」

幸福への岐路にある今 スピード・情報過多の情報社会の流されず、自らをじっくり考えよう。

そこに地球に生きる仲間みんなの共存再生の道がある。

「心優しき縄文人」「分かち合い」の多様性 そして 沖縄には「命こそ宝」の言葉もある。

終活が頭にちらつく我々だからこそその役割もあると信じて今を前向いて

わが道をゆく God Be With You!!

また、本年こそ日本の縄文に 世界遺産の道が開かれますよう 期待を込めて

【関連の和鉄の道】

1. 「利他的精神」について 朝日新聞天声人語にこんな記事が・・・
[競争社会から成熟社会へ 日本に必要なのは「心の優しさ」では](#) 2014.6.1.
2. [NHK「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」](#) NHK 取材班「Human ヒューマン」角川書店 2012.4.5.
3. [日本人の心の故郷「縄文」を世界の人たちに知ってもらいたい](#)
一万年も平和で豊かな生活が続いた時代 世界に類のない日本の「縄文」 そのエンジンは「他人を思いやる心」
日本人の心の故郷「縄文」北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に
4. 「岩波の科学ライブラリー「鉄学 137億年の宇宙誌」を読んで 2010.3.5.
[地球誕生から約46億年 鉄の歴史と役割にびっくり](#)
5. 雑誌「岳人」2016年2月号掲載 第18回「鉄の誘い」
[皇山重篤氏「鉄の誘い」 山と海の出逢いつなぐりと恵みを巡る旅](#) 2016.3.16.

ホームページ更新時 心と想う時代の流れから取り残されている疎外感・・・昨年以上になお一層。

でも 愚痴はいうまい。老い行く中で、頭にあるのは「平和」・「穏やかな暮らし」のこと。

でも 今年には薄っぺらな高度情報社会への疑問が、私ばかりでなく、多くの人から語られるようになった。

日本の危機に対する叫び。でも それが政権・経済のリーダー層に届かない。

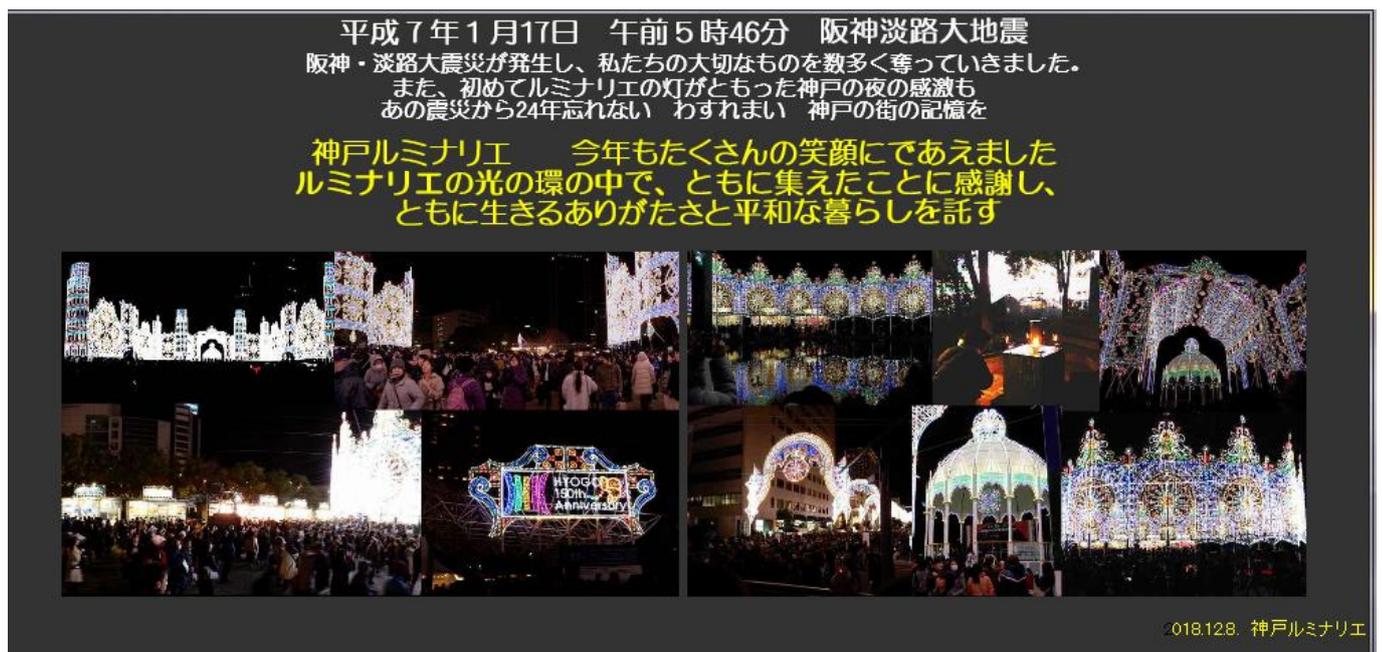
自分の成功体験と仲間頼みに縋りつく日本のリーダー層。うすっぺらな日本の情報化社会等々が見え隠れ。

今年も続く傲慢・独りよがり、アメリカ追従の仲間政治。技術立国日本がもろくも崩れ行く中、日本が国際社会から取り残され、幸福感が日に日に遠のいてゆく。一方 東京や大阪そして神戸の街の真ん中をニコニコ顔で歩く幸福に満ちた大勢の外国人たち。TVやマスコミ 政治家がまくしたてる言葉と現実の落差のいかに大きいことか……

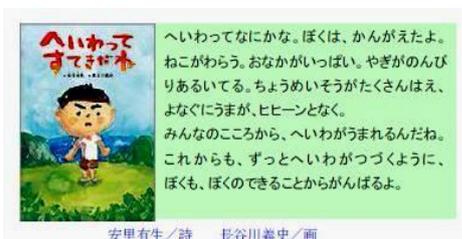
自分の立つ位置をはっきりして、自分でしっかり考えないと一人取り残されてしまう。

前向いて平和の叫び・安定な暮らしを訴え続けたい。

薄っぺらな情報社会からの脱却に一度 耳を傾けてほしいと。今一度 日本の現実に眼をむけねばと。



● 平和を願って 決意も新たに!!



◆ 安里有土君の詩 (2013.6.23.発表当時小学1年生)

「へいわって すてきだね」

この願いもいつも心に響く。

平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう

国の大きな転換点 今 声を上げねば !!

平和を今 自分の頭で考えよう

老齡の身には 厳しい激動の時代 お互い笑顔で 日々新た
 今できることを精一杯 無理せずゆっくりと
 .「まあええか 元気だして行こう」と励まして 心は行ったり来たりですが、好奇心さえあれば……
 また、ジョージ カーリンの「ストレスをためずに100まで」の言葉もうれしい。
 なかなかむづかしい時代。 ジョージ・カーリンの名言「老いを楽しく生きるために」
 それだけに心に響く。

多くの人にささえられながらも
 また、1年 本当に感謝です
 頭も回らず、更新不定期になって
 いますが、まだまだ、知りたい事多し。

後期高齢者になった本年、心も新た
 神共に居まして
 変えられるものを 変える「勇気」
 変えられないものを 受け容れる「心の静けさ」
 そして、両者を見分ける「叡智」を

ニーバーの祈り より

God be With you !! と祈る

また、困難の中に居られる方々に
 いつも 我が身に感謝しつつも、いつも思いをはせて、エール!! を送っています。
 「忘れまい 忘れないで。 仲間がいる . 暖かい希望の輪が繋がっていることを」
 日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと

まだまだ、好奇心もある。毎日健康で動ける我が身に感謝しつつ
 この激闘の時代を元気に前向いて わがみちをゆくと。
 本年もよろしくおねがいします。

仲間がいる 仲間の元気を活力に!!
 お互い 無理せず元気に前向いて 今日も一日 Good Day!
 まだ好奇心もある 我が身の健康に感謝しつつ、また 一年
 互いスクラム組んで 前むいて 老いを笑顔で
 God Be With You!!

2019.1.1. Mutsu Nakanishi From Kobe

《 いつまでも若くいるコツ 》 by ジョージ カーリン

1. 年齢、体重、身長など、どうでもいい数字は気にしないこと こんな事は医者に任せましょう。そのために医療費を払っているのですから。
2. 元気な友達とだけ付き合うこと 愚痴しか言わない人といると、こちらの気持ちも暗くなります。
3. 生涯学習あるのみ コンピュータ、工芸、ガーデニング、ハム無線、なんでもよいので学ぶ姿勢を持ちましょう。脳を怠けさせない事。怠けた心には、衰えという悪が宿ります。
4. 単純な事を楽しみましょう
5. 沢山、長く、大きな声で、お腹が痛くなるくらい笑いましょ
6. 悲しみ、耐えて、そしてまた進む 涙も出るでしょう。しかし一生涯付き合ってくれるのは、自分自身です。命ある限り、自分の人生を歩みましょう。
7. 好きなものに囲まれて暮らしましょう 家族、ペット、思い出の品、音楽、植物、趣味、何でもいからです好きなものに囲まれて暮らしましょう。家は自分の居心地の良い場所なのでから。
8. 体を大切に！ 今健康ならそれを維持し、悪いなら、改善に努めそれが無理なら、助けを求めましょう。
9. 後悔しないこと ショッピング、隣町、外国、とにかく後悔する気持ちを忘れさせてくれる場所に出かけましょう。
10. どんな時でも、大切な人に「愛している」と伝えましょ

そして忘れてはいけない事: 人生とは、自分が息を吸う数ではなく息を吐く瞬間で測定するものです。充実した毎日を生きましょ!



2018. 12. 8. 花園 トップリーグ 神鋼-トヨタ戦



2018. 12. 8. 花園 神鋼-トヨタ戦

【From Kobe 2019年2月 如月】 節分・立春の候 春迎え

春の足音 すくそこまで 春が.....



春の北し 2019.2.1



2019.2.2 福寿草が咲きました 北海道キブス岡堤墓の静かな森に咲く福寿草群を思い出しました
うれしくなって ハチリと1枚



2019年 2月如月 春迎え 福は内 鬼も内
春はもうそこまで、北風小僧に負けぬよう

収録：

- 1. 日本各地に伝承されている鬼 鬼にされた愛すべき仲間の鬼たちに思いを寄せて
- 2. 朝日デジタル 最近の縄文の捉え方に警鐘をならす編集委員・宮代栄一氏の記事

「縄文=ユートピア」はホント？ 食料争奪の可能性／森林破壊も 2019年1月15日11時00分

「格差も戦争もない」本当？ 縄文時代、見えてきた実態 2019年1月31日11時00分

最近語られる「エコジカルな縄文人」とのイメージについて、違和感を抱く

この記事に接して Iron road 縄文発信の私の思い



2019.1.22. 神戸の街・六甲の山並みを背に神戸兵庫港(清盛)



毎日寒い日が続きますが、元気な声が街を駆けてゆく 北風小僧に負けなくて 春遠からじ



寒い冬の日 ほっこりと

2019.1.22. 兵庫の津 兵庫大仏 毛糸で編んだ仏様と



2019.1.11. 神戸新港大仏

1. 日本各地に伝承されている鬼 鬼にされた愛すべき仲間の鬼たちに思いを寄せて



春迎え 2019「福は内 鬼も内」

この季節になると毎度ながら、「鬼」が気になる。「鬼」は自分たちとは異なる集団を「鬼」として排除してきた遠い昔の名残り。そんな中に「鬼」とされた古代の製鉄集団もいたという。

「開拓神」となった鬼 在地の衆に災いをもたらすとして退治された鬼。

「災いをもたらす」として恐れられたが接触が続く中で仲間となった鬼もいる。

「いつも一生懸命働きながら 騙されて退治される」そんな「仲間の鬼」が日本各地で語り継がれてきた。

また、災いをもたらす鬼が退治・改心して、神に従う鬼・神の化身となって災いを追ひ払う鬼もいる。

「鬼は外 福は内」と言いながらも うちでは鬼に感謝し、憎めない。

「地球上に生きとし生けるもの みな共生する仲間」

そんな愛すべき鬼たちに「縄文の心」「日本人の奥深い心情」を見る。

日本人の心の原点「共生」が ここでも培われてきたと。

**** 「鬼にされた愛すべき仲間の鬼たち」の鬼伝承やことわざ ****

◎ 「仲間としての鬼」 - 鬼にされた たたら製鉄集団 -

<http://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/iron10/1402oni00.htm>

◎ 「日本各地の鬼伝説」和鉄の道・Iron Road 掲載リスト

<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/iron9/13iron01list.pdf>

◎ 「日本人の心の故郷「縄文」

<http://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/jyomonslide.htm>

一万年も平和で豊かな生活が続いた時代 世界に類のない日本の「縄文」

そのエンジンは「他人を思いやる心」

日本人の心の故郷「縄文」北東北・北海道の縄文遺跡をユネスコ世界遺産に



■ 東北の「鬼」 鬼にされた阿豆流為・アテルイのこと

幾度となく訪れた東北の各地で、「蝦夷」と呼ばれた時代の人たちへの強い愛着と近親感に出会って、強烈な印象と新鮮な驚きを受けました。この時期「鬼」の話になるといつも気になる東北の「鬼」。

「あの高嶺 鬼住む誇り 音の瀬音 久遠の賛歌

この大地 燃え立つ命ここは北上 北上市 市民憲章より

<http://www.infokkna.com/ironroad/2008htm/walk5/0802oni00.htm>

津軽 岩木山麓 鬼沢に伝わる「鬼伝説」
青森県 弘前市 鬼沢
昔々このあたりはやせれた荒れ地で、作物の収穫はきわめて悪かった。そこへ、岩木山の山倉から下りてきたという鬼が現れ、せせせとの発音を繰り返した。村人達は、これを見て、ただの鬼ではないと思ひ、開墾の困難と農具水の必要を痛感した。すると鬼は、それでは力を貸そうと雲たきり、雲を決してしまった。雲がなくなると村人たちが行ってみると荒れ地には、一層の水の流れが湧いてくるとは思っていたわけではないが、村人たちは、さっそくその水を田に引き、以後、その水は干ばつの時にも決して枯れることはなかったという。村人たちは、非常に喜んで、鬼に感謝するために、神社を建立して「鬼神社」と名づけ、村の名前も「鬼沢」としたという

【鬼神社 石段正面に掲げられた鬼住居の彫刻】
鬼伝承 鬼にされた愛すべき仲間の鬼 青森 岩木山(傲鬼山)山麓 鬼の里「鬼沢」

古代大和朝廷に鬼とされた 北上(日高見)の「鬼」・蝦夷の族長「アテルイ」

岩手県北上市の市民憲章には「あの高嶺 鬼住む誇り その瀬音 久遠の賛歌 この大地 燃え立つ命ここは北上」と誇らしく歌うこの「鬼」とは古代「日高見(北上)川」沿いのこの地に住んだ自分たちの祖先 蝦夷の族長日高見の鬼「アテルイ」とその一族 蝦夷 を指す

今から約 1200 年前 奈良時代の末期から平安時代初期にかけて蝦上田村部族を征夷大將軍とした蝦夷征伐があった。蝦上田村部族がもて、朝廷が置かれた蝦夷の族長が「アテルイ」この蝦夷征伐のもうひとつの裏面は奇襲に頼っていた「金やくるがね」がこの蝦夷の支配地であったことによる部族争いの支配。蝦夷の部族に共通しつづも結びあがらなかった征夷大將軍蝦上田村部族長年わたる戦争の中で、アテルイは蝦夷の和平を願ひ、翌友・モシと約 500 人の兵とともに田村部族に降参。蝦上田村部族の「蝦夷支配」は消滅できる人材と勘弁願も心なく、アテルイは河内國で斬首。

2. Iron Road の出会いの中で 気にかかる縄文のこと

朝日デジタル 最近の縄文の捉え方に警鐘をならす編集委員・宮代栄一氏の記事

「縄文=ユートピア」はホント？ 食料争奪の可能性／森林破壊も 2019年1月15日11時00分

「格差も戦争もない」本当？ 縄文時代、見えてきた実態

2019年1月31日11時00分

最近語られる「エコロジカルな縄文人」とのイメージについて、違和感を抱く

この記事に接して Iron road 縄文発信の私の思い

最近 朝日デジタルに立て続けに、上記のような見出しで、「縄文」ブームの中、その捉え方に警鐘を鳴らす記事が掲載された。home page Iron Road・和鉄の道で「縄文」について 発信している私にとっても、しっかり受け止めねばならぬ警鐘 記事を紹介するとともに、「縄文」に対する私の思いについて 書き記しました。詳細は省きますが、記事を読み、私の受け止めとして抜き書した骨子は次の通り。



■ 2019年1月15日11時00分

「縄文=ユートピア」はホント？ 食料争奪の可能性／森林破壊も

「縄文」が注目を集めている。東京国立博物館で昨夏開かれた「JOMON」展は35万人を動員。ネットなどでは「格差も戦争もない」「自由でエコロジカル」といった、理想郷のような見方も広がる。最近の研究から、縄文時代の「本当の姿」を考えてみる。

「もし、自分が『縄文時代に暮らしてみませんか』と聞かれたら間違いなく断ると思いますね」と県立郷土館の岡本洋学芸主査は話した。

「縄文の人々は火を放つなどして集落周辺の森林を切りひらいていたが、当時は自然破壊より自然の復元力がまさっていたので、回復していた。 現代的な意味で、彼らが環境に優しい暮らしをしていたとは言えないと思います」

■ 2019年1月31日11時00分

「格差も戦争もない」本当？ 縄文時代、見えてきた実態 との掲載記事

最近語られる「エコロジカルな縄文人」とのイメージについて、違和感を抱く

「発掘調査の結果、津軽平野などの集落の集中場所では、集落の存続期間が短いものがあることがわかってきた。

食料が尽きると、新たな資源を求めて集落自体を移転させていたと考えられるという。

木の実を保存して通年の主食とした一方、大型獣からカエルまであらゆるものを食べて飢えをしのいだ。

決して豊かな時代ではないんです。最近語られる「エコロジカルな縄文人」とのイメージについて、

国立歴史民俗博物館の山田康弘教授は「違和感を抱く」と語る。

縄文時代の人口は少なく、最多の時期でも日本列島全体で26万人程度（人口密度で1平方キロあたり0.7人）

にすぎなかった。「縄文の人々は火を放つなどして集落周辺の森林を切り開いていたが、

当時は自然破壊より自然の復元力がまさっていたので回復していた。

現代的な意味で、彼らが環境に優しい暮らしをしていたとは言えないと思います」

近年は縄文好きのアマチュアが出ず解説本も多い。

阿部教授は「必ずしも理詰めで書かれていないが、専門家の本よりとっつきやすいのかもしれない。

一般の人とを結ぶ役割を果たしてくれれば」と期待しつつ、「理想郷」のイメージが再び拡散することを危ぶむ。

読んだのはデジタル版の抜き書きで、意が十分伝わったかどうか、気になりますが、論旨はおおむね上記の通りです。

私も和鉄の道・Iron Road の中で「縄文帰りの勧め」「日本の心の故郷 縄文」「一万年も平和で豊かな生活が続いた世界に類のない日本の「縄文」社会 そのエンジンは「他人を思いやる心」だった」と何度も掲載しています。また、私にとって この2月はいつも今の暮らしや我々のルーツに思いをはせる時期でもあり、自分自身の縄文に対する認識と思いを発信しておかねばと考えてこの文を書いています。

私も縄文の暮らしはこの朝日デジタルの記事の通り、過酷で厳しい自然環境の中での生活だったことには異論ありません。「縄文は厳しい暮らし」であり、「あんのんとした平和で豊かな暮らしが続いた」との認識はなし。この厳しい暮らしの中で「共に生きる」の暗黙のルールの中で生き抜くことが出来たのが縄文だと。現代人の暮らしをそっくり縄文に移入するかのよう、そこで暮らすなどと持ち出すことこそがおかし、仮想現実の持ち込みだと。

ところが、今の高度情報社会の行き過ぎの中で、現実と仮想現実の境が無茶苦茶に混同破壊され、その悪癖がそのまま我々の生活にも影を落としているのも事実。

だからこそ なおさら 遠く離れたルーツまで遡り、社会を見つめることに大きな意義があると考えています。

地球環境が激変する時代に生きる中で、格差・対立が激化し、戦争・核の脅威が日増しに高まる厳しい現実。

「あんとんとひとまかせ」の仮想現実にしがみつくななどできないとの不安がよぎる。

厳しい環境と苦難に何度も遭遇しながらも命をつなぎ、生き延びてきた人類

そして1万年の長き持続社会を築いた世界に誇る日本の縄文。

その「key」は何か????? 「相手を思い、助け合う共生 それが知恵・活力となり、永續の原動力」だという。

「人類・縄文」を持ち出さなくても 近くは原爆・大震災。そして日々の暮らしの中にもその証拠はいくつも見つかる。だが、今の社会ではそれがストレートに出せない現実がある。

そんなこともあたまにあって、バーチャルでなく自分の目で、縄文が共有してきた理念・文化そして生き様を語り合いたいと「縄文帰りの」「日本の心の故郷縄文」と呼びかけている。

世界に類のない日本の「縄文」そのエンジンは「他人を思いやる心」

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に 2019.2.3. 節分 縄文に思いをはせて Mutsu Nakanishi



春はもうすぐそこまで
仲間がいる 仲間の元気を活力に!!
お互い 無理せず元気に前向いて 今日も一日 Good Day!
まだ好奇心もある 我が身の健康に感謝しつつ、また 一年
互いスクラム組んで 前むいて 老いを笑顔で
2019.2.5. Mutsu Nakanishi from Kobe



【From Kobe 2019年 弥生3月】春の足音が すぐそこに!!
弥生三月 どこかで春が生まれてる



老いを日に日に感じる世代ですが、新生の息吹きを胸一杯吸い込んで
ひるまず前向いて 無理せず元気に今を

待ちかねた春到来 春の足音が すぐそこに!! 時代が変わる 平成31年の終わり
収録： 時代が変わる 新しい時代を生きる助けになれば -最近の新聞記事より-
財界の重鎮 小林喜光氏の視点に見る平成30年間
2019.1.30 朝日新聞朝刊 オピニオン欄 掲載記事
経済同友会代表幹事 小林喜光氏 <インタビュー>記事 転記ご紹介
「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」

いつもの散策の道 梅の花の香りがほのかに漂い、遠く見晴らす明石海峡も春霞。足元を見ると春の草花も咲き
始め、庭に鶯もやってきて 初鳴き うれしい春の到来。揺れ動く激動の時代の中で、この春で平成の時代が終
わり、新しい時代を迎えます

なんとかインフルエンザを乗り切ったと思ったら、早くも花粉症。
後期高齢 老化を感じる歳になりましたが、お互い無理せず 元気に
最近の世相を思いつつ、新しい時代の開始と若い人たちに期待一杯
老齡の我々にも脇から Follow の役割を果たさねばならぬと。
また、迫りくる老化や病気・困難に直面している人たちを思いつつ、
God be with You!!

家族・仲間の笑顔を活力に我が道を行く。

2019.3.5. Mutsu Nakanishi from Kobe



弥生三月 どこかで春が生まれてる

老いを日に日に感じる世代ですが、新生の息吹きを胸一杯吸い込んで
ひるまず前向いて 無理せず元気に今を

■ 春の到来と共に時代が変わる 新しい時代を生きる助けになれば ー最近の新聞記事よりー

1. 2019.1.30 朝日新聞朝刊 オピニオン欄 掲載記事
経済同友会代表幹事 [小林喜光氏 <インタビュー>記事 転記ご紹介](#)
「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」
2. 2018. 11. 29. 神戸新聞朝刊 指路 21 欄 掲載記事
評論家 [内橋克人氏 <評論>記事 転記ご紹介](#)
「安倍外交の実相 目立つ内外の食い違い 国を危うくする言いつくろい」



平成の30年間 昭和の高度成長期から、グローバル化とIT高度情報化と成熟高齢化の社会が、並行して急激に進んだ時代だった。この時代 昭和の成功体験を持つリーダーたちが、日本を動かしてきた時代でもあった。

その後、激変ともいえる急速な社会展開の中で、従来の経験では対応できぬ国境を越えた高度情報化社会が形成され、もはや個々1国では制御できぬ時代に入っている。また、この間 地球の温暖化がもたらした気象環境の激変と活動期に入った地球がもたらした激甚災害の発生が追い打ちをかける。この国際社会全体を巻き込みつつ激動変化してゆく時代に、日本では日態依然一握りのリーダー層たちの成功体験に頼り切る薄っぺらな国際化・グローバル化と数頼みの利那の時代対応。

何一つ太刀打ちできなかった日本。 今や出口の見つからぬ閉塞感漂う中で迎える新時代である。

地球の異変・社会の異常を誰もが身近に感じる時代に、我が身さえよければではどうにもならぬと。

また、気が付けば、ひとり閉じこもっていても 誰も手を差し伸べてくれぬ厳しい現実。

この平成の30年 日本は敗北の30年だったと総括するリーダーもいる。

出口はあるのか・・・でも 新しい時代はやってくる。

30年間の総括反省の中で、新しい潮流 若者たちの力にも期待したい。

あの「辺野古の県民投票」を主導した沖縄の若者たちの考え方と行動はその一つか……

成功体験に縋りつくリーダーたちには早くリタイヤを願い、中央を若者たちに譲り、山住の諸問題と立ち向かって、

この閉塞感を打ち破ってほしい。また、熟年高齢者も経験が生きるフォロアーとして、新しい生き方を切り開かねばと。

色々考えねばならぬ時代替わり。手放しでは喜べぬ平成最後の春です。

また、この弥生三月 忘れてならぬ3.11.のこと

東日本大震災と原発事故そして さらに昨年も新たな自然災害が多発

被災者の皆さんの復興はまだ道半ば さらに自立支援・救済の手が差し伸べられますよう

政治はいまだに東京一極集中と大型プロジェクトにしか目が向かぬのか……………

負け惜しみは言うまい技術立国日本の地位も今や東南アジアの諸国にも追い抜かれそうな現実直面している。

日本の今を見れば、原因は明らか この平成 30 年を動かしてきた政治の責任は極めて重い。

今 自らの次回も含め、年寄りも 若者も新しい道を踏み出さねば・・・

「自ら 替わろう 変えよう 日本を」と

春の到来を楽しんでばかりはいられぬ社会情勢に、なにかメッセージおくらねば..... と思うのですが、頭回らず。

日頃つぶつぶの私の思いに近い2つの新聞記事が目にとまりましたので、新しい時代を考えるさんこうになればと
本月のFrom Kobe としました。

1. **2019.1.30 朝日新聞朝刊 オピニオン欄 掲載記事**
経済同友会代表幹事 小林喜光氏 <インタビュー>記事 転記ご紹介
「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」
<http://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1903kobayashi.pdf>



1月30日朝日新聞朝刊に掲載された財界の重鎮小林喜光氏のインタビュー記事にびっくり。

小林喜光氏の熱い思いの発言に釘付けになった。

日本の現状に日本を牽引する財界トップリーダーの一人一人とは思えぬ厳しい発言と指摘が並ぶ。

すべてがすべて、今後の道に必要なとは思いませんが、日本の現状や指摘・そして方向性には承服。ビックリする明快さ。

日本の社会の現状がおかしいと思いつつも、なかなか口にできなかったことが、ストレートに記事にされている。

それも、現状肯定一辺倒と思っていた財界人の口から.....。

私だけではないんだ。 思いは同じで、もやもやしていた思いがすっきり整理できて、気持ちがいい。

また、ちょっと視点がいつも重厚長大・製造業重視に偏る私の頭もガツンと....。

出口すら見えぬ課題山積の日本。 そして老害が蔓延する日本を端的に指摘するコメント。

さあ 日本はどう動いてゆくのだろうか...

ご承知の方も多いと思いますが、参考になればとできるだけ、記事を忠実に整理転載しました。

いつも勝手なことをぶつぶつ言う私にとっても反省と良い刺激となりました。

いうはずし。頭は回らぬが 好奇心・突き進む力もまだある。大勢に飲み込まれぬよう がんばらねば.....と。

2019.1.30. 朝日新聞 小林喜光氏インタビューの記事に接して from Kobe Mutsu Nakanishi

◆ インタビュー記事のトップに記載された 小林喜光氏のプロフィール

1946年生まれ 相関理化学専攻 イスラエル留学などを経て

74年に、三菱化成工業(現三菱化学)に。2015年から経済同友会代表幹事

1946年、新進の企業人83人がつくった経済同友会。経済再建を誓った設立趣意書には、「全く新たなる天地を開拓しなければならない」「同志 相引いて互に鞭うち脳漿をしぼって」と熱い言葉が並ぶ。

以来70年余。同友会を率いる小林喜光さんの頭を離れないのは「日本が2度目の敗北に直面している」との危機感だという。技術は米中が席卷。激変に立ち遅れ 挫折の自覚ない。

◆ 小林喜光氏 インタビュ 記事 新聞掲載要旨 水色はインタビュア-の質問 ◆

2019.1.30. 朝日新聞掲載 小林喜光氏インタビュー 聞き手 編集委員・駒野剛 より

● 平成の30年間、日本は敗北の時代だった 事実を正確に受け止めなければ 再起はできません。

今では、グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾンという『GAFA』と、アリババ、テンセントなど米中のネット系が上位を占め、モノづくりの企業はほとんどない。日本はトヨタ自動車が四十数位で、そこまで差がついた。

企業の盛衰が反映する国のGDP(国内総生産)でも伸び悩む日本に対し、米中は倍々ゲームで増やしていった。テクノロジーはさらに悲惨です。

かつて『ジャパン・アズ・ナンバーワン』などといい気になっているうちに、半導体、太陽電池、光ディスク、リチウムイオンバッテリーなど、最初は日本が手がけて高いシェアをとったものもいつの間にか中国や台湾、韓国などに席卷されている。もはや日本を引っ張る技術がない状態です

● 事実を事実として受け止めないから

「GAFAみたいな世界もすぐ追いつける」とのんきな気分で見られるんでしょう。

そもそも失われた20年とか、デフレマインドの克服とかいうこと自体が本末転倒です。

安倍晋三政権、アベノミクスが唱えられ 「財政出動、金融の異次元緩和を進めるから、それで成長せえ」といわれました。しかし本来は時間を稼ぐため、あるいは円高を克服するために取られた手段で、それ自体が成長の戦略だったわけではないのです。この6年間の時間稼ぎのうちに、なにか独創的な技術や産業を生み出すことが目的だったのに顕著な結果が出ていない。ここに本質的な問題があります。

内閣府の2018年6月の調査でも74・7%の国民が今に満足していると答えています。

18~29歳では83・2%ですよ。

心地よい、ゆでガエル状態なんでしょう。日本全体は挫折状態にあるのに、挫折と感しない。

この辺でいいやと思っているうちに 世界は激変して 米中などの後塵を拝しているのに、自覚もできない。

カエルはいずれ煮え上がるでしょう

● 国家の未来図が描かれないままの政治が与野党含めて続いてしまったためです。

今さえよければ、自分さえよければ、という本音の中で、国民も政治家も生きてきた。

周りが敵ばかりのイスラエルや、覇権を維持するためには科学を前に進めなくてはならない米国などと違い、皆で楽しく生きていきましょうという空気が取り巻いて敗北を自覚しない。

運動会で「みんな一緒にテープを切りましょう」と競争自体を忌み嫌った時期もあった国だから無理もない」

● 敗北が見える、自覚できる事態になると・・・

地政学では三つの選択肢がある。今は米国依存ですが、さらに従属を深めた米国の別種の州として生きていく。これを断ち切れれば、うっかりすると中国の一つの市、北京や上海になる形もあり得るでしょう。

どちらも嫌だ。日本は日本だと独立を守り、米中の中で中立を保つことも可能性としてはある

経済、技術を通じた地経学的な見地が死活的に重要です。現在は歴史的な革命期にあると皆が認識すべきです。

5GもAIもサイバーセキュリティーも日本は本当に遅れてしまい、基幹的な技術を欧米や中国から手に入れなければ産業、社会が立ちゆかなくなる。外国政府や企業の意向を無視しては国家全体が成り立たなくなる。リーディングインダストリー（成長を引っ張る産業）を自国の技術で育てることができず、他国の2次下請け、3次下請けとして食いつなく国になってしまう

● **抜け出すのも至難 息継ぎのために国債が乱発された結果、財政に余力はなく、持続可能性が疑問の現状**

GDPを増やそうとして逆に国内の総負債を増やしたんです。

6年間で約60兆円のGDPが増えたといいますが、国と地方の借金は175兆円も拡大しました。

これで次の世代に引き継いでいけるでしょうか。

一方で5Gや半導体、量子コンピューターなど次世代が利用する技術の研究開発費は欧米や中国に出遅れている。

● **アベノミクスに小林さんを含め、財界も手をさしのべた。結果的に時間稼ぎにか担した責任は軽くない ……。**

非常に問われている。矜持（きょうじ）を持つ財界人が少なくなりました

経営者として、あるいは社会的公器のリーダーとして、社会に対して強く関わって変革していこうという意志を持った人の絶対数が減ったんです。

● **かつて土光敏夫さんが臨時行政調査会を率いて行政改革を進めた頃、財界には高い権威がありました。**

でも ネット社会のいまは、財界トップと言っても、持っている情報が一般の社員と比べて特段に優れているわけでもないから、社会的地位も特段に高いわけでもない。そうした状況で、官邸1強体制の中、経済財政諮問会議や未来投資会議など政府の意思決定過程に組み込まれてしまえば、できることもたかがしれている

● **変えていくためには……………**

まずは財界トップに権威のない時代だと自覚する。だからこそ財界人だけで群れて固まらず、

学界や知識人、若い人たちも含めた幅広い団体、いわば知的NPOを作って意見を交わし、社会に問いかけ、政治に注文する。そういう柔軟な形でないと世の中は動かなくなっている。

まず知的NPOとして活動する場として、今度の大阪万博などは、よい機会になると思います。

お金集めなどは二の次です。世界に向けて何を考え、何を訴えるのか、それが本質です

● **日本の衰退が心配な半面、世界は一国主義や分断が広がっています**

一国主義を主張する政治家は選ばれた存在に過ぎず、選んでいるのは国民です。悪いのは国民です。

各国で国民が劣化したんです。偽りと真実を見極めることが民主主義の原点なのに、それができずに独裁者を生む。プーチン氏や習近平氏であり、西側でもそういう連中ばかりになってきた。

劣化は老いから始まったと思います。老いて勉強しない。考えない。新しいものに果敢に挑み、切り開くエネルギーも 枯渇してきました

● **先進国は老いたのですか……………。**

文明は老いるものです。ローマしかり、大英帝国しかり。新しい血と混ぜることを嫌えば衰退に向かう。

それが世界史です。トランプ氏が壁造りに躍起になっていますが、外国からいろんな人がやってきて 活性化してきたというエネルギーを馬鹿にしてはいけません。日本は「弱きを助け、強きをくじく」といった大和心は残しつつ、進取の気性を培わないと、挫折したまま滅んでしまう。単なる労働力として外国人を入れるのではなく、勉強する、考える日本人を増やす触媒の役割を担ってもらうべきです。

● **社会にはストレスが生まれませんか……………。**

だからいいんです。無用な対立はいけません。異文化と接することで日本本来の文化も磨かれる。

陳腐化したものは淘汰（とうた）される。そうした新陳代謝を怠ったのが、残念ながら平成時代の一つの性格です。異文化とワイワイガヤガヤやって実力がつくのです

2019.1.30. 朝日新聞掲載 小林喜光氏インタビュー 聞き手 編集委員・駒野剛 より
できるだけ記事に忠実に転記整理させていただきました

2019.2.5. by Mutsu Nakanishi from Kobe

◆ 2019.1.30. 朝日新聞掲載 小林喜光氏インタビュー記事紙面 file

<http://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/小林喜光氏記事.jpg>

【 From Kobe 2019年 待ちかねた春 春の訪れ 4月 】

平成から令和へ この春元号が変わり、激動の時代の中で

野山・海も街・里そして人も 新生の息吹に満ちて さくらと共に春爛漫

新しい出会いと出発に日々あらた 平成最後の春を元気に!!

再収録 参考 激動の平成 30 年 小林喜光氏の視点に見る 30 年間

時代が変わる 新しい時代を生きる助けになれば 最近の新聞記事より
財界の重鎮 小林喜光氏の視点に見る平成 30 年間
2019.1.30 朝日新聞朝刊 オピニオン欄 掲載記事
経済同友会代表幹事 小林喜光氏 <インタビュー>記事 転記ご紹介
「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」



車集落田園地・緑ヶ丘越しに芽吹きが始まり草木燃ゆ 西六甲連山山腹には点々と咲き始めた桜・ミツバツツジのピンクも



4月 さくらと共に春爛漫

新しい出会いと出発に日々あらた
野山も里も草木萌え、新生の息吹に満ち満ちて
街には新しい門出の若者たちの華やいた声が響く
生命観あふれる うれしい季節に 気分も新た
若者たちに「カー杯飛び出せ!!」とエールを送る
今でないとの思いも強い老いの毎日
好奇心もまだある お互い無理せずを前向いて



4月21日 イースター・復活日

3月下旬「アーモンド」の木が桜に先駆けて 薄いピンクの花をいっぱい枝につけて咲きます。
うれしい春を告げる花の一つです。

アーモンドの花言葉は「希望」「愛」「優しさ」

アーモンドの香りが漂う春

「神とともに います」の思いも日々新た

また、この時期 菜の花の時期と重なり、
野山も里も草木萌え 生命観あふれる うれしい季節
菜の花にも「幸せ」の願いを託し、
病気や老いの克服など幾多の困難の中にいる仲間や
多くの人達に思いをはせる。

わが身の今を感謝し、 平和で穏やかな暮らし
そして迫りくる老いに 今を元気にと祈る。]

好奇心もまだ旺盛 Stay Yang Day!!

4月21日 イースター・復活日
愛と希望と幸せが みんなに 降りそそぎますように
草木萌え 花の香漂う春 身も心もあらた
神共にいまして 行く道を守りたもう
新生の息吹に満ちて 我が道を行く
God Be with You !!
今の我が身を感謝しつつ
家族・仲間そして世界のみんなに思いをはせています

Happy
Easter
2019



桜に先駆けて咲く
「アーモンドの花」

アーモンドの花の香りが漂う春
花言葉は「希望」「愛」「優しさ」

まだまだ元気 好奇心はある
仲間が頼りですが、今できることを精一杯

体を大切に! 今健康ならそれを維持し、
思いなら、改善に努めそれが無理なら、助けを求めよう。
ジョージカーリン「悪いを楽しく」より

2019年 Easter
Mutsu Nakanishi from Kobe

〈 新生の息吹に満ちて 桜満開で一機に華やぐ 神戸の春 〉

野山も郷・街も 新生の息吹に満ちる ハッと気が付く神戸の春【1】 妙法寺北の若草の丘で



若草の丘も桜が咲き、南の遠くかすむ須磨阿蘇を背に眼下の車集落の田園地・緑ヶ丘 2019. 4. 1.



4月 我が家の庭も門崎も 一斉に花が咲いて うれしい春爛漫 2019.4.1.
野山も郷・街も 新生の息吹に満ちる ハッと気が付く神戸の春【1】 妙法寺北の若草の丘で

**野山も郷・街も 新生の息吹に満ちる 神戸の春【2】 神戸の市街地 再度山の山麓
宇治川沿いの桜並木は満開近し 一気に気分も晴れやかに**

神戸の一本桜「奥平野の舞桜」がある水の博物館の丘のすぐ下 2019.4.1.
神戸の一本桜「奥平野の舞桜」は 昨年より遅れています



神戸平野 水の科学博物館の丘から「舞桜」が見下ろす宇治川沿いの桜も満開 素晴らしい桜の春到来 2019.4.1.



奥平野「舞桜」 2018.3.28 神戸水の科学博物館

市街地を見下ろす再度山麓の丘 水の博物館に咲く神戸の一本桜 「奥平野の舞桜」 2019.4.1.
昨年は3月末にもう満開でしたが、今年はまだちらほら咲き あと1週間が待ち遠しい

2019年 待ちかねた春 4月さくらと共に春爛漫

平成から令和へ 時代が変わる 激動の時代を元気に From Kobe

「みんなに 明るい元気なメッセージを送りたい。春爛漫 桜のメッセージを!」と思いはいたり来たりです。

野山・海も街・里そして人も 新生の息吹に満ちて 新しい出会いと出発に日々あらた
昨年の4月は 地球温暖化の影響が強く現れ、春の訪れが早くから、「三春」「四春」に。

でも 今年はややかさと寒さが入り混じり、自然も街の様子もどうも遅れがち。

一方 世相は混とん 薄っぺらな利己利那の情報化社会の悪癖がいたるところで顔をただし、
後期高齢となった今「取り残されている」との感が募る。また、老化と闘っている仲間も随分多くなった。

春爛漫と浮かれてばかりはいられないが、若者たちにとっては門出の春

また、「平成」から「令和」へ元号が替わり、新しい時代へ

平成の30年間 高度成長の昭和から国際グローバル化・高度情報化の厳しい競争の荒波にさらされつつ、急激な高齢
化社会へに突入し、なかなか幸福感が味わえぬ閉塞感が漂う社会に。私にとっては、そんな高度成長から国際競争にさ
らされる激動の中で、会社生活から風来坊へ一機に身の置き所を変えた時代。

いろんなことが頭をめぐる30年でした。

また、この間続けてきた「和鉄の道」Walk。一年一年掲載してきた記事の積み重ねは 私の平成行動記録でもある。
もう「和鉄」「Iron Road」「たたら製鉄」の言葉も広く使われるようになり、私の勝手な記録など もう役立たんなあ…」
と思いつつも興味は尽きず。 自分史の一部であり、その年々の歳時記にと時折 引っ張り出しては楽しんでます。

みんなに春爛漫の元気な便りが発信できるか、気をもむ中 4月1日 神戸の桜も間に合って うれしい春に。
毎日のWalkingの道すがら、移り変わる春の景色に目を奪われ、新しい発見に「新生の息吹に満ちて」と胸膨らませ、
日々新た。若い人も年寄りも スクラム組んで 笑顔で毎日を笑顔で Good Day!!

また、自分の健康に感謝しつつも、病気や高齢と闘っている仲間のことが気にかかる。

ただ思いをはせることしかできませんが、この春を元気で!! 笑顔での復帰を願ってエールを送る。

日々老いを感じる中で、健康で元気に動ける我が身に感謝しつつ、

神 ともにいまして 得られるものを変える「勇気」と

変えられないものを受け容れる「心の静けさ」

両者を見分ける「叡智」を God be With you!

と唱える - ニーバーの祈りより - .

高齢者には厳しい時代ですが、家族・仲間がいる 仲間の笑顔を活気に!!

お互い 無理せず 笑顔で 今日も一日 Good Day!

また好奇心もある 我が身の健康に感謝しつつ、また 一年 互いスクラム組んで
前むいて 老いを笑顔で

なかなかむつかしいが お互いGod be with You!! と我が道を行く

新生の息吹を 胸一杯膨らませて この春を笑顔で !!

2019.4.5. 平成最後の春

Mutsu Nakanishi



「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」

◆ インタビュー記事のトップに記載された 小林喜光氏のプロフィール

1946 年生まれ 相関理化学専攻 イスラエル留学などを経て

74 年に、三菱化成工業(現三菱化学)に。2015 年から経済同友会代表幹事

1946年、新進の企業人83人がつくった経済同友会。経済再建を誓った設立趣意書には、「全く新たなる天地を開拓しなければならぬ」「同志 相引いて互に鞭うち脳漿をしぼって」と熱い言葉が並び、

以来70年余。同友会を率いる小林喜光さんの頭を離れないのは「日本が2度目の敗北に直面している」との危機感だという。技術は米中が席巻。激変に立ち遅れ、挫折の自覚ない。

◆ 小林喜光氏 インタビュー 記事 新聞掲載要旨 水色はインタビューの質問 ◆

2019.1.30. 朝日新聞掲載 小林喜光氏インタビュー 聞き手 編集委員・駒野剛 より

● 平成の30年間、日本は敗北の時代だった 事実を正確に受け止めなければ 再起はできません。

今では、グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾンという『GAFA』と、アリババ、テンセントなど米中のネット系が上位を占め、モノづくりの企業はほとんどない。日本はトヨタ自動車が四十数位で、そこまで差がついた。

企業の盛衰が反映する国のGDP(国内総生産)でも伸び悩む日本に対し、米中は倍々ゲームで増やしていった。テクノロジーはさらに悲惨です。

かつて『ジャパン・アズ・ナンバーワン』などといい気になっているうちに、半導体、太陽電池、光ディスク、リチウムイオンバッテリーなど、最初は日本が手がけて高いシェアをとったものもいつの間にか中国や台湾、韓国などに席巻されている。もはや日本を引っ張る技術がない状態です

● 事実を事実として受け止めないから

「GAFAみたいな世界もすぐ追いつける」とのんきな気分で見られるんでしょう。

そもそも失われた20年とか、デフレマインドの克服とかいうこと自体が本末転倒です。

安倍晋三政権、アベノミクスが唱えられ 「財政出動、金融の異次元緩和を進めるから、それで成長せえ」といわれました。しかし本来は時間を稼ぐため、あるいは円高を克服するために取られた手段で、それ自体が成長の戦略だったわけではないのです。この6年間の時間稼ぎのうちに、なにか独創的な技術や産業を生み出すことが目的だったのに顕著な結果が出ていない。ここに本質的な問題があります。

内閣府の2018年6月の調査でも74・7%の国民が今に満足していると答えています。

18~29歳では83・2%ですよ。

心地よい、ゆでガエル状態なんでしょう。日本全体は挫折状態にあるのに、挫折と感しない。

この辺でいいやと思っているうちに 世界は激変して 米中などの後塵を拝しているのに、自覚もできない。カエルはいずれ煮え上がるでしょう

● 国家の未来図が描かれないままの政治が与野党含めて続いてしまったためです。

今さえよければ、自分さえよければ、という本音の中で、国民も政治家も生きてきた。

周りが敵ばかりのイスラエルや、覇権を維持するためには科学を前に進めなくてはならない米国などと違い、皆で楽しく生きていきましょうという空気が取り巻いて敗北を自覚しない。

運動会で「みんな一緒にテープを切りましょう」と競争自体を忌み嫌った時期もあった国だから無理もない」

● 敗北が見える、自覚できる事態になると・・・

地政学では三つの選択肢がある。今は米国依存ですが、さらに従属を深めた米国の別種の州として生きていく。これを断ち切れれば、うっかりすると中国の一つの市、北京や上海になる形もあり得るでしょう。

どちらも嫌だ。日本は日本だと独立を守り、米中の間で中立を保つことも可能性としてはある

経済、技術を通じた地経学的な見地が死活的に重要です。現在は歴史的な革命期にあると皆が認識すべきです。

5GもAIもサイバーセキュリティーも日本は本当に遅れてしまい、基幹的な技術を欧米や中国から手に入れなければ産業、社会が立ちゆかなくなる。外国政府や企業の意向を無視しては国家全体が成り立たなくなる。リーディングインダストリー（成長を引っ張る産業）を自国の技術で育てることができず、他国の2次下請け、3次下請けとして食いつなく国になってしまう

● **抜け出すのも至難 息継ぎのために国債が乱発された結果、財政に余力はなく、持続可能性が疑問の現状**

GDPを増やそうとして逆に国内の総負債を増やしたんです。

6年間で約60兆円のGDPが増えたといいますが、国と地方の借金は175兆円も拡大しました。

これで次の世代に引き継いでいけるでしょうか。

一方で5Gや半導体、量子コンピューターなど次世代が利用する技術の研究開発費は欧米や中国に出遅れている。

● **アベノミクスに小林さんを含め、財界も手をさしのべた。結果的に時間稼ぎに加担した責任は軽くない ……。**

非常に問われている。矜持（きょうじ）を持つ財界人が少なくなりました

経営者として、あるいは社会的公器のリーダーとして、社会に対して強く関わって変革していこうという意志を持った人の絶対数が減ったんです。

● **かつて土光敏夫さんが臨時行政調査会を率いて行政改革を進めた頃、財界には高い権威がありました。**

でも ネット社会のいまは、財界トップと言っても、持っている情報が一般の社員と比べて特段に優れているわけでもないから、社会的地位も特段に高いわけでもない。そうした状況で、官邸1強体制の中、経済財政諮問会議や未来投資会議など政府の意思決定過程に組み込まれてしまえば、できることもたかがしれている

● **変えていくためには……………**

まずは財界トップに権威のない時代だと自覚する。だからこそ財界人だけで群れて固まらず、

学界や知識人、若い人たちも含めた幅広い団体、いわば知的NPOを作って意見を交わし、社会に問いかけ、政治に注文する。そういう柔軟な形でないと世の中は動かなくなっている。

まず知的NPOとして活動する場として、今度の大阪万博などは、よい機会になると思います。

お金集めなどはこの次です。世界に向けて何を考え、何を訴えるのか、それが本質です

● **日本の衰退が心配な半面、世界は一国主義や分断が広がっています**

一国主義を主張する政治家は選ばれた存在に過ぎず、選んでいるのは国民です。悪いのは国民です。

各国で国民が劣化したんです。偽りと真実を見極めることが民主主義の原点なのに、それができずに独裁者を生む。プーチン氏や習近平氏であり、西側でもそういう連中ばかりになってきた。

劣化は老いから始まったと思います。老いて勉強しない。考えない。新しいものに果敢に挑み、切り開くエネルギーも 枯渇してきました

● **先進国は老いたのですか……………。**

文明は老いるものです。ローマしかり、大英帝国しかり。新しい血と混ぜることを嫌えば衰退に向かう。

それが世界史です。トランプ氏が壁造りに躍起になっていますが、外国からいろんな人がやってきて 活性化してきたというエネルギーを馬鹿にしてはいけません。日本は「弱きを助け、強きをくじく」といった大和心は残しつつ、進取の気性を培わないと、挫折したまま滅んでしまう。単なる労働力として外国人を入れるのではなく、勉強する、考える日本人を増やす触媒の役割を担ってもらうべきです。

● **社会にはストレスが生まれませんか……………。**

だからいいんです。無用な対立はいけません。異文化と接することで日本本来の文化も磨かれる。

陳腐化したものは淘汰（とうた）される。そうした新陳代謝を怠ったのが、残念ながら平成時代の一つの性格です。異文化とワイワイガヤガヤやって実力がつくのです

2019.1.30. 朝日新聞掲載 小林喜光氏インタビュー 聞き手 編集委員・駒野剛 より
できるだけ記事に忠実に転記整理させていただきました

2019.2.5. by Mutsu Nakanishi from Kobe

◆ 2019.1.30. 朝日新聞掲載 小林喜光氏インタビュー記事紙面 file

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/小林喜光氏記事.jpg>

遅れた梅雨の中で迎えた7月 お元気ですか!!

経験したことのない初夏 目まぐるしく変わる気象変化に負けぬよう

◎ 高度成長を支えた鉄鋼住金の名が消えた 「平成」の総括から「令和」の新時代へ
転記添付 経済同友会代表幹事 小林喜光氏 <インタビュー>記事
「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」

遅れた梅雨のはじまりから酷暑の夏へ
2ヶ月ぶりの更新 お元気ですか!!

体調変化に気を付けて この厳しい夏を乗り切りましょう



梅雨の雨上がり 南の高取山から須磨アルプス 2019.7.2. 若草の街より



心配された6月の猛暑・水不足も何とか乗り切って、西神戸伊川谷では田に水が入り、田植えの終わりの指標「半夏生」へ

春が猛スピードで駆け抜けて行く中で 年号が変わり、新しい時代に。

昭和の高度成長から成熟停滞の平成の時代を多くの仲間と共に一番の活動期を歩んだ我々にとっては、後期高齢で迎える「令和」の新しい時代 想いも人それぞれ ひとしお。

折りしも重厚長大・高度成長を支えた鉄鋼住金の名が消えた。

「一人負けの日本」の声を背負いながら、我々の時代は終わったとの一抹の寂しさを覚えながらも、年寄りの経験や流儀が先端で踊る時代でないと。

おだやかに 優しい平和な社会を願いつつ、若者たちへの期待一杯。

この5月体調不良に陥ったこともあって、散々。令和の新時代がスタートしたのに、home pageの更新もできず、いろんなことへの関心も薄らいでいましたが、体調回復と共にやっといつものスタイル勝手気ままな風来坊にやっと戻れました。

新しい時代の始まりに、この間 home pageの整理や自らを振り返るいい機会にもなりました。

また、日に日に老齢を感じる歳になり、今でないとの思いも強い。

あれもしたい これもしたいとの思いが頭を駆け巡り、まあ 非生産的ではありますが、愚痴は言うまい。 家族や仲間にエネルギーをもらいつつ、新時代を共に駆けると毎日を奮い立たせています。

健康で元気に動ける我が身に感謝しつつ、お互い God be with You!!

7月 遅い梅雨の中 久しぶりの神戸の便りを届けます。

2019.7.5. from Kobe Mutsu Nakanishi

■ 和鉄の道・Iron Road もなにか新しい展開かないだろうか・・・とインターネットを探す。
卑弥呼の邪馬台国・初期大和の国造りに大きな影響を与えたと考えられる大鍛冶工房など
大生産工房を有する弥生中期末・後期の大交易拠点集落 加茂宮ノ前遺跡

鉄の起源・製鉄技術のユーラシア大陸東遷の道も 愛媛大村上恭通教授らの国際グループによる調査でほぼ解明されつつあり、今私の一番の興味は海を渡り日本へもたらされた原型の状況と国造りとの関係。

私の今一番の興味は

1. 淡路島の津名丘陵に現れた五斗長垣内遺跡や舟木遺跡を中心とした弥生中・後期の生産工房群が次の卑弥呼の時代 初期大和王権の国造りに与えた影響 淡路島の役割がどうも見えてこない。
2. 大陸を東遷してきたたら製鉄の源流となった製鉄技術 日本を渡った時に砂鉄使用の技術と一緒に海を渡ったのか… それとも 砂鉄原料の使用は日本で始まったのか…

日本のたたら製鉄の箱型炉は砂鉄使用によって生まれたと考えられ、製鉄原料としての砂鉄がカギを握ると。塊錬鉄法が日本にもたらされ、さらに砂鉄の使用によって 横長のいくつもの鞆羽口を持つ箱型炉による低温焼成の製鉄法 たたら製鉄の技術が確立されたと考えるのですが、どうだろうか…

インターネットに何か新しい情報・知見をチェックしていて、

「日本最古最大の鍛冶工房村と考えられてきた淡路島の五斗長遺跡よりも古い大鍛冶工房遺跡が隣の阿波・徳島で昨年出土。しかも 遺跡は水銀朱の原料辰砂を産する若杉山のすぐ傍。そして同時に当時の半島交易の日本側の中心交易品である水銀朱や勾玉など装飾品の生産工房も有する交易の拠点集落 加茂宮ノ前遺跡」
今も発掘調査中で 次々とあたらしいはっろんがつついていると。

淡路島津名丘陵の林間生産工房群の拠点集落 舟木遺跡と同じ性格でしかも規模が大きいのにびっくり。
また 大和への通商路が早くからあり、半島交易と関係づけられることにびっくり。

阿波・淡路島・摂津播磨を結ぶ南北に半島交易の広いネットワークが想起され、各地の海人たちの活躍も頭に浮かぶ。淡路島だけではないんだと。

まだ なにもよくわかりませんが、インターネットを検索して 今インターネットから得た情報を整理しました。
なにか突破口がひらけそうで うれしい阿南市 加茂宮ノ前遺跡の出土で、以前から気になって、調べていた阿波や讃岐の集落遺跡の記事等も引っ張り出して、今後の展開に興味津々です。

◎【鉄のはなしあれこれ】【インターネット検索情報】

卑弥呼の邪馬台国・初期大和の国造りに大きな影響を与えたと考えられる大鍛冶工房など
大生産工房を有する弥生中期末・後期の大交易拠点集落 加茂宮ノ前遺跡が昨年徳島で出土した

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/iron15/1906kamomiyanomae.pdf>

ごちゃまぜの7月更新のhome page になりましたが、新しい時代の新展開に期待一杯です。
老化・病気・介護などの困難に みんながむきあう 後期高齢で迎えた令和の新時代
自分の健康に感謝しつつも、病気や老齢と闘っている仲間のことか いつも頭の中にあります。
ただ 思いをはせることしかできませんが、笑顔での復帰を願って エールを送っています。
仲間の笑顔を活かすに!! スクラム組んで 今を元気に!!

2019.7.5. 令和の時代の最初のFrom Kobe Mutsu Nakanishi



新しい時代を象徴するかの如く日本の高度成長を支えた鉄鋼住金の名が消えた

2019.4.9. - 4.11. 朝日新聞朝刊 経済面「発信 日本製鉄上・中・下」

「ニッポン」冠し新興国市場へ

平成に代わる新しい時代へ「令和」が発表された1日、国内製鉄大手の新日鉄住金は「日本製鉄」に社名を変えた。丁度東京駅までの本社で開かれた入社式の壇上に立ったのは、同日付で辞任を断った住友金属（旧住友）の代表取締役社長、友野正二氏だ。友野氏は「住友金属」として創業した住友金属（旧住友）の代表取締役社長として、約60年間にわたる住友金属の歴史を閉じ、新日鉄住金として新たなスタートを切った。友野氏は「住友金属」として創業した住友金属（旧住友）の代表取締役社長として、約60年間にわたる住友金属の歴史を閉じ、新日鉄住金として新たなスタートを切った。友野氏は「住友金属」として創業した住友金属（旧住友）の代表取締役社長として、約60年間にわたる住友金属の歴史を閉じ、新日鉄住金として新たなスタートを切った。



入社式であいさつする日本製鉄新社長の橋本英二（左）と友野正二（右）。東京千代田区

消えた「住金」「対等」どこへ

「改名の時期が早すぎる」と旧住友出身の代表取締役社長、友野正二氏は、新日鉄住金の社名変更（旧住友金属と新日鉄住金の合併）をめぐり、社内では「対等」の精神を掲げて合併した新日鉄住金の発足時の取組は、新旧両社が互いに歩み寄り、互いの強みを活かしながら、新たな競争力を創出していくことが重要だと訴えている。友野氏は「住友金属」として創業した住友金属（旧住友）の代表取締役社長として、約60年間にわたる住友金属の歴史を閉じ、新日鉄住金として新たなスタートを切った。



新日鉄住金が発表した日にプレート除幕式を終えて握手する会長の友野正二（右）と社長の友野正二（左）。新日鉄住金社長は友野正二氏。友野氏は住友金属社長だった。2019年10月1日、東京都千代田区

中国勢に危機感 試練の船出

中国の求めに応じて新日鉄住金（旧住友金属）が建設に協力した上海宝山製鉄所の高炉が10月8日、火がともった。当時、新日鉄住金の代表取締役社長、友野正二氏は「中国製鉄の発展は、中国製鉄の発展を促すことになる」と述べ、中国製鉄の発展を促すことになることを示した。友野氏は「中国製鉄の発展は、中国製鉄の発展を促すことになる」と述べ、中国製鉄の発展を促すことになることを示した。



初出陣の「オートモーティブワールド」で、軽量化した自動車車体を展示した。新日鉄住金社長（当時）の友野正二（左）が見学に訪れた。1月18日、東京都江東区

昭和の高度成長から成熟停滞の平成の時代を多くの仲間と共に一番の活動期を歩んだ団塊の世代。後期高齢で迎える「令和」の新しい時代に 想いも人それぞれ。折りしも日本の高度成長を支えた重厚長大 鉄鋼 住金 の名が消えた。日本経済同友会小林氏の指摘する「平成の30年間 一人負けの日本」の声を背負いながら、我々の時代は終わったのだと一抹の寂しさを感じる。現役世代であり続けたいとの願いを封印して若者に任し、小林氏が指摘する総括に耳を傾け、各分野で新しい道を若者に託すことが日本復活の道ではないかと。2019.4.10. Mutsu Nakanishi

「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」



1月30日朝日新聞朝刊に掲載された財界の重鎮小林喜光氏のインタビュー記事にびっくり。くぎ付けになった。小林喜光氏の熱い思いの発言に釘付けになった。日本の現状に日本を牽引する財界トップリーダーの一人一人とは思えぬ厳しい発言と指摘が並び。すべてがすべて、今後の道に必要とは思いませんが、日本の現状や指摘・そして方向性には承服。ビックリする明快さ。日本の社会の現状がおかしいと思いつつも、なかなか口にならなかったことが、ストレートに記事にされている。それも、現状肯定一辺倒と思っていた財界人の口から……。

私だけではないんだ。 思いは同じで、もやもやしていた思いがすっきり整理できて、気持ちがいい。また、ちょっと視点がいつも重厚長大・製造業重視に偏る私の頭もガソンと……。

出口すら見えぬ課題山積の日本。そして老害が蔓延する日本を端的に指摘するコメント。

さあ 日本はどう動いてゆくのだろうか…

ご承知の方も多いと思いますが、参考になればとできるだけ、記事を忠実に整理転載しました。いつも勝手なことをぶつぶつ言う私にとっても反省と良い刺激となりました。

うはやすし。頭は回らぬが 好奇心・突き進む力もまだある。大勢に飲み込まれぬよう がんばらねば……と。

「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか」

◆ インタビュー記事のトップに記載された 小林喜光氏のプロフィール

1946年生まれ 相関理化学専攻 イスラエル留学などを経て

74年に、三菱化成工業(現三菱化学)に。2015年から経済同友会代表幹事

1946年、新進の企業人83人がつくれた経済同友会。経済再建を誓った設立趣意書には、「全く新たなる天地を開拓しなければならぬ」「同志 相引いて互に鞭うち脳漿をしぼって」と熱い言葉が並ぶ。

以来70年余。同友会を率いる小林喜光さんの頭を離れないのは「日本が2度目の敗北に直面している」との危機感だという。技術は米中が席卷。激変に立ち遅れ、挫折の自覚ない。

◆ 小林喜光氏 インタビュー 記事 新聞掲載要旨 水色はインタビューの質問 ◆

2019.1.30. 朝日新聞掲載 小林喜光氏インタビュー 聞き手 編集委員・駒野剛 より

● 平成の30年間、日本は敗北の時代だった 事実を正確に受け止めなければ 再起はできません。

今では、グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾンという『GAFA』と、アリババ、テンセントなど米中のネット系が上位を占め、モノづくりの企業はほとんどない。日本はトヨタ自動車が四十数位で、そこまで差がついた。

企業の盛衰が反映する国のGDP(国内総生産)でも伸び悩む日本に対し、米中は倍々ゲームで増やしていった。テクノロジーはさらに悲惨です。

かつて『ジャパン・アズ・ナンバーワン』などといい気になっているうちに、半導体、太陽電池、光ディスク、リチウムイオンバッテリーなど、最初は日本が手がけて高いシェアをとったものもいつの間にか中国や台湾、韓国などに席卷されている。もはや日本を引っ張る技術がない状態です

● 事実を事実として受け止めないから

「GAFAみたいな世界もすぐ追いつける」とのんきな気分で見られるんでしょう。

そもそも失われた20年とか、デフレマインドの克服とかいうこと自体が本末転倒です。

安倍晋三政権、アベノミクスが唱えられ「財政出動、金融の異次元緩和を進めるから、それで成長せえ」といわれました。しかし本来は時間を稼ぐため、あるいは円高を克服するために取られた手段で、それ自体が成長の戦略だったわけではないのです。この6年間の時間稼ぎのうちに、なにか独創的な技術や産業を生み出すことが目的だったのに顕著な結果が出ていない。ここに本質的な問題があります。

内閣府の2018年6月の調査でも74・7%の国民が今に満足していると答えています。

18~29歳では83・2%ですよ。

心地よい、ゆでガエル状態なんでしょう。日本全体は挫折状態にあるのに、挫折と感しない。

この辺でいいやと思っているうちに 世界は激変して 米中などの後塵を拝しているのに、自覚もできない。カエルはいずれ煮え上がるでしょう

● 国家の未来図が描かれないままの政治が与野党含めて続いてしまったためです。

今さえよければ、自分さえよければ、という本音の中で、国民も政治家も生きてきた。

周りが敵ばかりのイスラエルや、覇権を維持するためには科学を前に進めなくてはならない米国などと違い、皆で楽しく生きていきましょうという空気が取り巻いて敗北を自覚しない。

運動会で「みんな一緒にテープを切りましょう」と競争自体を忌み嫌った時期もあった国だから無理もない」

● 敗北が見える、自覚できる事態になると・・・

地政学では三つの選択肢がある。今は米国依存ですが、さらに従属を深めた米国の別種の州として生きていく。これを断ち切れれば、うっかりすると中国の一つの市、北京や上海になる形もあり得るでしょう。

どちらも嫌だ。日本は日本だと独立を守り、米中の中で中立を保つことも可能性としてはある

経済、技術を通じた地経学的な見地が死活的に重要です。現在は歴史的な革命期にあると皆が認識すべきです。

5GもAIもサイバーセキュリティーも日本は本当に遅れてしまい、基幹的な技術を欧米や中国から手に入れなければ産業、社会が立ちゆかなくなる。外国政府や企業の意向を無視しては国家全体が成り立たなくなる。リーディングインダストリー（成長を引っ張る産業）を自国の技術で育てることができず、他国の2次下請け、3次下請けとして食いつなく国になってしまう

● **抜け出すのも至難 息継ぎのために国債が乱発された結果、財政に余力はなく、持続可能性が疑問の現状**

GDPを増やそうとして逆に国内の総負債を増やしたんです。

6年間で約60兆円のGDPが増えたといいますが、国と地方の借金は175兆円も拡大しました。

これで次の世代に引き継いでいけるでしょうか。

一方で5Gや半導体、量子コンピューターなど次世代が利用する技術の研究開発費は欧米や中国に出遅れている。

● **アベノミクスに小林さんを含め、財界も手をさしのべた。結果的に時間稼ぎにか担した責任は軽くない ……。**

非常に問われている。矜持（きょうじ）を持つ財界人が少なくなりました

経営者として、あるいは社会的公器のリーダーとして、社会に対して強く関わって変革していこうという意志を持った人の絶対数が減ったんです。

● **かつて土光敏夫さんが臨時行政調査会を率いて行政改革を進めた頃、財界には高い権威がありました。**

でも ネット社会のいまは、財界トップと言っても、持っている情報が一般の社員と比べて特段に優れているわけでもないから、社会的地位も特段に高いわけでもない。そうした状況で、官邸1強体制の中、経済財政諮問会議や未来投資会議など政府の意思決定過程に組み込まれてしまえば、できることもたかがしれている

● **変えていくためには……………**

まずは財界トップに権威のない時代だと自覚する。だからこそ財界人だけで群れて固まらず、

学界や知識人、若い人たちも含めた幅広い団体、いわば知的NPOを作って意見を交わし、社会に問いかけ、政治に注文する。そういう柔軟な形でないと世の中は動かなくなっている。

まず知的NPOとして活動する場として、今度の大阪万博などは、よい機会になると思います。

お金集めなどは二の次です。世界に向けて何を考え、何を訴えるのか、それが本質です

● **日本の衰退が心配な半面、世界は一国主義や分断が広がっています**

一国主義を主張する政治家は選ばれた存在に過ぎず、選んでいるのは国民です。悪いのは国民です。

各国で国民が劣化したんです。偽りと真実を見極めることが民主主義の原点なのに、それができずに独裁者を生む。プーチン氏や習近平氏であり、西側でもそういう連中ばかりになってきた。

劣化は老いから始まったと思います。老いて勉強しない。考えない。新しいものに果敢に挑み、切り開くエネルギーも 枯渇してきました

● **先進国は老いたのですか……………。**

文明は老いるものです。ローマしかり、大英帝国しかり。新しい血と混ぜることを嫌えば衰退に向かう。

それが世界史です。トランプ氏が壁造りに躍起になっていますが、外国からいろんな人がやってきて 活性化してきたというエネルギーを馬鹿にしてはいけません。日本は「弱きを助け、強きをくじく」といった大和心は残しつつ、進取の気性を培わないと、挫折したまま滅んでしまう。単なる労働力として外国人を入れるのではなく、勉強する、考える日本人を増やす触媒の役割を担ってもらうべきです。

● **社会にはストレスが生まれませんか……………。**

だからいいんです。無用な対立はいけません。異文化と接することで日本本来の文化も磨かれる。

陳腐化したものは淘汰（とうた）される。そうした新陳代謝を怠ったのが、残念ながら平成時代の一つの性格です。異文化とワイワイガヤガヤやって実力がつくのです

2019.1.30. 朝日新聞掲載 小林喜光氏インタビュー 聞き手 編集委員・駒野剛 より
できるだけ記事に忠実に転記整理させていただきました

2019.2.5. by Mutsu Nakanishi from Kobe

◆ 2019.1.30. 朝日新聞掲載 小林喜光氏インタビュー記事紙面 file

<http://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/小林喜光氏記事.jpg>



太陽に顔を向ける明るいひまわり 今年もうれしい出会いができました
 不順な天候が続いた梅雨もやっと開けて、真っ青な空に入道雲
 その暑さには閉口ですが、「ひまわりの夏」到来
 後期高齢になって迎える令和の新時代で迎える初めての「ひまわりの夏」
 ひまわりにも元気をもらいつつ、お互い無理せず 元気に

2019.8.1. from Kobe Mutsu Nakanishi



2019ひまわりの夏 ひまわり walk 20019.7.17.



今年も小野のひまわりの丘 & 千種川が流れ下るたたらの郷佐用のひまわり畑を訪ねて元気な暇割れに出会えました

- ◎ 小野市浄谷 ひまわりの丘 ひまわり畑
- ◎ 千種川が流れ下る古代たたら郷 旧南光・旧三日月のひまわり畑
 - ◆古代たたら跡 千種川河岸田段丘の丘 漆野段集落のひまわり畑
 - ◆千種川河岸段丘 林崎のひまわり畑
 - ◆旧三日月町 志文川河岸姫新線電車が行く宝蔵寺のひまわり畑

小野ひまわりの丘・佐用漆野のひまわり畑はうれしい満開
佐用林崎・宝蔵寺のひまわり畑は満開を過ぎていましたが、
毎年 夏のうれしいたたら郷とひまわりの出会い
元気をもらって帰ってきました From Kobe Mutsu Nakanishi



梅雨が明け、太陽と青空が戻ってくると毎年訪ねる播磨のひまわり畑

今年は梅雨明けが遅れていますが、「播磨のひまわり畑でひまわりが盛り」とのひまわり祭りのニュースに 梅雨の晴れ間 播磨のひまわり畑を訪ねました。

例年原チャリで行くのですが、今年は雨の心配も……友達のひまわり畑案内もしたいので家内も行くということで、家内の運転で播磨の田園を抜けて西播磨の山郷佐用のひまわり畑へ。 今年は季節感が全くくるっているので、どのひまわり畑が盛りなのか? 自信なし。

毎年夏の到来にあわせてでかける私の夏迎え、 青空が顔を

を出した梅雨の晴れ間 降りそそぐ太陽に一齐に顔を向ける播磨のひまわり、うれしい1日となりました

西播磨の田園地帯が広がる道 175 号沿い 【小野市浄谷 ひまわりの丘 ひまわり畑】



小野ひまわりの丘 2019.7.17.

西播磨古代たたら郷の山里のひまわり畑

清流が流れ下る千種川の両岸に 佐用古代たたら跡や段々畑が広がる河岸段丘のひまわり畑



清流千種川が流れ下る漆野 河岸段丘の両側の丘に本村・段の集落 ひまわり畑が盛りの南の段集落のある丘へ登る 2019.7.17.



2019 ひまわりの夏 更新の便り

異常気象の中で 猛威を振っています 体調維持とともに災害にも感度をあげて ご留意ください
 老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代
 仲間の笑顔を活かす!! スクラム組んで 今を元気に!!

2019 ひまわりの夏 from Kobe Mutsu Nakanishi

◆ 8月掲載の記事 & ひまわりの夏 2019 雑感

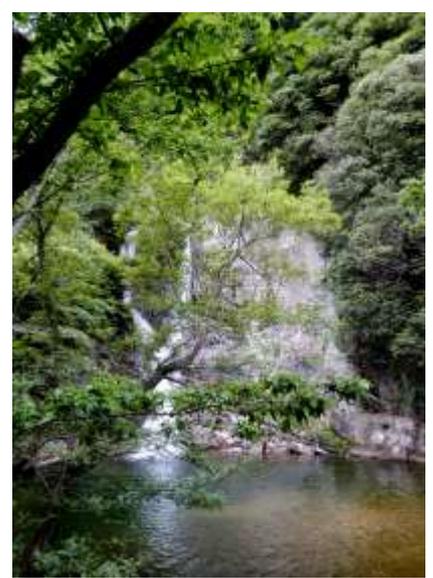


緑の波が田園を渡る 北神戸 淡河・吉川の田園 心配した稲も大丈夫のようだ 2019.7.27.

◎ 2019 ひまわりの夏

東播磨 小野市ひまわりの丘 & 西播磨 古代たたら郷のひまわり畑を訪ねる

◎ ひまわりの夏 8月 雑感 From Kobe



布引谷 布引の滝

五本末堰堤 隠れ滝

「ひまわりの夏」 異常気象が毎日我が身に迫る今年の夏。

おかげさまで 家族ともども元気に暮らしていますが、激動の時代に遭遇して、何かと気が晴れぬ今年の夏 あれもこれもお伝えしたいと思いつつも、夏バテ気力乏しく ホームページ更新ままならず、お許しください。ひまわりの夏の便りだけは何とかなんとかお送りすることが出来ました。ゆっくり おいおいページをき加えてゆきたいと思っています。

◎ 空には入道雲がモクモクと。 今年は雨が多かった精か六甲の滝も水しぶきを上げ、なんとも心地よい。夏の朝を楽しませてくれている朝顔もさきだして すがすがしい朝に。夏の高校野球県体かい久しぶりに球場で母校の校歌を聞くことが出来て、うれしいひとときでした。



緑の風が田園を渡るのが見えますでしょうか… 2019.7.12. 加古川市志方の田園で

◎ 和鉄の道・Iron Road 淡弥生時代最古最大級の鍛冶工房村が淡路島につづき、徳島でも出土。我々関西人は 実感の伴わぬ鉄の時代と思いながらも、期待を込めてすぐに「卑弥呼・大和の国造り!!」とからめてしまうそんな「弥生時代の大鍛冶工房村」。その実像をどう見るべきか・・・一番今知りたい古代鉄の謎。専門家 村上恭通先生が 6 月末に徳島で「弥生時代の鍛冶工房の実像」について、講演された概要が幾つかインターネットに掲載されているのを見ました。

弥生の鍛冶工房村について、発掘調査で明らかになった具体的な弥生の鍛冶工房の実像を整理レビュー。特に同時代 北部九州と西日本における鉄器加工の鍛冶技術に大きな技術差があることを重要視して直接 淡路や徳島で出土した弥生最古最大の鍛冶工房を「卑弥呼・大和の国造りにつながる朝鮮半島の先端鍛冶技術とは一線を画すとされた。行けなかった講演 しっかり記録掲載せねば・・・と。これも次回に。

◎一方 世相はまったくわけのわからん時代に。これで日本は世界と伍して行けるのだろうか・・・ 現政権が目のかたきにする朝日新聞が、語気鋭く指摘するが、世は動かず。

一方 若者たちは老仙人になったのか、「ひとは知らぬが自分には今が一番心地よい。変化は求めず」と。「ぐちは言うまい。でも もう流れから取り残された感がひしひしと。でも 我が道を行く」と。そろそろ老い行く先のことが気にかかりだしていますが、みんなに助けてもらいながら、相変わらずの風来坊 孫バカやっています。

どうか体調変化に気を配られ、この酷暑を乗り越えられますよう。

God Be With You!! お互い元気に前向いて。

2019 年ひまわりの夏

太陽に顔を向けて元気な姿を見せるひまわり なにかの助けになれば・・・・・・・・

2019.8.1. ひまわりの夏 from Kobe Mutsu Nakanishi



我が家のこの夏一番のビッグニュース伊丹の孫がソフトテニスで夏の伊丹・阪神そして県体まで勝ち進み、ベスト8で 近畿大会の出場権を獲得。ほんまかいなとビックリですがうれしいニュース。孫バカやっています



夏の朝をすがすがしくしてくれる朝顔も咲きだしています。

「嘲笑する政治」 朝日新聞 2019.7.7. この夏 一番 私に響いた響い言葉
 なにかやっと自分が感じている政治にびったしの言葉に出会った気がしています。

問う
 2019参院選

「嘲笑する政治」続けるのか

政治部次長
 松田京平

笑いは人間関係の潤滑油だ。ただし、他人を見下す笑いとなれば話は違ふ。安倍首相は7月の自民党大会以降、民主党政権を「悪夢」と言って会場の笑いを誘うあいさつを十数回してきた。5月には、自民党の二階、麻生、細田の主流各派のパーティーに顔を出し、「悪夢」発言を繰り返した。笑いや拍手は確かに起きた。それは、さげすみの笑いだった。

「政治の混乱と停滞に終止符を打つ」。2012年末、民主党に代わって政権に復帰したころ繰り返した首相の言葉だ。あれから8年半。今年6月、通常国会閉幕後の記者会見では「再びあの混沌の時代へと逆流りするのか」を参院選の「最大の争点」とした。

民主党政権の失敗と比較して野党を擁護、こき下ろす。身内で固まってあざ笑う。自分が相手より上位にあり、見下し、排除する意識がにじむ。首相も支える官邸スタッフも代わらず、国会では野党を圧倒する議席に支えられた強固な権力基盤の中で、「嘲笑する政治」が8年半、まかり通ってきたのではない。

笑われる野党にも責任がある。たださげすみ小口化したのに、いまだに主導権争いと離合集散を繰り返している。民主党政権の中核にいた一部政治家に至っては、無節操に自民党の門をたたいている。

有権者の選択は、相対的な評価によるものだ。本気で闘う気のない政党や政治家は、受け皿になりようがない。世論調査で内閣を支持する理由の最多が「他よりよさそう」で固定化する理由が、ここにある。

長期政権下の国会は、官邸が成立させた法案を通す場として下請け化した。野党が関与では、首相答弁についてつまを合わせ、官邸が公文書改ざんに手を染めた。

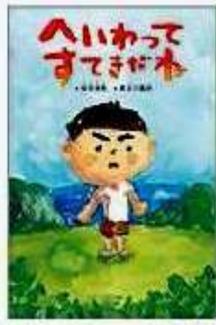
安倍政権が進める政策に異を唱える人を攻撃する風潮も社会に広がった。ネットには、沖縄の米軍施設建設への抗議活動に対する差別発言があふれる。「イー・アッシュ」の記聞問題では、防衛省のずさんな調査の発覚で自派撤回を求める秋田県知事に、辞職あるいは「受け入れろ」と迫るメールや電話が多数届いているという。人をさげすむ政治が生んだ差別や同調圧力の根は深い。

安倍首相が11月まで続ければ、桂太郎を超えて歴代最長の名を刻む。自らを支持する人だけのために、首相という権力があるのではない。支持しない、異なる考えを包摂することなしに、残り2年余の自民党総裁任期を全うするつもりなのだろうか。

野党も国民の不安や不満を受け止める力、毅然と闘う姿勢を示さない限り、展望は開けない。このまま「嘲笑の政治」が繰り返なら、民主主義は機能しない。

安倍長期政権が何をもちらし、どんな社会の局面を迎えているのか。5回にわたって考えます。

平和を願って 決意も新たに !!



へいわってなにか。ほくは、かんがえたよ。ねこがわらう。おなががいっぱい。やぎのんびりあるいてる。ちょうめいそうがたくさんはえ、よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。みんなのころから、へいわがうまれるんだね。これからも、ずっとへいわがつづくように、ほくも、ほくのできるからがんばるよ。

安里有生/詩 長谷川義史/画

家族・仲間に思いを寄せつつ
 平和の願いもまたひとしお
 平和で穏やかな暮らしが ひろく行き渡るよう
 日本人の心の故郷「縄文」を世界の人たちに知ってもらいたい
 一万年も平和で豊かな生活が続いた時代
 世界に類のない日本の「縄文」そのエンジンは「他人を思いやる心」
 ◆ 日本人の心の故郷 縄文
 北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に

- ◆ PDF Photo 「原爆資料館 & オバマさんの折り鶴」
<http://www.infokkna.com/ironroad/2017htm/2017mutsu/fkobe1708photo.pdf>
- ◆ 原爆資料館 映像展示資料 原爆を投下された広島
<http://www.infokkna.com/ironroad/2017htm/2017mutsu/fkobe1708.mp4>
- ◆ 日本人の心の故郷 縄文 縄文の心を映すストーンサークル
<https://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/jyomonslide.htm>

[From Kobe 10月 初秋]Happy Autumn 今を元気に



季節感が2週間ほど遅れているかのような気がしていますが、酷暑・台風・集中豪雨の夏が過ぎ、朝夕爽やかな秋の風、とんぼが大空を舞い、眺める須磨の海も遠くまで空澄み渡る秋景色里では 一面黄金色の畦に彼岸花も咲き、実りの秋を告げ、うれしい新米も届く街では ワールドカップの勝利に沸くでも、パラダイムシフトが猛スピードに進む国際情勢に 取り残されるな 日本!!でも 愚痴は言うまい 若者に期待しつつ 隅っこでなんとか・・・久しぶりに杯を重ねて 仲間と語り合うのも楽し海・山・里戸外に飛び出すもよし またひとり想いに更けるもよしいろいろあったこの夏ですが 秋迎え 気分も新たHappy Autumn 今を元気に!!

◎ 収録 最近の朝日新聞 2019. 9.27朝刊 天声人語・オピニオン&フォーラムより
「大きなパラダイムシフトが進行する国際情勢の中で、国民に何も説明せず、みくだす横暴な仲間政治 これではよいのだろうか…なぜ、日本では新しい雇用・ビジネスを生む事業・企業が生まれない。理念も目標も失いまだに高度成長期の流れにしがみつく日本 」



【From Kobe 11月 秋便り】 Happy Autumn 【2】 2019.11.5

11月 Happy Autumn 【2】 秋桜2019 深まり行く秋

◎ 収録 この秋に思うこと 色々 この秋 何度か耳にしたこと
From Kobe Mutsu Nakanishi



高齢になって いろんな課題が山積ですが、どうか無理せず、
お互い 声かけあって 身を守るとともに、
助けも得て 今を元気に前向いて Happy Autumn に
また、もう 想定外などと言っておられぬ地球環境変化
秋になっても 度重なる大型台風など
長野・関東ほか日本列島各地に大きな災害 お見舞い申し上げます
被災された皆様が一日も早く立ち直られますよう



ワールドカップラグビーに熱狂したのも もうおしまい。
ふと気づくと街路樹も 色づいて すっかり秋模様。
遅れていたコスモスも満開をすぎ、日に日に日没が早くなったと感じる11月
世相は相変わらず迷走。いたるところで身勝手なおおよそ理解できぬ変なことが起き始め、
社会のほころびが誰の目にも見えだしてきた。
「自分の身は自分で守る」とはいうものの もう身に余る高齢者
せめて 感度と準備だけは怠りなく ぼんやりしてるわけにいかんなぁ・・・と。



2019 秋桜 東播磨秋の風物詩 加古川市志方の郷のコスモス畑 今年も出会えました



2019秋桜 東播磨 加古川市志方 広尾の里で
城山を背に広がるコスモス畑で 2019.10.28



2019秋桜 東播磨 加古川市志方 広尾の里で
城山を背に広がるコスモス畑で 2019.10.28



2019秋桜 東播磨 加古川市志方 広尾の里で
城山を背に広がるコスモス畑で 2019.10.28



2019 秋桜
加古川市志方 広尾の里で 2019.10.28



コスモス畑を心癒よ！そ旣が通りゆき 秋風っ唄り
今年も田舎をピンクの朝顔に埋め尽くすコスモスに出会えました

Happy Autumn
暑くなってゆきますが、お互い無理せず完熟に!!
忘れない 忘れまい みんな仲良がいる
我が道をしっかりと
God be with You!!

2019.11/9 From Kobo Mutsu Kakanishi



2019秋桜 東播磨 加古川市志方 広尾の里で
城の牧場山を背に広がるコスモス畑で 2019.10.28

秋の夕暮れはつるべ落とし 落日 里の夕景 こんな夕暮れが撮れました



2019.10.10. 里の秋 西神戸 白川峠の北側 布施畑の郷



2019.10.28 2019秋 東播磨 中の上集落に隣接する白川峠の郷



2019.10.10. 白川峠北 布施畑の里 秋の夕暮れ



2019秋 日没 妙法寺若草 自宅の庭より 2019.11.1.

From Kobe この秋に思うこと 色々 この秋 何度か耳にしたこと

「効率化・選択と集中 行き過ぎた資本主義は 人々を幸福にしない」
GAFa グローバルな巨大企業の存在は 富を集中し、富の分配がなされない
多重・多様化をキーワードに《柔軟な社会造りへ舵を切る》
パラダイムシフトの波が世界のあちこちで、おこりはじめた」と。



ワールドカップ ラグビーに熱狂したのももうおしまい。 心と気がつくと街路樹も色づいて すっかり秋模様。遅れていたコスモス畑の花も盛りを過ぎて、日に日に 日が短くなってきたと感じる 11 月 世相は相変わらず迷走。いたるところで 身勝手なおおよそ理解できぬ変なことが起き始めている。社会のほころびが誰の目にも見えだした。

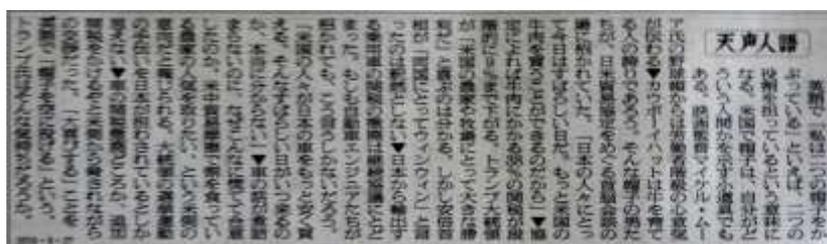
「自分の身は自分で守る」とは言いますが、もう身に余る高齢者 せめて感度と準備だけは怠りなく。ぼんやりしてる訳にはいかんなあと。

いつまで 想定外で済ましてしまうのか…… みんな安倍さんの真似をして ますますおかしくなる。「責任として 受け止めねばならぬ」と他人事のように言い捨て、「幕は引けた」と通り過ぎるのを待つ。「責任として受け止めたなら、対策と行動を見せてよ……」と思うのですが、「受け止めることが責任行動」と変な辻褃のあわない音なしの構え。そろそろトランプさんも安倍さんもみんな そんな常套句の化けの皮がはがれてきた。もうみんなまたか…と。世界は今 大変革の時代を迎えている。「行き過ぎた効率化・選択と集中と大量過剰生産の今のマニュアル社会は 人々を幸福にはしない」と気づき始めた国々。貧困と増大する格差からの脱出へ、舵が切られ始めた。正解はまだ見えないが、各分野での具体的な「対策・行動」の試行が進んでいる。日本はどうか 都合の良いメディアを使った自分を抜きにした「評論・解説・How To マニュアル」等々の氾濫。「私にとっては今が一番 先のことは先。皆で渡れば怖くない 今までだって そうだった」と。でも 現に日常今までが通用しなくなっている現実のいかに多いことか 目をつぶるわけにはいかないのでは……。

この秋 何度か耳にした…… 激動変革の時代 世界は舵を切り始めた

「効率化・選択と集中 行き過ぎた資本主義は人々を幸福にしない」
GAFa グローバルな巨大企業の存在は富を集中し、富の分配がなされない」
多重・多様化をキーワードに《柔軟な社会造りへ舵を切る》
パラダイムシフトの波が興りはじめた」と。

ここは 柔軟な若者たちに任せるのが、得策ではないか……・
そんな目で眺めると、日本のおかしさも 色々見えてくる。
でも 愚痴は言うまい
若者に期待しつつ 隅っこでなんとか



また、この秋うれしいことも。

リチウムイオン電池で 旭化成 吉野彰氏がノーベル化学賞の受賞

リチウムイオン電池の旭化成 吉野彰氏のノーベル化学賞受賞 おめでとうございます。

日本では基礎・基本の発明や発見研究に評価が偏るが、今回の吉野彰氏は根っからの技術開発屋さんに見える。開発を知るエンジニアにとっては本当にうれしい受賞。

リチウムイオン電池が今日これだけ実用展開されたのは吉野氏の発見・発明があったればこそ。

世の中で発明された技術や製品が役立つには 最初の基本・基礎発明・発見と同格で、実用化技術が同時に開発されたからだ。

「外見・形ばかりでなく同じ品質・性能レベルでいつもみんな作り上げること」が必要。これが実用開発。実用化開発なくしては絵に描いた餅になってしまう。

これがまた苦難の連続。基本発明・発見と同じ同等の苦労・挫折があるが、それに目を向ける人は少ない。

技術屋同士がよく使う会話がある。

「研究はええよなあ・・・ 一つ作ればOK 原理と特性を明らかにし、次へ新たな挑戦だから・・・

開発はそうはゆかん。製品となれば100が100 同じ品質・性能レベルでそれにコストも 」

「そんなこといっても 基本の発見・発明がなければ、実用化なんてないよ 」と。

でもなんぼ素晴らしい発明も実用開発が完成しなければ、世に出ることはない。

原理原則だけでは世に出せないのである。

今回この実用開発研究とそれによる実用実践が評価されての受賞 うれしい限りです。

今 日本ではいくつかの指標と照らし合わせ

「画期的な発明・発見がない。世界に誇れる技術が減少し、技術立国日本が一機に急落している」との認識が広がり、大きな課題となっている。

その原因として日本の大学研究費の分配制度の偏重が大きな問題とみる学者が多い。

文部省・政府の視点を欠く選択と集中がもたらした弊害に見える。

国土のインフラ整備 成熟社会での今後の展開社会等々今見える弊害の多くが同じ原因かも。

政治の在り方 社会の仕組みが 今も旧態依然高度成長期をいまだに引きずり、

高度成長の成功体験をベースに判断がなされているという人が多い。

「従来の延長線から脱したパラダイムシフトが急務になっている。

でも それを担えるのは老化した頭ではなく、間違いなく若者たちである。」

そんな主従逆転の枠組みが今必要となっている。

毎日の中でそんなひずみかいたるところでみんなに見えだしたこの秋。

日本は今 どこへ行くのか・・・・・・ 日本だけがひとり 迷走が続いているように見える。

日本がんばれ!! 若者頑張れ!!

老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代
仲間の笑顔を活かす!! スクラム組んで 今を元気に!!

異常気象進行の中 自然や交通など災害が猛威を振るっています
体調維持とともに災害予知にも感度をあげた行動をご留意ください

【From Kobe 12月 師走の便り】 2019.12.15.

師走の便り いろんなことのあった一年 思いも新たに

まだまだ好奇心もあり、足も動く。家族仲間もいる。勝手気ままな風来坊 神戸の片隅で

◎ 収録 師走の今 本年を振り返って 心に響いた言葉

From Kobe Mutsu Nakanishi



2019年 12月 2019師走 from Kobe

神戸では ルミナリエ・まばゆい希望の灯もともり、
今年一年 いろんな思いが駆け巡る師走

Merry Christmas!! クリスマス おめでとう

クリスマスが 沢山の笑い声と暖かい友情 そして、
愛を運んで来てくれますように。
そして、それがずっと続きますように

多くの人にささえられながらも
また、1年 元気に過ごすことが出来ました
本当に感謝です

若者・若手など笑顔に惹かれていた友人や仲間
遠征の先方に感謝の気持ちを込めて

いつも、思いを寄せています。
「忘れない 忘れないで 帰郷があることを」

まだまだ好奇心もある 我が身の健康に感謝しつつ、
また 一年 お互いスクラム組んで 若いを笑顔で
よろしくお願ひします

2019.12月 from Kobe
by Mutsu Nakanishi



ルミナリエの灯に 思いも新た

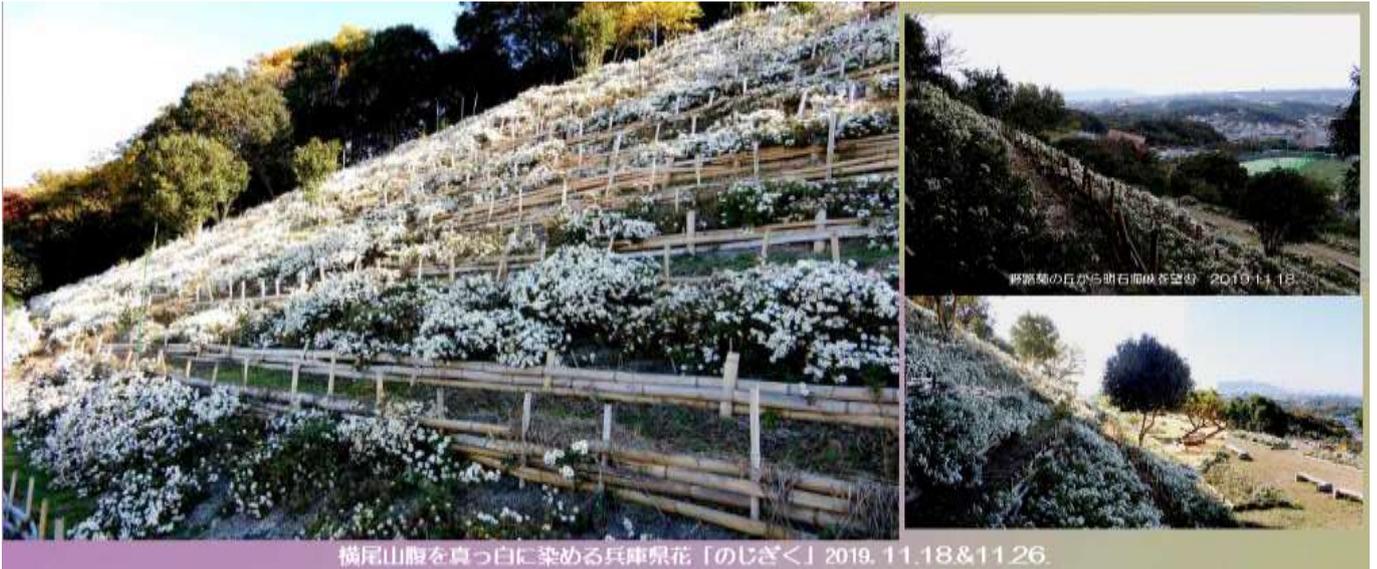
平和な生活 とともに生きるありがたさをかみしめ 心も新たに

また 一年 前むいて お互いスクラム組んで 若いを笑顔で

God be with You!! 師走 Mutsu Nakanishi



街も野山も紅葉が彩る真っ青な秋の空
心地よい風をいっぱい吸い込んでいつもの景色も違って見える
心身共に生き返れと



横尾山腹を真っ白に染める兵庫泉花「のじぎく」2019.11.18&11.26.

野路菊咲いて 先に逝った仲間を偲んでの秋送り 元気で動けることを感謝しつつ 今を元気に
地球温暖化が抜き差しならぬ時代 その自然の災害の猛威が直接我が身にも
そんな激動の中で 身勝手な政治に振り回され続ける定見なき日本 日本はどこへ行くのか・・・
COP25 あのスウェーデンの 16 歳の若者が世界を相手にあれだけ地球危機を訴えている。
それも世界の首脳たちを前に堂々と。そんな問いかけにどうこたえればよいのか・・・
また、日本の縄文をもっと知ってほしいと言い続けてきましたが、やっとまたユネスコ世界遺産登録の土俵に。
最近 縄文についての記事や解説が新しい視点で語られるようになったのもうれしい。

いろいろなことがあった一年 あれもこれもとあたまを駆け巡る・・・・・・・・・・・・・・・・
令和元年が暮れてゆく 早く若ものの時代へ舵を切れ!!との思いです
本年一年 和鉄の道にお付き合いありがとうございました。 また 来年もむよろしく

最近 老化や体調不調などの療養・リハビリに頑張っている仲間の近況を聞きました。
また、「元気やぞ!!」と笑顔を送ってくれた仲間もいる。
うれしい連絡 仲間にも
歳しい日々と察しつつ、一日も早い回復を祈っています。
仲間がいる!! 仲間の笑顔はみんなの応援歌!!

老化・病気・介護などの困難にみんながむきあう 新時代
仲間の笑顔を活気に!! スクラム組んで 元気に今を!!

心もあらた 新しい時代を前向いて
後期高齢になって 老化そして終活がよぎる歳に
でも 好奇心さえあれば...と 奮い立たせて毎日勝手気ままな風来坊です

本年もあとわずか、お互い無理せず元気に!!
忘れない 忘れまい みんな仲間がいる
我が道をしっかりと God be with You!!

2019.12月の夜更け home page のBGMに耳を傾けながら
From Kobe Mutsu Nakanishi

【From Kobe 12月 師走】 師走の今 本年を振り返って 心に響いた言葉

2019.12. 8. Mutsu Nakanishi

師走になって、ことし一年を振り返って その時折々 書き綴った季節の便りの中でお送りした言葉。ほんとうに毎回 同じ言葉ばかりでした。

インターネットやニュースでは、今が一番と社会への満足を謳歌する言葉・番組があらわれるが、何とはなしに息苦しく閉塞・不安が漂う社会。なにか自分には合わない。ついていけないなあ・・・と。後期高齢になって非生産的な日々を送る今 取り残されているとの不安感が頭をよぎる。「でも ほんまにええのか・・・ 現実はどうだろう・・・」

そんな師走の中で発表された OECD が3年ごとに行う世界各国の15歳を対象とした学力総合調査。(読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシーの3分野)で、高い学力を維持しているものの、日本の読解力が大幅に低下したと伝えている。日本の現在の社会に与える強烈なアッパーカットである。教育の問題 子供の問題と過少評価する向きもあろうが、この問題今の日本の現実 社会の問題。日本が一人 国際社会から取り残されてゆく深刻な姿が映されている。でも 日本社会はそれに気が付かない。

15歳 ネット情報精査が弱点

OECD 国際調査

Programme for International Student Assessment (PISA)

OECD 国際調査

読解力 数学的リテラシー 科学的リテラシー

日本の成績の推移

年次	読解力	数学的リテラシー	科学的リテラシー
2006	500	500	500
2009	480	480	480
2012	460	460	460
2015	440	440	440
2018	420	420	420

平均点

OECD平均

2019年(令和元年) 12月4日 水曜日

朝日新聞

日本、「読解力」続落15位

15歳ネット情報精査が弱点

日本、「読解力」続落15位

15歳ネット情報精査が弱点

天声人語

南米沖のイースター島は巨大なモアイ像で知られる。住民は像の運搬に木材を使ったはずだが、森はその後すっかり消失した。ネズミによる食害か、それとも住民が乱伐したせいかわ。世界の15歳が挑んだ国際調査PISAの出題例である。鳥の森林消失の理由を論じた資料を並べ、どの説が正しいか論拠を書かせる。筆者も解いてみたが、出題意図がつかみにくい。採点してさらに驚いた。食害が乱伐かのどちらかだろうと思いきや、「両説とも十分、さらなる研究が待たれる」も正解とされた▼調査に参加した日本の高校生たちは、さぞ冷や汗を流したところだろう。筆者の世代は教室で出会うことになった設問形式である。しかも紙と鉛筆ではなく、コンピューター画面上で解かされたら聞き、同情を覚える▼「学校では優秀生だったのに就職後はさえない人がいる。それはなぜなのか」。数年前、取材したPISAの担当者から言われた。「細かな知識はネットですぐ得られる。知識よりも、知恵を出して事態を突破する力が求められています」。熱のこもった口調だった▼2010年調査で日本は大きく順位を下げ、激震が走った。今回も「読解力」が低下した。中国都市圏が好成績なのはなぜか。日本のデジタル教育はなぜ遅れるのか。結果に振り回されなければならないが、今後はそんな究明が欠かせない▼自分が学生時代に受けた試験との「哲学」のあまりの違いに考え込む。学業とは何なのか。根源的な問いを突きつけられた。

2019.12.4. 朝日新聞が伝える OECD の 15 歳学力調査結果と天声人語の記事

◆拡大記事 URL: <https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/OECDasahikiji191204a.jpg>

無知盲目の仲間を募って 数の力でなんでも押し切る刹那の社会 美辞麗句を並べ 中身はそっちのけ
なんでもかんでも 自己責任に転じる。 自分の政策を「・・・ミックス」と自ら声高に言いまわるのは
自己陶醉そのもの。

セーフティネットがずたずたになった国土・地方は疲弊し、ますます格差が広がる刹那の日本の情報社会
この秋 30歳40歳の働き盛りの給与水準は10年前の給与水準よりも10%以上低下しているとの
統計が発表されている。その上 消費税は10%に。 一方会社は好景気を謳歌し、高収益・内部留保
をため込んでいる。そして 人手不足が深刻だという。全く不思議な現実。

これは人為的な政策の代物の何物でもない。

片手間の非正規雇用対策ばかりでなく正規雇用の拡大 そして何よりも働く場・新しい雇用を生み出す産業創生
に注力せねば・・・でも 新産業創設の研究開発費の投入・分配の見識のなさは目に余る。

もう技術立国は影薄く、大企業は今の事業路線にしがみつき、次の事業がない。

これでは新しい雇用は生まれない。もう 大企業依存・イベント依存から脱却せねば・・・

湯水のごとく民衆の懐に手を入れて使う国債・消費増税頼みも限界に・・・

昔はよかった・・・という言葉も聞かれるようになった今、もう 破綻寸前と映る

もっと 皆が明るい社会にならないものか・・・そんなことばかり言ってきた一年だったと映る。

そんな師走の中で発表された OECD が3年ごとに行う世界各国の15歳を対象とした学力総合調査
(読解力・数学的リテラシー・科学的リテラシーの3分野)で、数学・科学の分野では高い学力を維持しているもの
の、日本の読解力が大幅に低下したと伝えている。

数学リテラシー・科学的リテラシーと書かれたリテラシーとはなにか・・・

また読解力の問題とは………… インターネット等で調べると下記の通り。

要は社会全体の活力の源泉 知識は非常に高いレベルであるものの 知恵・判断・確かな行動アプローチが出来ないと
いわれ、社会の活力が失われているとの警鐘。

常々 多くの人々が指摘する日本社会の課題と現状があからさまに国際的にも指摘された。

国際社会がし認める国力の先行きを示す重要な指標でと言える。

強がり言うまい。 今日本の現実はこのようだ…………と。

そう思うと本当にいろんなことが見えてくる。

この一年 日本で起こった数々の問題の根源にこの指摘が当てはまる。

◎ 読解力と「リテラシー (literacy)」とは、

読み書きができる能力や、その分野の応用、活用力、理解力を意味。

「リテラシー」は、単独でその言葉だけを使うことは少なく、「コンピューターリテラシー」や
「メディアリテラシー」「環境リテラシー」といった風に使うという。

◎OECD 調査 読解力の設問

解説を含め2019.12.4. 詳細が示されている東京新聞の記事を紹介する

「ラパヌイ島」と題する設問

ラパヌイ島(イースター島)で調査をしている教授はブログで、

モアイ像が作られた当時にはあった大木が現在は生えていないことに疑問を示す。

木の乱伐が原因とするジャレド・ダイヤモンド氏の著書「文明崩壊」の書評、

ネズミが種を食べたためとする科学者の反論を紹介する記事があわせて示される。

生徒たちはそれら三つの文章を読み、大木が消滅した理由を根拠を挙げて説明することを求められる。

自らの可能性を広げ、社会に参加するために文章を理解して熟考し、考えを表現する力。

それがOECDが提示する読解力だ。…………

三年ごとの調査結果は教育政策に大きな影響を及ぼしてきた。

ゆとり教育転換の一つの契機は、読解力などが低下傾向にあったことだ。

2007年に再開された全国学力テストの出題はPISAを強く意識したものとなっている。

202年度から本格実施される高校の新学習指導要領では国語を「論理国語」「文学国語」などに再編する。

文学が片隅に追いやられるのではないかと文学界などから懸念の声が上がっている。

調査では読書についても尋ねており、興味深い分析結果が出ている。

雑誌以外では「読む」グループの方が「読まない」グループよりも得点が高く、

最も得点差が大きいのは小説や物語などのフィクションだった。次いで新聞、漫画となっている。

「論理的」と仕分けされた文章だけが、読解力を育むとは限らないことを示唆しているのではないか。

読解力は、多様な養分を吸収してゆっくり育つ木のような力なのだろう。

読解力育成のため、社会や理科など国語以外の教科でも、文章のまとめりなどを意識した授業改革に取り組み始めた学校もある。調査の順位のためというよりは、子どもたちの未来を広げるために、学校や社会が豊かな養分を含んだ土壌でありたい。

インターネット記事検索でみつけた東京新聞 2019.12.4. 記事より 全文整理

これは今の学校のOX式詰め込みの受験教育の中では最初から設問に詰まって解けないわ……と。

でも一部の私学ではそんな読解力中心の国語授業が行われ、他の授業と連動されているとの話を聞いて、余裕があるなあ。。。と感心したこともある。

天声人語氏は「細かな知識はインターネットで得られるが、知識よりも知恵を出して、事態を突破する力が求められる」というOECD担当者の言葉を紹介している。日本に一番今かけている点との指摘。

知識がいやというほど積み込まれていく日本の今の画一的な教育への痛烈な一発である。

みんながみんな社会全体が同じ方向にむけた発展途上の高度成長と成熟した今の情報社会には当然違いがある。

今の時代 一部のみに情報が限らず 同じ情報を広くみんなが持っている。そこに 多層多重の芽があり、それを封じて 同一を強いられることに息苦しさをを感じるし、異を感じる時代なのである。で

も 日本では今 あまりにも「不思議やなあ」「おもしろいな」などの発想や知識から広がる「知恵」がない。

付和雷同 感激・感動ではなく盛り上げの言葉が空虚に響く。

知った知識を少し披露しただけで「それがどうしたの…… ああ めんどくさ」との言葉がすぐに。

知識から知恵・発想への転換が全く無視され、同一同調が一番される日本昨今の情報社会。

なにも子供たちの教育問題だけではない。今の日本の社会全体がそうになっているのだ。

とりわけ、日本を動かしてきた政治・大経営者たちの言動をみれば一目同然……

ほかにも この12月 心に響いた記事がいくつかありましたので、転記。

この秋 重多様な社会への脱皮について、それぞれの個性を意識する多様多重社会の醸成を考える本や新聞記事・番組に数多く出会うことがあり、自分にはできなかった反省も込めて。

特にあまりに個性豊かで 仲間・先生・学校での集団生活に溶け込めず、「好きなことを 好きに 好きな時に」と

その都度 自分の実学ノートに記してきた7年間の記録をひも解くNHKの番組NHK「ボクの実学ノート 7年間の小さな大冒険」で語られた 生物学者福岡伸一さん著「エリボシカミキリ」の中にある言葉

やこの秋読んだ「ソーシャル・マジョリティ研究 コミュニケーション学の共同創造」にも心に響きました。

また、本年は仲間がみんな後期高齢を迎え、老化と向き合う歳に。

老化と闘い、また先に逝ってしまった仲間もいる。この秋は仲間を思い浮かべながらの毎日散歩になったことも数多し。

でも まだまだ好奇心もあり、足も動く。家族仲間もいる。勝手気ままな風来坊 神戸の片隅で

皆に世話になりながら 勝手気ままにと。

本年どうもありがとうございました。 また来年。

From Kobe Mutsu Nakanishi

衰退の兆候

「競合する全勢力を抑え込み、すべてを自分と同じ鑄型に流し込むのに成功してしまうと、その国の向上は終わり衰退がはじまる」
「抵抗を齎る可能性ない人」は「理性」を必要としなくなり、その意思を押し通すようになる。
「間違っていると告げてくれる人の話を聞けば、いらだてしまう」

桜を見る会 危うい選挙独裁

寄稿

齋藤 純



安倍晋三首相（前列中央）、麻生夫人（河石から4人目）と記者団の「桜を見る会」の参加者＝4月13日、東京都新宿区

抵抗の可能性を排除 民主主義に傷

「競合する全勢力を抑え込み、すべてを自分と同じ鑄型に流し込むのに成功してしまうと、その国の向上は終わり衰退がはじまる」。19世紀英国の哲学者、J・S・ミル「代議制統治論」の一語である。「抵抗を受ける可能性のない人」は、「理性」を必要としなくなり、代わりに「感情」を押し通すようになる。「間違っていると告げてくれる人の話を聞けば、いらだてしまう」。

「桜を見る会」やその「昨夜」に際して政権中枢がどうした行動にも選挙法や政治資金規正法に反する疑いがあることは、すでに指摘されていることである。公金を使った「桜を見る会」の開催が憲法に違反するかどうかは、まだ争点ではない。だが、問題はそれだけではない。この政権は、これまで不都合な文書の隠蔽、改竄、棄棄を繰り返してきたが、今回もまた隠蔽の手法で責任の追及をかわそうとしている。それが強く懸念されるのは、民主主義を成り立たせるための制度である。アカウンタビリティ（説明責任）は、政権をつねに「国民」を受けざるを得ない。そのための制度である。国会における質疑応答はその柱だが、改定や予

まや憲政史上悪法となったこの改定は、与野党の関係から「抵抗を受ける可能性」を「ゼロ」に押し下げた。官邸側から官邸側なるものは「合理性」を、「忖度」を求めている。この問題については野党が本陣を入れているのが明らかである。



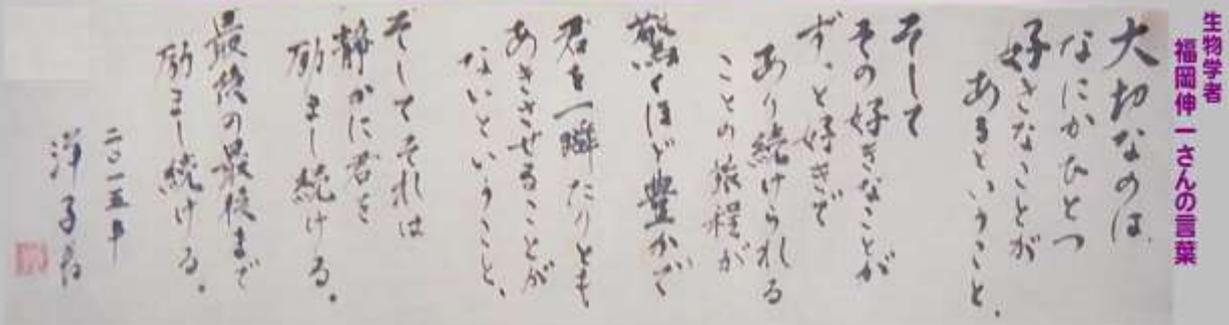
（早稲田大学教授）
さいとう じゅんしゅ
「早稲田大学」政治学専攻
准教授。著書「公権性」

「憲政的に悪法なら、アカウンタビリティは、一党独裁の弊害」に対して問い返されてきた。結果は成敗である。世論や輿論の公論があつてはじめて統治に必要がないかを市民もチェックする必要がある。コントロールを受けざるを得ない。右時に世論（公的支配）を必要ないことが、その目的である。この民主制の制度を「一党」に委ねてきた安倍政権は、自ら「憲法」を踏んできたか否かを問うている。その答えは、世論調査で40%の国民が支持率をもって憲法的であると思ひ込んでいたであろう。その結果の差は、切り切りをはかる首相の姿はどのような「教育水準」をもつたであろうか。

朝日新聞 2019.12.4. 齋藤純一さん寄稿 「桜を見る会 危うい選挙独裁」

◆拡大記事 URL: <https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/191204sakuranokai.jpg>

孤独な小学生から中学・高校進学までの7年間 好きなことに向き合う自分を自学ノートに綴り、こころの通じあえる人たちとの交流をつづった番組
NHKの番組「ぼくの自学ノート 7年間の小さな大冒険」で語られた 福岡伸一著「エリボシカミキリ」にある心に響く言葉



NHK 「ボクの実学ノート 7年間の小さな大冒険」で語られた 生物学者福岡伸一さんの言葉
福岡伸一著「エリボシカミキリ」より

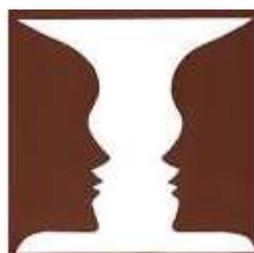
<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/1912jigakunote.jpg>



<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/1912yoshino.jpg>

- ◆ 金子書房 「ソーシャル・マジョリティ研究 -コミュニケーション学の共同創造-」
 発達障害者の側から ソーシャル・マジョリティ(社会的多数派)のルールやコミュニケーションを研究しました。
 「障害は個人の中にあるのではなく、多数派が作った社会と少数派の身体特性の間に生じる」
 なにかよくわからぬまま発達障害者とかたづけられ、排除される人が多数いる
 その人たちは社会的多数派のルールやコミュニケーションについてゆけないだけである。
 逆に社会多数派があまり意識していないが、社会的多数派のルールやコミュニケーションが多数あることを
 理解し、そんなルールなどを障害者側に立って研究することで理解が深まれば、
 お互いのコミュニケーションを生むことが出来て、より良い関係を生むことが出来る。

だまし絵 真実の一つなのか…… 多数派のおごり by Mutsu Nakanishi



絵の中にだまし絵という世界がある。
 このだまし絵 人のその時々感情・事情によって見え方が違う。
 今 画一的になんでもかんでも AI に任せて判断させようとする。
 知能ロボット万能論が伝えられている。
 でも この知能ロボットにだまし絵を見せて アクションを起こさせたら、どんな反応をするのか???

興味津 AIの判断万能を唱えるのは間違いではないか……

上記したソーシャル・マジョリティ研究の理解にも このだまし絵の理解が欠くことが出来ないと思っている
 そもそも 現世人類が幾多の困難を乗り越え、生き抜いてきた所以は
 相手の表情で共感・感応を醸成してきたからに他ならない。